

戸長設置一四〇年
消防組織一三〇年

記念

懐郷ガモエナイ



神恵内村章・村旗

神恵内村の魚



サケ

《選定の理由》

母なる川に回帰して
いのちを燃やしつくすサケ
その広大な行動力と、愛の深さは——
村民に、愛郷心と働く力をつけてくれる

[1982年11月3日制定]

神恵内村の木



トド松

《選定の理由》

風雪に耐えぬくトド松
そのたくましい生命力と
心の豊かさは——
村民に、勇気と希望を与えてくれる

[1982年11月3日制定]

神 恵 内 村 歌

光のオーケストラ

作詞 原子 修

作曲 川越 守

カミイナイ・・・ 神秘的な
光のダイヤモンドが降りしきる
うつくしい郷
フレシユマの海は 青く澄み
水平線に
ういういしい風がうまれて
わたしたちの心を
鳴・・・ 魚・・・
ゆたかな命でいっぱいにする

サンネナイ・・・フルウの川で
光のオーケストラがうたいだす
すばらしい郷
カバラシララの磯に 夕陽もえ
大海原を
黄金いろの明日がどろいて
わたしたちのつどいに
緑・・・ 森・・・
つきせぬ恵みをかなでてくれる

神 恵 内 村

カミイナイ・・・ 神秘的な
光のダイヤモンドが降りしきる
うつくしい郷
フレシユマの海は 青く澄み
水平線に
ういういしい風がうまれて
わたしたちの心を
鳴・・・ 魚・・・
ゆたかな命でいっぱいにする

サンネナイ・・・フルウの川で
光のオーケストラがうたいだす
すばらしい郷
カバラシララの磯に 夕陽もえ
大海原を
黄金いろの明日がどろいて
わたしたちのつどいに
緑・・・ 森・・・
つきせぬ恵みをかなでてくれる

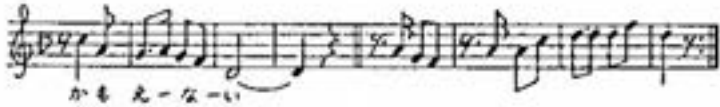
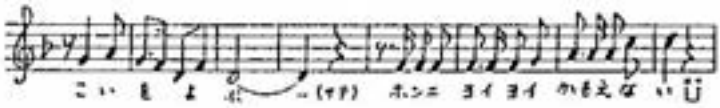
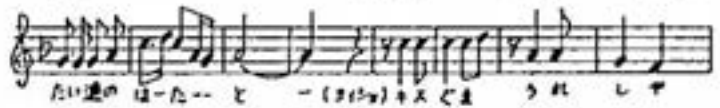
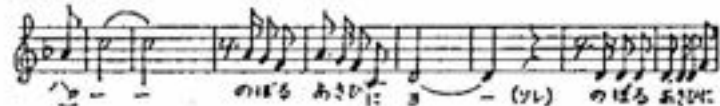
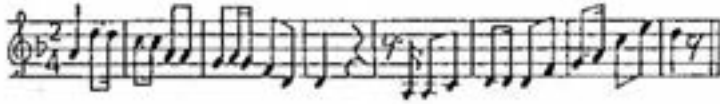
カミイナイ・・・ 神秘的な
光のダイヤモンドが降りしきる
うつくしい郷
フレシユマの海は 青く澄み
水平線に
ういういしい風がうまれて
わたしたちの心を
鳴・・・ 魚・・・
ゆたかな命でいっぱいにする

サンネナイ・・・フルウの川で
光のオーケストラがうたいだす
すばらしい郷
カバラシララの磯に 夕陽もえ
大海原を
黄金いろの明日がどろいて
わたしたちのつどいに
緑・・・ 森・・・
つきせぬ恵みをかなでてくれる

カミイナイ・・・ 神秘的な
光のダイヤモンドが降りしきる
うつくしい郷
フレシユマの海は 青く澄み
水平線に
ういういしい風がうまれて
わたしたちの心を
鳴・・・ 魚・・・
ゆたかな命でいっぱいにする

神 恵 内 音 頭

勝目 有 作詞
山口祐功 作曲



ハアー昇る朝日にヨー (ソレ)
昇る朝日に大漁の旗と

キス熊うれしや、恋を呼ぶ (ヨイシヨ)

ホニニヨイヨイ 神恵内 (サテ)

ハアー夏の海辺はヨー (ソレ)
夏の海辺は海水浴と

丘ではキャンプファイヤが (ヨイシヨ)

ホニニヨイヨイ 神恵内 (サテ)

ハアー熱い情けにヨー (ソレ)
熱い情けに心も濡れる

湯の沢温泉ゆのけむり (ヨイシヨ)

ホニニヨイヨイ 神恵内 (サテ)

ハアー落ちる夕日のヨー (ソレ)
落ちる夕日のキナウスの海

ウエンチクナイ シンヤモナイ (ヨイシヨ)

ホニニヨイヨイ 神恵内 (サテ)

戸長設置二二〇年記念の歌

積丹半島

	作詞	石本美由起
	作曲	岡千秋
編曲		前田俊明
唄		天童よしみ

春はるが来たから 鯨にしんがくると

騒さわぎ始はじめる 半島はんとうかもめ

ここは積丹しやくたん 神恵内かむえない

漁りようを仕掛しかける 角網かくあみに

男おとこ 銀次郎ぎんじろう 血ちが通かよう

ドツコイ 度胸どきょうの 日本海にほんかい

舟ふねを出だしたら 一心いっしん不ふ乱らん

海うみは稼かせぎ場ば 男おとこの世界せかい

ここは積丹しやくたん 神恵内かむえない

獲とれた鯨にしんを 始しまつ末まつする

浜はまじや 元氣げんきな 女子おなご衆しゆう

ドツコイ 繁昌はんじよの 花はなが咲さく

漁師りようし冥利みよりりは 荒波あらなみ勝しょう負ぶ

舟ふねは鯨にしんの 宝たからの山やまだ

ここは積丹しやくたん 神恵内かむえない

今日きょうも稼かせいだ 喜よろこびに

大漁たいりよう 目出度めでたい 漁師りようし町まち

ドツコイ 笑顔えがおの 夫婦酒めおとぎけ

戸長設置一四〇年
消防組織一三〇年
記念

懐郷ガモエナイ

目次

懐郷かもえない……………神恵内村長 高橋 昌幸… 1

一、戸長設置一四〇年…行政のあゆみ

・戸長の設置……………3

・二級町村制……………4

・歴代戸長……………5

・歴代村長……………7

・総代人……………8

・村議会の誕生……………9

・役場庁舎の沿革……………16

・医療一四〇年……………21

・道路開通九〇年（茂岩く神恵内間）……………25

・泉源開発の歩み（地熱開発ボーリング）……………28

二、消防組織一三〇年…消防のあゆみ

・消防のあゆみ……………31

・歴代消防団長……………31

三、村づくりの功労者

・名 誉 村 民	41
・功 労 者 名 簿	42

四、故郷を愛する人々

・札 幌 神 恵 内 会	49
・札 幌 珊 内 会	52

五、往時を偲ぶ

・『かむい丸』の思い出	55
・忙しかった旅行村の夜勤	56
・村議会議員の思い出	58
・忘れられない戦禍の記憶	59

六、神恵内村の年表

・戸長設置一四〇年の歴史	61
・消防組織一三〇年の歴史	225

編 集 後 記	230
---------	-------	-----



懐郷かもえない

神恵内村長 高橋 昌幸

今年は、神恵内村にとつて明治五年（一八七二年）に「神恵内戸長」と「古宇病院」が設置されてから一四〇年、明治一五年（一八八二年）に「私設消防組」が設置されてから一三〇年、大正一一年（一九二二年）に茂岩く神恵内間の道路が開通してから九〇年を迎える節目の年であります。

一四〇年の永きにわたり、村づくりの為に多くの困難を乗り越えて今日の神恵内村の基礎を築き上げられた先人の開拓精神に深く敬意を表するとともに、心から厚く感謝申し上げます。

この機会に、「故きを温ねて新しきを知る」という精神のもとに、今一度故郷神恵内の歴史を振り返り、先人の偉業や歴史を後世に伝えることが現在に生きる私たちの責務であると考え、「懐郷かもえない」を刊行することにいたしました。

私は、平成一四年三月一七日から村政を担当させていただいており、今日まで健康で、明るく、生き

がいのある神恵内村の実現のために、村民各位のご協力とご理解を賜りながら、議会と一体となつて努力してまいりましたが、神恵内村を取り巻く状況は依然として厳しく、過疎化、少子高齢化、漁業の低迷、財政問題など課題は山積しています。

しかし、村民の英知を結集することにより、必ず道は拓かれると確信していますので、今後ともみんなで考え、みんなで行動して、この素晴らしい郷土神恵内村を創るために積極的に村政に参加されるようお願い申し上げます。

本書が多くの方にご愛読いただくことで、急激に変貌する現代社会の源を知っていただき、そして将来の郷土発展につながるることになればこれに勝る発刊の意義はありません。

最後になりましたが、本書を刊行するにあたり、多くの方々の労を惜しまぬご協力・ご支援に心から感謝申し上げます。

平成二四年一月

戸長設置一四〇年：行政のあゆみ

戸長の設置

戸長は、明治五年（一八七二年）に施行された戸籍法によつて、設置されるようになった。

そこで、各郡毎に戸長の人選が行われたが、神恵内では従来までの名主の職にあつた田付新十郎氏が選ばれ、初代戸長となつた。

戸長詰所は、開拓使古宇出張所内の一室があてられ、戸長事務がとられた。

*戸長役場

明治五年に戸籍法の制定によつて戸長が設置されたが、北海道の開発が進むにしたがつて、地方制度の充実改革が行われ、戸長制度についても、明治一二年に戸長職務概目が定められ、事務所を役場と改称することとなつた。

神恵内村においては神恵内と珊内に戸長役場が設置された。

神恵内戸長役場の所在地は、神恵内村八一番地で神赤医院（現・神恵内警察官派出所）の付近であつ

「戸長職務概目」（明治一二年七月二三日第一四号達）

戸長の職務

- 第一 布告布達ヲ町村内ニ示ス事
 - 第二 地租及諸税ヲ取纏上納スル事
 - 第三 戸籍ノ事
 - 第四 徴兵下調ノ事
 - 第五 地所建物船舶質入書入並売買ニ奥書加印ノ事
 - 第六 地券台帳ノ事
 - 第七 迷子、捨子及行旅病人、変死人其他事変アル時ハ警察官ニ報知ノ事
 - 第八 天災又ハ非常ノ難ニ遭ヒ目下窮迫者ヲ具状スル事
 - 第九 孝子節婦其他篤行者ヲ具状スル事
- 第一〇 町村ノ幼童就学勧誘ノ事
- 第一一 町村内ノ人民印影簿ヲ整理スル事
- 第一二 諸帳簿保存管守ノ事
- 第一三 河港、道路、堤防、橋梁、其他修繕保存スベキ物ニ就キ利害ヲ具状スル事
- 右ノ外本支庁長官又ハ郡区长ヨリ命令スル所ノ事務ハ規則又ハ命令ニ依リテ従事スベキ事其他町村限道路橋梁用悪水ノ修繕掃除等凡協議費ヲ以テ支弁スル事件ヲ管理スルハ此ニ掲ル所ノ限ニ非ス
- 明治一二年十一月 第二二号達
- 各町村戸長事務所ヲ戸長役場と称すべし。但、戸長役場は其の町村の便宜により私宅に於て事務取扱うも妨なし。

た。戸長役場の外に浦役場、駅通、公立病院が一つの建物の中に入っていたが、この建物は明治六年に建築された開拓使古宇出張所庁舎であり、明治一年開拓使から払下げを受けたものである。

戸長は函館の土族清水祐之が任命され、戸長の下に雇一人、村用係三人が配置されて、神恵内・赤石の戸長事務が処理された。

珊内戸長役場は、珊内村六六番地にある戸長渡辺嘉吉の私宅の一部（五坪）を当てて設置され、珊内・川白の戸長事務が処理された。しかし、明治二年に至り珊内戸長役場を廃止し、神恵内戸長役場が珊内・川白の戸長事務を処理するようになった。神恵内戸長役場は明治三十九年三月三十一日まで存続し、同年四月一日二級町村制施行にともなうて神恵内村役場に移行した。

二級町村制

明治三十九年四月一日、神恵内村は二級町村として指定を受け、新たな村政の幕が開かれた。



戸長役場

戸長役場敷地

歴代戸長

神恵内

代	氏名	在任期間
初	田付新十郎	明治五年七月～七年八月
二	佐々木平門	七年九月～二年一〇月
三	清水 祐之	一二年一月～八年一月
四	道沢 昌安	一八年二月～不詳
五	藤井 次郎	不詳 一七七年
六	中里 秀彦	二七年 一不詳
七	多久和官三郎	不詳
八	中里 秀彦	不詳 一三三年
九	坂本 国命	一三三年 一不詳
一〇	後藤要之助	一三三年 四月一三三年一月
一一	長谷川岩蔵	一三三年二月一三四年三月
一二	難波 信季	一三四年 四月一三四年八月

代	氏名	在任期間
一三	高桑 博	明治三四年九月一三五年一月
一四	中島 錫	一三五年二月一三六年八月
一五	今井 恭吉	一三六年九月一三六年九月
一六	菊地 竹治	一三六年一〇月一三九年三月



珊内戸長 渡辺嘉吉

珊内

代	氏名	在任期間
初	渡辺 嘉吉	明治一三年 一不詳
二	山下祐次郎	一不詳 一三二年

明治三十九年四月一日第一六代戸長から
初代村長への引継書



事 務 引 継 書

北海道ニ改町村制ニ見据ルニ引継書類
該書身元ニテ、第拾八郡引継書類
引継書類ニテ、御意ニテ、引継書類
明治三十九年四月一日

元 久 作 存 村 長 前 代 村 長 印

右引継書類、御意ニテ、引継書類也

明治三十九年四月一日

村 長 印

初代村長 御意 印

神 野 内 村 役 場

歴代村長

代	氏名	在任期間
初	菊地 竹治	明治三十九年 四月～ 四〇年一月
二	佐藤 貫一	四〇年一月～大正 二年 五月
三	澤田 善博	大正 二年 五月～ 五年 八月
四	千葉忠次郎	五年 九月～ 七年一〇月
五	伊藤第四郎	七年一〇月～ 一二年一月
六	尾形 良憲	一二年一月～ 一五年 六月
七	小野寺吉太郎	一五年 六月～昭和 四年二月
八	鈴木仁治郎	昭和 四年二月～ 七年 四月
九	円子喜四郎	七年 四月～ 一五年 四月
一〇	橋村 誠	一五年 四月～ 一九年 七月
一一	今井 七司	一九年 七月～ 二二年 二月
一二	木村 文忠	二二年 四月～ 二八年 二月
一三	北井七太郎	二八年 二月～ 四八年 二月
一四	高山 庸一	四八年 二月～平成一四年 三月
一五	高橋 昌幸	平成一四年 三月～ 現 在



北井七太郎



橋村 誠



小野寺吉太郎



千葉忠次郎



高山 庸一



今井 七司



鈴木仁治郎



伊藤第四郎



高橋 昌幸



木村 文忠



円子喜四郎



尾形 良憲

初代、二代、三代村長は写真不明

総 代 人



総代人 大崎 亀吉

総代人は、町村議会在立するまでの間、町村民を代表して町村政に参画した。

その沿革は、明治七年に大小区画が定められた

ときに初めて総代が置かれ、一年に「総代人選挙法」〔総代人心得〕が制定され、町村総代人、小区総代人が選挙され、金款公借、共有物取扱土木起工等町村の重要事項に参画するようになった。

総代人は名誉職で、定員は一小区二〜四人とし、任期は二年、毎年半数を改選することとした。

総代人の資格は、二〇歳以上の男子で北海道に一〇〇円以上の地券を持ち、かつ、その町村に本籍を持つ者とした。

一二年に郡区町村が編成されてからは中小区の総代人は廃止され、郡区総代人が置かれた。

神恵内における総代人については、記録に欠けて

いるので明らかでないが、判明している総代人として大崎亀吉氏がいる。

同氏に交付された辞令には

明治二年一月三日に古宇区務所から「本使乙第

一〇号御布達により、神恵内総代人申渡候事」

明治三年八月二五日に古宇郡長築瀬真精から「本年

七月本使乙第七号御布達により総代人投票選挙人目前

に於て開札候処、高点に付、以来古宇郡総代人と可相

心得事」

明治五年八月、総代満期に付退職す。

明治一六年三月二日に神恵内村戸長役場から「投票多

数を以て当神恵内村総代人当選の処、郡長に於て認可

相成候条此段及御達候也」

明治一八年八月、総代満期に付退職す。

明治一八年一〇月一五日に神恵内村戸長役場から「投票

票多数を以て当神恵内村総代人当選の処、郡長に於て

認可相成条此段及御達候也」

明治一九年八月、神恵内村総代人満期に付退職す。

この他に、明治一七年の記録によると

神恵内村総代人	大崎 亀吉	高橋 勇助
赤石村 総代人	佐野川弘治	福原 留吉
珊内村 総代人	山下祐治郎	池田市右衛門

村議会の誕生

二級町村となったことにより、これまでの総代人に代わって、村政の議決機関として議会が設置されることになり、第一回選挙は明治三十九年六月一日執行され一〇名の議員が選出された。

選挙制度は現在のように満二〇歳以上の男女全員でなく、公権を持つ男子で、一年以上町村内に居住し、地租年額一〇錢以上を納め、又は、直接国税、北海道水産税及び両者の合計が年額五〇錢以上納め、又は耕地一町歩、若しくは宅地百坪以上を所有するなど、一定条件を具備したのだけによる制限選挙で、選挙運動についても比較的自由に行われていた。有権者数について大正一三年の記録では、村会議員三二九人となっている。

議長は議員の互選によることなく、村長が議長となつて議事を運営していた。

議員の任期は、明治三十九年六月から昭和三年五月までは二年、その後四年となつたが、昭和一五年六月に組織された議会は戦時下であつたため二二年ま

で延長された。

歴代議員で長期間村政に尽くした方を挙げてみると

高橋 信 茂	一四年	本間甚右衛門	二四年
米田 豊 作	二〇年	若林 岩 藏	二七年
干場 栄 吉	一五年	北井 長 作	二六年
井上 茂 助	二四年	橋 村 定 助	一六年
鈴木 信太郎	一五年	池 田 富太郎	一五年

神恵内村議会

第一期 明治三十九年六月一日〜明治四一年五月三十一日

秋山文治 澤口忠次郎 兵藤富藏 高橋信茂 北井長作
小倉源次郎 福原清藏 佐々木未治 大淵豊吉 三橋謙藏
(註) 佐藤長之助 (川白) と三橋謙藏 (珊内) が当選したが、失格となり、明治四一年一月二二日補欠選挙の結果、大淵豊吉と三橋謙藏が当選

第二期 明治四一年六月一日〜明治四三年五月三十一日

高橋信茂 北井長作 澤口忠次郎 本間甚右衛門 木下寅吉 宇佐美成藏 出町初太郎 小倉源次郎 本間忠次郎 大淵豊吉 越前長次郎

(註) 秋山文治 (神恵内) と三橋謙藏 (珊内) が当選したが失格となり、澤口忠次郎 (神恵内) は死亡のため、補欠選挙の結果、木下寅吉、宇佐美成藏、越前長次郎が当選

第三期 明治四三年六月一日〜明治四五年五月三十一日

本間甚右衛門 高橋信茂 北井長作 井上茂助 木下寅吉 小倉源次郎 出町初太郎 大淵豊吉 本間忠次郎 佐藤末吉

第四期 明治四五年六月一日〜大正三年五月三十一日

小倉平助 井上茂助 高橋信茂 澤口庄助 新谷光太郎 本間甚右衛門 北井長作 佐藤惣吉 出町初太郎 田付甚吉 中田彥次郎 本間忠次郎

第五期 大正三年六月一日〜大正五年五月三十一日

新谷光太郎 澤口庄助 池田長吉 北井長作 本間甚右衛門 高橋信茂 福原清藏 斎藤清次郎 米田豊作 三橋謙藏 本間忠次郎 佐藤末吉

第六期 大正五年六月一日〜大正七年五月三十一日

井上茂助 橋村定助 高橋信茂 本間甚右衛門 澤口庄助 北井長作 松浦仙太郎 米田豊作 三橋謙藏 中田彥次郎 熊野榮次郎 佐藤末吉

(註)北田仁太郎(神恵内)、小倉源次郎(赤石)、吉江留太郎(赤石)が辞任したため、澤口庄助、北井長作、米田豊作が当選

第七期 大正七年六月一日〜大正九年五月三十一日

澤口庄助 井上茂助 本間甚右衛門 高橋信茂 北井長作 橋村定助 福原清藏 松浦仙太郎 米田豊作 熊野榮次郎 中田彥次郎 若林岩藏

第八期 大正九年六月一日〜大正一一年五月三十一日

井上茂助 佐野川久吉 本間甚右衛門 北井長作 橋村定助 出町初太郎 吉江留太郎 綿谷富藏 松浦仙太郎 中川慶次郎 若林岩藏 佐藤榮吉

(註)高橋信茂(神恵内)は病氣退職のため、橋村定助が補欠当選

第九期 大正一一年六月一日〜大正一三年五月三十一日

井上茂助 佐野川久吉 本間甚右衛門 北井長作 橋村定助 出町初太郎 米田豊作 中田彥次郎 熊野榮次郎 若林岩藏

第一〇期 大正一三年六月一日〜大正一五年五月三十一日

福島岩藏 佐野川久吉 北井長作 橋村定助 本間甚右衛門 井上茂助 米田豊作 出町初太郎 熊野榮次郎 若林岩藏

(註)井上茂助(神恵内)、米田豊作(赤石)、越前長次郎(冊内)が当選したが、失格となり、補欠選挙の結果、本間甚右衛門 井上茂助 米田豊作が当選

第一一期 大正一五年六月一日〜昭和三年五月三十一日

北井長作 澤口庄助 本間甚右衛門 橋村定助 井上茂助 出町初太郎 米田豊作 山内長造 中川慶次郎 金子訓平

(註)福島岩藏(神恵内)が当選したが、大正一五年七月二〇日辞職のため井上茂助が当選

第二二期 昭和三年六月一日〜昭和七年五月三十一日

井上茂助 橋村定助 本間甚右衛門 本間忠治 高橋信茂 北井長作 秋山政治 米田豊作 鈴木信太郎 山内長造 三橋謙藏 若林岩藏

(註) 澤口庄助 (神恵内) が当選したが、昭和四年三月一日転任失格のため、秋山政治が補欠当選

第三期 昭和七年六月一日～昭和十一年五月三十一日

本谷清太郎 万寿祐治 稲葉光次良 小倉卯之助 北井彦次 井上茂助 秋山政治 三上丑松 米田豊作 干場栄吉 若林岩藏 池田富太郎

(註) 橋村定助 (神恵内) が当選したが、昭和七年八月三十一日辞職のため三上丑松が補欠当選

第四期 昭和十一年六月一日～昭和十五年五月三十一日

小倉卯之助 稲葉光次良 佐野川久吉 万寿祐治 川島四五六 北井長作 本谷 清太郎 三上丑松 鈴木信太郎 干場栄吉 池田富太郎 若林岩藏

第五期 昭和十五年六月一日～昭和二十二年四月二十九日

佐々木吉藏 北井長作 山本山五郎 高田久岩 村木亀太郎 岩澤 朔 山内豊吉 鈴木信太郎 干場栄吉 田中明 池田富太郎 若林岩藏

昭和二十二年地方自治法の制定により、地方自治体の議決機関として議会が設置され、第一回の統一地方選挙は同年四月三〇日に執行された。

議員定数は人口規模によつて決められているが、神恵内村では一六名が定数と決まり、住民代表として村政に参画するようになった。

議長及び副議長は、議員の選挙で決められ、初代議長には川白の若林岩藏氏が選ばれた。

歴代議長及び副議長

昭和二十二年五月～二十六年四月

議長 若林 岩藏 副議長 山本山五郎

副議長 高橋庚子郎

(二五年一二月から)

昭和二十六年五月～三〇年四月

議長 若林 岩藏 副議長 松館勇次郎

昭和三〇年五月～三二年四月

議長 若林 岩藏 副議長 松館勇次郎

昭和三二年五月～三四年四月

議長 高田 久岩 副議長 山田 数一

(三四年三月から議長欠員)

昭和三四年五月～三八年四月

議長 松館勇次郎 副議長 高澤 明雄

昭和三八年五月～四二年四月

議長 松館勇次郎 副議長 高澤 明雄

昭和四二年五月～四六年四月

議長 松館勇次郎 副議長 米田 清作

昭和四六年五月～五〇年四月

議長 米田 清作 副議長 川島四五六

昭和五〇年五月～五四年四月

議長 松館勇次郎 副議長 小林 元行

昭和五四年五月～五八年四月

議長 米田 清作 副議長 滝本長次郎

昭和五八年五月～六二年四月

議長 小林 元行 副議長 金田一清作

昭和六二年五月～平成三年四月

議長 齋藤 敬作 副議長 佐藤久次郎

平成三年五月～平成七年四月

議長 齊藤 敬作 副議長 岡村作次郎

(平成四年五月)

副議長 羽山 守也

(平成四年六月二〇～平成七年四月)

平成七年五月～平成一一年四月

議長 佐藤久次郎 副議長 岡村作次郎

平成一一年五月～平成一三年五月

議長 羽山 守也 副議長 菅原勘太郎

平成一三年五月一〇日～一四年九月

議長 滝本長次郎 副議長 若林 彰

平成一四年九月三〇日～現在

議長 若林 彰 副議長 岩澤 克明

平成一四年九月～平成一五年四月

議長 若林 彰 ・ 副議長 岩澤克明

平成一五年五月～平成一七年一月二五日

議長 若林 彰 (二月二五日逝去)

平成一五年五月～平成一九年四月

副議長 岩澤克明

平成一七年二月二二日～平成一九年四月三〇日

議長 岡村作次郎

平成一九年五月八日～平成二二年四月三〇日

議長 菅原茂敏 ・ 副議長 林 栄之助

平成二二年四月三〇日～平成二三年四月三〇日

議長 林 栄之助 ・ 副議長 稲葉寛久

平成二三年五月一日～現在

議長 林 栄之助 ・ 副議長 稲葉寛久



議長 若林 岩藏



議長 高田 久岩



議長 松館勇次郎



議長 林 栄之助



議長 若林 彰



議長 佐藤久次郎



議長 米田 清作



議長 岡村作次郎



議長 羽山 守也



議長 小林 元行



議長 菅原 茂敏



議長 滝本長次郎



議長 斎藤 敬作

歴代議員

第二六期 昭和三二年四月三〇日～二六年四月二九日

佐々木吉藏 村木亀太郎 川島四五六 高澤明雄 土

橋松次郎 高田久岩 小浜忠次郎 山本山五郎 本間甚

右衛門 高橋庚子郎 鈴木信太郎 小林元行 干場兼吉

若林岩藏 山内勝美

第二七期 昭和二六年四月三〇日～三〇年四月三〇日

綿谷 栄 川島四五六 高田久岩 高澤明雄 松館勇

次郎 米田清作 村木亀太郎 岩澤 朔 菅原正雄 土

橋松次郎 鈴木信太郎 小林元行 干場兼吉 坂本勝栄

若林岩藏 山田数一

【註】本間甚右衛門（神恵内）小浜忠次郎（神恵内）

佐野川 哲（神恵内）が当選したが、本間、小浜は死

亡、佐野川は辞職により、岩澤 朔、菅原正雄、土橋松

次郎が補欠当選。

第二八期 昭和三〇年五月一日～三四年四月三〇日

川島四五六 高田久岩 高澤明雄 松館勇次郎 米田

清作 岩澤 朔 菅原正雄 土橋松次郎 金田一清作

黒崎英夫 山内 一 小林元行 干場兼吉 若林岩藏

山田数一 松田直藏

第一九期 昭和三四五年五月一日～三八年四月三〇日

松館勇次郎 高澤明雄 川島四五六 高田久岩 米田

清作 岩澤朔 土橋松次郎 黒崎英夫 村木亀太郎 齋藤敬作 小林元行 山内 一 坂本勝榮 島谷清一 山田数一 若林久晃

第二〇期 昭和三八年五月一日〜四二年四月三〇日

松館勇次郎 高澤明雄 川島四五六 高田久岩 米田清作 岩澤 朔 齋藤敬作 金田一清作 松屋淳一 小林元行 山内 一 島谷清一 滝本長次郎 若林久晃 高田梅吉 長濱賢藏

第二一期 昭和四二年五月一日〜四六年四月三〇日

松館勇次郎 米田清作 金田一清作 佐藤久次郎 高澤明雄 高田久岩 岩田久好 岩澤 朔 川島四五六 稲葉光雄 小林元行 山内 一 島谷清一 滝本長次郎 高田梅吉 長濱賢藏

第二二期 昭和四六年五月一日〜五〇年四月三〇日

(定員一四名)

松館勇次郎 川島四五六 米田清作 金田一清作 村田敏一 佐藤公彦 黒崎英夫 小林元行 山内 一 渡辺市雄 滝本長次郎 羽山守也 高田梅吉 長濱賢藏

第二三期 昭和五〇年五月一日〜五四年四月三〇日

村田敏一 米田清作 松館勇次郎 羽山守也 佐藤久次郎 金田一清作 岡村作次郎 齋藤敬作 黒崎英夫 稲葉光雄 川島四五六 滝本長次郎 小林元行 土橋義雄

第二四期 昭和五四年五月一日〜五八年四月三〇日

齋藤敬作 金田一清作 松館勇次郎 米田清作 渡辺市雄 稲葉光雄 土橋義雄 村田敏一 岡村作次郎 長濱賢藏 滝本長次郎 黒崎英夫 小林元行 佐藤久次郎

第二五期 昭和五八年五月一日〜六二年四月三〇日

齋藤敬作 齊藤幸市 佐藤久次郎 村田敏一 米田清作 金田一清作 滝本長次郎 羽山守也 小林元行 菅原勘太郎 岡村作次郎 長濱賢藏 稲葉光雄 土橋義雄

第二六期 昭和六二年五月一日〜平成三年四月三〇日

(定員二名)

齋藤敬作 村田敏一 佐藤久次郎 若林 彰 米田清作 菅原勘太郎 澤口成吉 金田一清作 齊藤幸市 阿部 一 羽山守也 岡村作次郎

第二七期 平成三年五月一日〜平成七年四月三〇日

岡村作次郎 齊藤幸市 大井隆三 齋藤敬作 佐藤久次郎 澤口成吉 滝本長次郎 若林 彰 阿部 一 菅原勘太郎 羽山守也 菅原茂敏

第二八期 平成七年五月一日〜平成一一年四月三〇日

阿部 一 上田道博 羽山守也 岩澤克明 大井隆三 澤口成吉 菅原茂敏 滝本長次郎 菅原勘太郎 若林 彰 岡村作次郎 佐藤久次郎

第二九期 平成一一年五月一日〜現在(定員一〇名)

大井隆三 稲葉寛久 若林 彰 林 栄之助 岡村作

次郎 滝本長次郎 澤口成吉 岩澤克明 菅原勘太郎
羽山守也

第三〇期 平成一五年五月～平成一九年四月

(定員一〇名)

若林 彰 岩澤克明 稲葉寛久 岡村作次郎 菅原茂
敏 滝本長次郎 澤口成吉 林 栄之助 本間俊介 菅
原育太郎

(若林 彰 平成一七年一月二五日逝去・菅原育太郎
平成一七年一月一日辞職)

補欠選挙執行され(平成一七年一月一八日)上田道

博 田中正浩当選

第三二期 平成一九年五月～平成二三年四月

(定員八名)

菅原茂敏 岩澤克明 上田道博 稲葉寛久 本間俊介
林 栄之助 伊藤公尚 岡村作次郎

第三三期 平成二三年五月～現在(定員八名)

伊藤公尚 岩澤克明 本間俊介 松谷堅志 上田道博
田中正浩 稲葉寛久 林 栄之助



議会開催風景

役場庁舎の沿革

明治十一年（一八七八年）開拓使古宇出張所庁舎の払下げを受け、神恵内戸長役場にあてて。建坪六坪二合五勺、病院と併設した。

明治三十三年（一九〇〇）四月二二日の大火で焼失、同年秋に復旧した。建坪三三坪

大正二年（一九一三）一月七日に会議室二〇坪新築、建築費六三一円七銭、木造平家建。

昭和八年（一九三三）四月に会議室は二八坪となる。一〇月に書庫一一坪五合新築、木造二階建、建築費二五〇円。

昭和十六年（一九四一）八月に明治三十三年建築した三三坪を解体し、事務室、宿直室、小使室等、四三坪五合を建築。建築費四、三五〇円。

昭和四三年（一九六八）七月に役場庁舎解体、同時に村長住宅も解体し、同敷地内に新庁舎の建設着手。

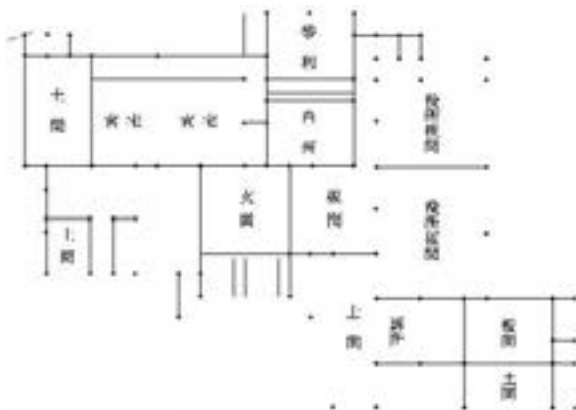
昭和四四年（一九六九）六月五日工事竣工、建坪二三三坪七三、建築費三、一八六万円、鉄筋造二階建、八月一四日庁舎落成式を挙行。

平成元年（一九八九）役場庁舎の増改築工事着手。六月二十九日完成。鉄筋コンクリート造、面積一五四㎡、（二階七四㎡・二階八〇㎡）事業費六三、四三四千円

明治11年開拓使から払下げをうけた当時の戸長役場

（※部屋部分は開拓使古宇出張所のもの）

病院及び病室として使用 ← | → 戸長役場として使用



神恵内・赤石・珊内三ヶ村戸長役場（明治25年 8 月落成～明治33年）



明治33年から昭和16年までの役場庁舎



役場庁舎落成（昭和16年～昭和43年まで）



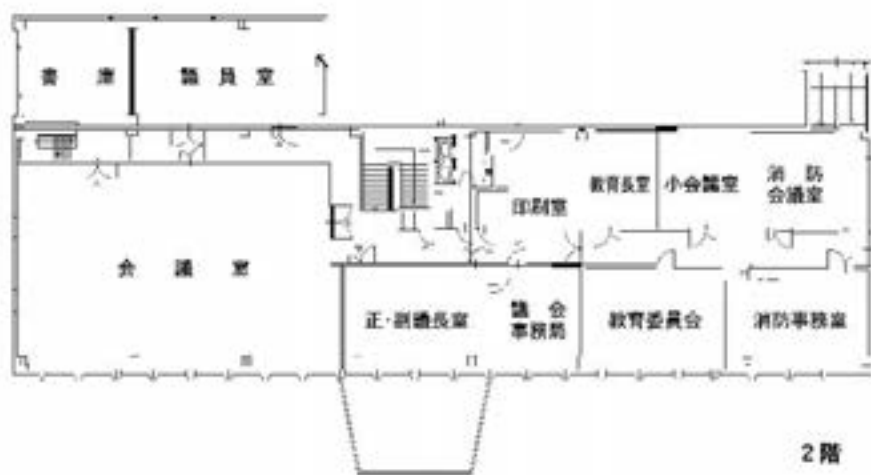
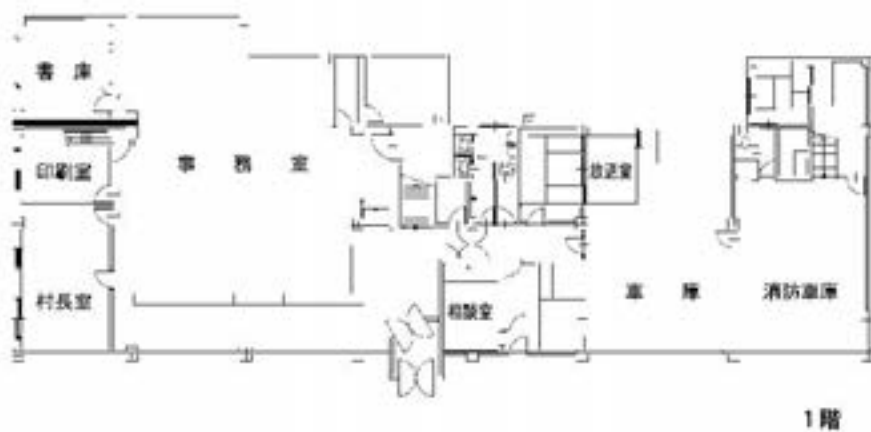
昭和44年に完成した役場庁舎



平成元年に増改築した現庁舎



平成元年に増改築した現庁舎平面図



医療一四〇年

（古宇病院が設置されて）

病院の経営

神恵内に病院が設置されたのは明治五年。医療機関がこのように早く開設された背景は、開拓使古宇出張所が医師の必要を認め、近藤道慶医師を配置したことによる。

その後、一〇年までは開拓使によつて病院の経営が行われたが、一一年以降は古宇郡五ヶ村（神恵内、盃、興志内、赤石、珊内）の共同経営に変わった。

各村総代人は、毎年病院の維持予算と村毎の負担金を決めて病院経営に当たった。明治二六年になつて医師は村医として発令されるようになり、珊内にも村医がおかれるようになった。

このため、病院の経費は神恵内外二ヶ村戸長役場の負担となつたが、年々維持費は増大し、加えるに二シン漁が不漁で村の財政が不安定となり、明治三九年には道庁に対して医師の給与を補助してほしい

と申請するなど、多難な時代もあつた。

しかし、生命を守る医師を常置してほしいという村民の願いは強く、その後も困難な条件の中で医師確保がはかられてきた。

戸長時代（明治三九年まで）の歴代医師

神恵内

近藤道慶

本郷友信

菊地

諏訪幾馬

池田

山崎

福井

戸田貞二

珊内

鈴木兵太郎

*菊地、池田、山崎、福井の四医師の名は不詳



◀古宇病院～神赤病院
(明治33年～昭和55年まで)

▶ 珊内診療所
(昭和10年～昭和32年まで)



◀ 歯科診療所(平成24年3月新築)

▶ 村立診療所



神恵内村医療のあゆみ

明治 五年 古宇病院設置される

大正一〇年 珊内診療所設置される

古宇病院を神赤医院に改称する

昭和三二年 国立札幌病院附属珊内診療所設置される

昭和三五年 神恵内村国民健康保険発足する

昭和五一年 齒科診療所開設される

昭和五五年 神赤医院閉鎖される

村立神恵内村診療所（ベット数一九床）開設される

（昭和五五年六月）

神恵内村立診療所歴代医師

（診療所長）

①田 中 速 夫

昭和五五年六月一日～昭和五五年十二月三十一日

②改 井 進

昭和五六年一月一日～昭和五六年四月三〇日

③高 橋 庚子郎

昭和五六年五月一日～昭和五六年五月三十一日

④小 野 萩 代

昭和五六年六月一日～昭和五七年一月二十九日

⑤高 橋 庚子郎

昭和五七年一月三〇日～昭和五八年三月六日

⑥野 田 勝 美

昭和五八年三月七日～平成四年三月三〇日

⑦趙 重 文

平成四年四月一日～平成六年八月三十一日

⑧菊 地 哲

平成六年九月一日～平成七年九月三〇日

【入院施設を休止する（平成七年五月）】

⑨藤 原 勝 城

平成七年一〇月一日～平成九年二月二十八日

⑩名児耶 満 徳

平成九年四月一日～平成九年六月九日

⑪小野寺 一 史

平成九年七月一四日～平成一一年三月三十一日

【村立診療所業務を委託する（平成一一年四月）】

・小野寺 一 史

平成一一年四月一日～平成一四年九月三〇日

・安 友 弘

平成一四年一〇月一日～平成一五年三月三十一日

・吉田 正志

平成二五年四月一日～平成一七年一〇月三二日

・医療法人溪仁会手稻溪仁会病院に診療業務委託

平成一七年一月一日～平成一八年一月一五日

・廣瀬 裕二

平成一八年一月一六日～平成二二年九月三〇日

・特別医療法人恵和会西岡病院・特定医療法人欄友会里塚病院・医療法人禎心会新札幌敬愛会病院から医師派遣

平成二一年一〇月一日～平成二三年三月三二日

・池田 典康

平成二二年四月一日～平成二四年三月三二日

・三谷 深泰

平成二四年四月一日～現在

○神恵内村立歯科診療所完成

一九七六年（昭和五一年）

木造二階建て一五〇、七九㎡

①武山 晴輝

昭和五一年六月一日～昭和六二年一月一七日

②大崎 健彦

昭和六三年五月一日～平成三年四月三〇日

③西尾 信吾

平成三年五月一日～平成六年七月三二日

④澤田 幸武

平成六年八月一日～平成一〇年六月三〇日

⑤深井 剛

平成一〇年七月一日～平成一四年四月三〇日

⑥萩野 司

平成一四年五月一日～現在

・神恵内村立歯科診療所新築工事完成

二〇一二年三月二二日（平成二四年）

壁式鉄筋コンクリート造二階建

建築面積一二九、三四㎡

延床面積二五一、六㎡

新築となつた歯科診療所で四月三日から診療開始

歯科診療所歴代医師

初代歯科医（台湾出身）

道路開通九〇年

(茂岩く神恵内間)

【一般国道三二九号 積丹半島一周道路】全線開通

平成八年一月一日午後一時三〇分大正時代から村民の悲願であった積丹半島一周道路（積丹町沼前く神恵内村ノット間約六・七km）が完成し全線開通となった。

開通した国道三二九号の沿線は、断崖絶壁が続き、着工から約二五年余の歳月を費やしての大事業であった。資料によると大正一四年（一九二五）に国の官僚が来村した折「道路開墾ノ義ニ付陳情」という陳情をしたとされ、隣町でありながら近くて遠い積丹町への道路整備への村民の思いが伝わってくる。また、当時の村長の引



道路完成記念碑建立
(大正11年9月)



昭和2年頃の赤石村中の滝付近



大正11年頃の弁財橋

継書の中にも道路整備について記載されている。

国道二二九号の半島先端部の整備は大正十一年（一九二二）の泊村茂岩と神恵内間が開通を皮切りに進められ、昭和二八年（一九五三）に新道路法制定され開発局管理の開発道路の指定を受け、整備が本格的に行われてきた。



一般国道二二九号開通記念碑

道路の開通を記念し最後の西の河原トンネル工事を担当した共同企業体から村に寄贈された

一般国道二二九号は、小樽市から江差町に至る延長約二八〇kmの国道で、日本海沿岸地域の産業活動や住民生活を支える重要な幹線道路で、海岸沿いの急崖地形の連続した難所の多い路線であり、長年にわたる整備によって不通区間が一つ一つ解消されてきた。

開通となった積丹町沼前と神恵内村ノット間は昭和六一年より工事が着工され、区間延長の四八%を占める三つのトンネルにより厳しい地形条件を克服し、一般国道二二九号の最後の不通区間が解消された。

一般国道二二九号茂岩・神恵内間は、第二次改修（折石防災工区）により平成二二年三月に茂岩トンネル及び神泊大橋が六月に完成し、平成一三年六月二一日午後三時に供用開始された。

平成一六年九月八日には、台風一八号の高波と強風で国道二二九号の大森大橋が落橋し村を分断するなど甚大な被害を受けたことから、応急復旧橋の建設をはじめ平成一七年三月からは本復旧工事として新大森トンネルが着工されるなど新たな道路整備が進められ、平成一九年三月二一日大森トンネル（総延長二、五〇九m、内新トンネル一、四八二m）が

完成し供用開始となった。

一方、平成一九年三月二日には待望の茂岩・神恵内村間の魚谷大橋（二一四m）・弁財澗大橋（二三〇m）・祈石大橋（二八九m）の三橋が完成し供用開始された。最後の尾根内大橋（三〇〇m）は、土地取得が遅れ平成二三年二月二八日午前一〇時に供用開始。四橋の完成により落石や急カーブなどが解消され、通勤や医療等に即した安全で災害に強い道路が誕生した。

大森トンネル



祈石・弁財澗・魚谷・尾根内大橋



茂岩トンネル・神泊大橋



泉源開発の歩み

(地熱開発ボーリング)

神恵内村における温泉開発は、明治三五年に小川温泉免許おりの(炭酸鉱泉)と記載されているが、昭和三四年一〇月に神恵内湯の沢温泉開発組合が、神恵内村字小川一二四九番地に自然湧出しているものを当時の北海道立衛生研究所に調査依頼し、含炭酸含重碳酸土類食塩泉(緩酸性低張冷鉱泉)湧出量は毎分三リットル、泉温一二度として分析されたのが湯の沢温泉(小川温泉)として当村第一号の温泉である。当時は小川のせせらぎを聞きながら温泉水をポンプで押して浴槽に、薪を燃やすのにウチワで仰ぐ、煙が目に入り涙を流しながらの後で熱い温泉に入るのがまた格別で、タオルは赤く染まるほど、夜はランプをつけての入浴であつたと聞いている。

浴用としての適応症は、慢性筋肉リウマチ、慢性関節リウマチ、神経痛、創傷、通風、慢性皮膚病他等。また飲用としては、慢性胃力タル、胃腸アトニー、貧血症他と書かれている。

「湯の沢温泉」は、現在壊され昔の跡地がかすかに在るぐらい、自然湧出していた温泉も今は確認できない。

その後、村民の保養の場としての泉源開発が強く望まれ、昭和四六年に神恵内漁港船揚場背後地に深度五七〇mのテストボーリングを実施し、孔底温度が五八度に達し、地温上昇率が大きいことが確認されたが、湧出量は自噴で、毎分一、五リットル、また、揚湯試験では、泉温三三度、揚湯量は六〇リットルとなり、深度の高温部からの温泉の供給が少なく利用価値としてはやや劣るものであつた。

その後、昭和四七年に青少年旅行村が開村し、夏季に訪れる旅行者が増大したため村民の保養と憩いの場及び観光目的を兼ねた泉源開発が望まれ一号井の西側約三〇mの地点に深度八〇五、七mの二号井が昭和五四年に掘削された。「温泉竜神荘」で浴用として利用され、長年村民に喜ばれた。(老朽化のため平成二一年に解体)

昭和五七年六月から翌年一月までアワビ中間育成施設の熱源開発と地下地質状況の把握のため三号井

のボーリングが進められたが顕著な湧出が認められず廃井となっている。

また、平成元年に入り再度地熱開発が計画され、その年一二月から翌年二月にかけて温泉ボーリングのための事前調査として、泉源探査が進められ、神恵内トンネルを基点として古宇川上流の3kmを比抵抗映像法電気探査により実施した。この結果、基点から一、六〇〇m付近をボーリングすることとして、平成二年八月から翌年三月までの工期の中で掘削が開始された。当初の掘削計画では一、〇〇〇mであったが、温泉の兆候の出現が深度九九八mで予想よりも深かったため、一〇〇〇m増掘することとした。一、一〇〇mの掘削終了後各種の孔内検査が行われ、ケーシングパイプを挿入し孔内の洗浄実施中の平成三年二月一八日に待望の大量のガスを伴った温泉水が自噴した。

その吹き上げる高さは三〇m〜四〇mにも見えた。温泉水の分析の結果、日本でもまれなる高濃度の塩化物泉で蒸発残留物キロ当たり四八、三g、泉温五九、四度、湧出量毎分二三〇リットルのナトリ

ウム―塩化物強温泉（中性高張性高温泉）である。

平成三年九月にはリフレッシュプラザ温泉九九八の建設に着手、平成四年三月に完成し、四月一七日オープンし、しょっぱさ国際級として賑わいを続けている。

五号井は、平成四年に珊内川の上流にかけて比抵抗映像法電気探査により調査を実施し、イワナ橋付近を平成五年から平成六年一月にかけて掘削、深度一、〇〇〇mまで実施した。その結果、特に多くの湧出量がなかったが動力揚湯で毎分一〇〇リットル、泉温三四、四度のナトリウム・鉄（Ⅱ）硫酸塩・塩化物・炭酸水素塩泉として珊内ぬくもり温泉が利用している。

六号井は、温泉九九八の補助井として使用することを目的に温泉九九八の上流八〇〇mを深度一、五〇〇mまで掘削したが顕著な湧出量がなく、平成八年一〇月孔口密閉し、廃井とした。

〈泉源開発の歴史〉

一号井 昭和四六年（一九七一）〈神恵内漁港船揚場背後地〉

掘削深度五七〇m 泉温低く揚湯量微量につき未利

用

二号井 昭和五二年（一九七七）〈神恵内漁港船揚場背後地〉

掘削深度八〇五、七m 揚湯量毎分九五リットル

泉温三八、五度 泉質：弱食塩泉

観光センター「温泉 龍神荘」利用 昭和五四年五

月一日オープン

三号井 昭和五八年一月（一九八三）〈アワヒセンター横〉

掘削深度一、二〇四m 顕著な湧出見られず廃井

四号井 平成三年一月（一九九一）〈大川地区〉 掘削深度

一、一〇〇m（二〇〇m増堀）湧出量

毎分二三〇リットル（間欠泡沸泉：炭酸ガスリフ

ト）泉温五九、四度 泉質：ナトリウム塩化物強塩泉

（強食塩泉）海水の約一、三倍のしょっぱい温泉

神恵内村リフレッシュプラザ「温泉九九八」利用

平成六年一月（一九九四）〈珊内地区〉 掘削深度

一、〇〇〇m（二〇〇m増堀）瞬間揚湯量毎分一〇

〇リットル 泉温三四、四度 泉質：ナトリウム・

鉄Ⅱ硫酸塩・塩化物・炭酸水素塩泉

六号井 珊内ぬくもり温泉利用 平成八年四月一日オープン

平成七年三月（一九九五）〈温泉九九八上流約八〇

〇m〉 掘削深度一、〇〇〇m（二〇〇m増堀）

顕著な湧出見られず

平成八年十二月（一九九六）六号井の増堀五〇〇m

するも湧出量微量につき平成八年孔口密閉廃井



←一号井～三号井の位置図面



大正2年頃の小川温泉



珊内ぬくもり温泉



温泉九九八

消防組織一三〇年：消防のあゆみ

消防のあゆみ

〈消防力の充実〉

消防の沿革を見ると

明治一五年五月 私設の消防組が創立した。

明治二八年八月 公設の消防組として認可された。

明治三八年九月 消防器械置場を新築。四坪五合。

大正元年一〇月 消防器械置場を四坪増築。八坪五合となる。

大正五年一月 明治三八年九月建設の消防器械置場四坪

五合を取り壊し、八坪新築。

昭和四年八月 手引きガソリンポンプ一台購入。価格

一、七〇〇円（消防組員寄附一、〇〇五

円、一般寄附六九五円）

昭和六年五月 消防器械置場を役場庁舎横に移築。平家

建。

昭和八年五月 北井長作氏がエスエム式二五馬力ガソリ

ンポンプ（二、三〇〇円）を寄附した。

昭和一四年 消防組が警防団となる。

昭和二三年 消防組織法施行により、消防団となる。

初代団長に松館勇次郎氏が就任。

昭和二八年 消防ポンプ自動車一台購入（価格一〇〇

歴代消防団長

〈組頭〉

初代組頭 浅田 明

二代目組頭 柳田 吉藏

三代目組頭 初代 北井 長作

四代目組頭 澤口 啓藏

五代目組頭 田中 永吉

六代目組頭 福島 岩藏

七代目組頭 井上 茂助

八代目組頭 二代目 北井 長作



初代 北井長作



田中永吉



井上茂助



二代目 北井長作

※初代、二代目、四代目、六代目組頭は写真不明

昭和四〇年

万円)
消防ポンプ自動車一台購入(価格二四〇万円)

※昭和二八年購入の消防ポンプ自動車廃棄となる。

昭和四三年

消防車庫を解体。同敷地内に役場庁舎と消防庁舎を建設。

昭和四四年

消防庁舎竣工。

昭和四五年

第二分団に防火貯水槽二基設置(各四〇㎡)

昭和四九年

岩内・寿都地方七ヶ町村により消防一部事務組合設立される。

岩内・寿都地方消防組合神恵内消防団と改称される。

岩内・寿都地方消防組合消防署神恵内分遣所となり常備化が図られる。

昭和五〇年

小型動力ポンプ付積載車一台購入(価格二七〇万円)

昭和五三年

第一分団防火貯水槽一基設置(四〇㎡)

昭和五四年

神恵内分遣所普通ポンプ自動車一台購入(価格一、四八〇万円)

昭和五八年

岩内・寿都地方消防組合消防署神恵内支署に改称される。

〈警防団長〉

初代警防団長 高田久岩

二代目警防団長 松館勇次郎

昭和二年九月二五日〜三年三月三日



高田久岩



松館勇次郎

〈消防団長〉

神恵内村 初代消防団長

松館勇次郎

(昭和三年四月一日〜昭和四九年三月二日)

岩内・寿都地方消防組合

神恵内消防団長 松館勇次郎

(昭和四九年四月一日〜昭和六二年二月二日)

岩内・寿都地方消防組合

二代目神恵内消防団長 佐藤市太郎

昭和六二年一月二〇日〜平成元年七月二〇日

岩内・寿都地方消防組合

三代目神恵内消防団長 三浦信男

昭和六一年

神恵内支署に水槽付消防ポンプ自動車一台購入（価格二、一〇六万円）

※昭和四〇年購入の普通消防ポンプ自動車廃棄となる。

昭和六二年

第二分団（冊内）に小型動力ポンプ付積載車購入（価格三七〇万円）

平成元年

小型動力ポンプ付積載車一台廃棄となる。

第一分団に小型動力ポンプ付積載車一台購入（価格五四五・九万円）

平成四年

神恵内支署に消防用無線二台増設される。

平成九年

神恵内支署に救助器具一式購入される。（エンジン・カッター他）

平成一〇年

右同（スプレッター・クイックチェーン・ホースリール他）

平成一一年

消防専用超短波無線基地局（第一装置）第三装置）各一台更新

平成一二年

消防用基地局高利得コリーニア空中線更新（支署）

平成一三年

消防用モーターサイレン更新（支署・第二分団冊内）

平成一六年

小型動力ポンプ付積載車一台購入（二卜

岩内・寿都地方消防組合

四代目神恵内消防団長 三浦 正勝

（平成一五年四月一日～平成二三年三月三二日）

岩内・寿都地方消防組合

五代目神恵内消防団長 本間 俊介

（平成二三年四月一日～現在）



三浦正勝



佐藤市太郎



本間俊介



三浦信男

平成一七年	ントラック）更新（第一分団配置）（価格一、一〇二万円） 水槽付（水槽三トシ）消防自動車購入 （第一分団配置）（価格四、一〇四万円）
平成一八年	第二分団（冊内）に小型動力ポンプ付積載車・小型動力ポンプ台車付購入（価格九九七万円）
平成一九年	消防用携帯無線機（五W）一台更新
平成二一年	第一分団消防格納庫屋根・外壁改修（工事費二七三万円）
平成二二年	第二分団（冊内）消防格納庫屋根・外壁改修（工事費二六二万円）
平成二三年	消防用携帯無線機（五W）一台増設 第二分団（冊内）消防格納庫屋根・外壁改修（工事費二五二万円）

一三〇年に至る消防の歴史の中には、明治三三年の大火や、神恵内小学校の火災をはじめ多くの火災に出勤して最小限度の被害にとどめる努力が続けられてきた。

火災だけでなく、あらゆる災害に対処しての活動も消防団に負うところが大きく、その充実が期待されている。

消防後援会は、村民の消防力充実に對する願いが組織化されたものであり、火災予防に對する理解と協力は大きいものがあつたが、昭和四九年その目的を果たして解散した。

同年四月からは、岩宇、南後志の七町村（岩内町・共和町・泊村・神恵内村・寿都町・島牧村・黒松内町）によつて岩内・寿都地方消防組合が設立され、広域消防体制の強化、充実が図られてきた。



〈昭和6年当時の消防組器具置場〉



〈昭和28年 消防車購入（フォードポンプ）〉



昭和36年災害 〈ヤエダウス橋〉



昭和36年災害 〈堤防決壊〉



〈消 防 演 習〉



〈手引ガソリンポンプ（昭和8年、北井号）〉



〈腕用ポンプ（明治33年）〉



〈昭和30年代の出初め式〉



〈神恵内消防団出初式〉

第20回岩内・寿都地方消防組合連合演習



〈9月2日神恵内村総合グラウンド〉





村づくりの功労者

名誉村民

第一号

故・高橋庚子郎氏

昭和六〇年一月四日逝去

昭和九年に珊内診療所に村医として赴任。その後、神恵内で神赤医院を経営し、四三年もの永い間、ひたすら「医療に恵まれないへき地にこそ、医師の使命がある」という信念で、村民の生命を守り続けて下さいました。



第二号

故・本間 誠一氏

昭和六三年四月二十五日逝去

裸一貫で興業界に飛び込み、我が国興業界の雄として活躍され、四〇年近くも映画や演芸の公演をはじめ、村内小中学校や公共施設への備品寄贈、招待旅行などを続けて下さいました。



第三号

故・北井七太郎氏

昭和五九年九月二十八日逝去

昭和五年に神恵内村の職員となつて以来、四三年もの歳月を地域住民の身になつて奉仕。なかでも昭和二八年から五期、二〇年もの間村長を務め、村づくりの先頭に立ち、戦後の村の発展に大きく尽力されました。



第四号

高山 庸一氏

昭和二〇年に神恵内村に奉職以来、教育長として一九年一〇ヶ月間戦後の混乱する教育の充実発展のために、村長として二九年間に亘り村づくりの先頭となり、神恵内村発展のために多大のご尽力をされました。また、全国漁港審議会委員、北海道にあつては治山協会々長、漁港協会副会長、町村会副会長、後志にあつては町村会々長、総合開発期成会々長、教育振興会・公立文教整備促進期成会々長他数多くの要職を務められました。



功 勞 者 名 簿

昭和三九年度

【自治功勞】

岩澤 朔
川島 四五六
小林 元行
鈴木 信太郎
高田 久岩
高澤 明雄
土橋 松次郎
村木 龜太郎
安達 重太郎
龜山 博
齊藤 幸市
三上 正巳
小倉 辰吉
佐藤 喜代作
玉川 重二郎
井上 茂助
高橋 信茂

(故) 田中 明

(故) 松屋 清一

(故) 吉田 專之助

(故) 若浜 徳次郎

(故) 若林 岩藏

【文化功勞】

米田 藤吉

本間 誠一

北井 八重

高橋 庚子郎

大崎 孝太郎

(故) 戸田 貞二

【産業功勞】

池田 岩治

川松 龍太郎

鹿取 山次郎

佐藤 浅藏

佐々木 吉藏

相馬 辰治

端本 平次郎

松館 石太郎

村田 豊治

吉田 勇太郎

渡辺 藤松

森本 豊

大井 徳太郎

(故) 出町 初太郎

(故) 米田 豊作

(故) 木下 寅吉

(故) 澤口 庄助

【公益功勞】

山内 豊吉

滝本 長作

三澤 正

輪島 市雄

(故) 小倉 源次郎

(故) 加藤 政治郎

(故) 北井 長作

昭和四〇年度

【自治功勞】

山下 吉四郎

佐藤 文治

小倉 源市

木下 喜代司

(故) 山内 弟次郎

(故) 本間 甚右門

(故) 米内山 丑之助

【産業功勞】

松館 勇太郎

【公益功勞】

(故) 北井 長作

(故) 渋谷 久太郎

(故) 澤田 千代藏

昭和四一年度

【自治功勞】

種田 美一郎

(故) 福原 清藏

〔故〕房 幸太郎
〔文化功勞〕

〔故〕石澤 満治

〔故〕滝澤 長助

〔故〕鯨岡 角弥

〔故〕斉藤 黙禅

〔故〕岩田 スミ

〔産業功勞〕

羽山市郎

〔故〕橋村 定助

昭和四二年度

〔自治功勞〕

岡田順平

〔故〕干場 栄吉

〔産業功勞〕

〔故〕高橋 助治

〔故〕佐藤 八十松

〔故〕万寿 祐治

昭和四三年度

〔自治功勞〕

〔故〕松田 直藏

〔故〕干場 兼吉
〔故〕稲葉 光次良

〔産業功勞〕

斉藤 亀五郎

市川 松男

〔故〕三上 丑松

〔故〕林 三太

〔公益功勞〕

稲船 竹次郎

福澤 ヨシ

〔故〕阿部 為太郎

〔故〕菅原 定治郎

〔故〕渡辺 清八

〔故〕青塚 富太郎

〔故〕斉藤 春藏

昭和四四年度

〔自治功勞〕

〔故〕菅原 専之助

〔故〕三橋 謙藏

〔故〕山本 山五郎

〔故〕綿谷 佐一郎

〔産業功勞〕

青塚 末太郎

〔故〕田中 永吉

〔公益功勞〕

〔故〕広田 佐太郎

昭和四五年度

〔自治功勞〕

小笠原 信吉

〔故〕山田 数一

〔故〕木村 文忠

〔産業功勞〕

〔故〕福島 岩藏

〔故〕畠山 三次郎

〔故〕北田 仁太郎

〔故〕澤口 啓藏

〔公益功勞〕

木村 吉太郎

昭和四六年度

〔産業功勞〕

伊藤 今藏

佐藤 石松

畠中 勇三

〔故〕中川 慶次郎

〔故〕佐々木 九助

〔公益功勞〕

菅原 松藏

〔故〕岩澤 アイ

〔故〕柳田 吉藏

昭和四七年度

〔開村一〇〇年特別表彰〕

〔自治功勞〕

北井 七太郎

〔故〕若林 岩藏

〔故〕井上 茂助

〔公益文化功勞〕

高橋 庚子郎

本間 誠一

〔故〕田中 明

〔故〕戸田 貞二

〔故〕干場 栄吉

〔故〕北井 長作

〔故〕小倉 源次郎

(故)大崎 亀吉
【産業功勞】

(故)澤口 庄助

(故)高橋 信茂

(故)米田 豊作

(故)出町 初太郎

昭和四八年度

【自治公益功勞】

北井 七太郎

【自治功勞】

(故)大瀨 豊吉

(故)池田 富太郎

(故)三澤 常次郎

(故)猪川 吉松

【産業功勞】

斉藤 秀吉

澤口 助一

昭和四九年度

【自治功勞】

米田 清作

山内 清一

佐藤 竹三郎
(故)澤田 鍋太郎

【文化功勞】

田中 忠

(故)若林 久晃

【産業功勞】

(故)新谷 小三郎

【公益功勞】

阿部 祐二

野崎 ハル子

昭和五〇年度

【自治功勞】

高田 梅吉

長濱 賢藏

坂本 勝栄

【産業功勞】

三澤 島太郎

綿谷 一

(故)金田一 命治

(故)佐藤 岩次郎

【公益功勞】

菅原 亦次郎
輪島 ナミ

(故)本谷 清太郎

昭和五一年度

【自治功勞】

長濱 賢之助

(故)小倉 卯之助

【文化功勞】

播磨 レイ

【産業功勞】

渡辺 市雄

佐藤 久太郎

阿部 勝造

(故)羽山 伊太郎

(故)熊野 栄次郎

【公益功勞】

小林 ヒサ

昭和五二年度

【自治功勞】

金田一 清作

黒崎 英夫

【産業功勞】

(故)滝口 清七

【公益功勞】

三上 晋作

山内 忠治

千葉 正巳

柿崎 愛子

高橋 リエ

(故)佐藤 重次郎

(故)佐藤 作雄

昭和五三年度

【自治功勞】

山内 寛一

【文化功勞】

北村 忠一

【産業功勞】

石山 豊

米田 才太郎

【公益功勞】

高橋 フジ

橋畑 徳次郎
相馬 正一
高松 浦里

昭和五四年度

【産業功勞】

酒谷 康春

【公益功勞】

齊藤 松雄

本間 イト

(故) 佐藤 勇

(故) 綿谷 栄

(故) 松屋 永作

昭和五六年度

【自治功勞】

平野 由雄

【産業功勞】

畠山 耕二

【公益功勞】

干場 賢太郎

昭和五八年度

【自治功勞】

滝本 長次郎

阿部 一

(故) 齊藤 久吉

(故) 齊藤 喬市

【公益功勞】

川村 敏子

滝本 鶴松

松屋 淳一

武井 康彦

能登 武登

昭和五九年度

【自治功勞】

伊藤 由美

鹿取 幸次郎

【公益功勞】

池田 時四郎

野村 正巳

(株)北興生コン

昭和六〇年度

【自治功勞】

村木 源八

【公益功勞】

青塚 武藏

小藏 敏雄

遠藤 セン

北井 八重

昭和六一年度

【自治功勞】

齋藤 敬作

【公益功勞】

輪島 良巳

佐藤 市太郎

高田 リノ

山森 繁

昭和六二年度

【自治功勞】

稲葉 光雄

【産業功勞】

一条 春男

【公益功勞】

稲船 初二

若宮 清五郎

川村 敏子

岡村 ハツイ

昭和六三年度

【自治功勞】

佐藤 久次郎

池田 光男

(故) 松館 勇次郎

(故) 岡田 常利

【公益功勞】

鈴木 正治郎

奈良 徳藏

本間 戸枝子

岡田 タマ

平成元年度

【自治功勞】

松原 政美

【産業功勞】

佐藤 公彦

武田 忠治

【公益功勞】

井家 清孝

平成二年度 小笠原 幸一

【自治功勞】

岡村 作次郎

羽山 守也

酒井 好比古

【産業功勞】

(敵)黒田 弥十郎

【公益功勞】

平井 うめ

平成三年度

【自治功勞】

土橋 義雄

山田 仁次郎

【公益功勞】

玉川 明治郎

佐々木 輝明

川村 正夫

平成五年度

【自治功勞】

菅原 勘太郎

井上 旭

三上 菊

【公益功勞】

安吉 保治

森 芳勝

(株)草別組

平成六年度

【産業功勞】

斎藤 弥三雄

【公益功勞】

蛭澤 猛

梅井 文雄

大井 正太郎

平成七年度

【産業功勞】

澤口 成吉

滝口 清藏

小倉 信一

平成八年度

【産業功勞】

中山 昭一

畠中 孝三

山森 繁

錢亀 良吉

(株)北興生コン

平成九年度

【自治功勞】

若林 彰

猪川 博英

【公益功勞】

三浦 信男

米田 信

齋藤 敬作

平成一〇年度

【自治功勞】

練合 傳

【公益功勞】

若濱 誠一

板谷 崇

玉川 貞子

(株)北興生コン

【産業功勞】

喜多 喜市

【公益功勞】

米田 實

伊藤 啓吉

平成一二年度

【公益功勞】

福原 邦造

川島 百合子

村田 幸

(株)栄設備

平成一三年度

【自治功勞】

大井 隆三

【公益功勞】

三浦 正勝

森 岩勝

小野寺 一史

平成一四年度

次年度へ見送り

佐竹建設(株)

平成二〇年度

次年度へ見送り

(戸長設置一四〇年・消防組織設置一三〇年記念式典)

平成一五年度

【公益功労】

高澤 芙美子

松屋 ヨネ

羽山 守也

松屋 芳昭

(株)北興生コン

平成一六年度

【公益功労】

近藤 豊昭

(故) 齋藤 敬作

松原 政美

松屋 芳郎

岩内建設業協会

(株)草別組

(株)吉本組

(株)進栄

(株)佐々木組

協成建設工業(株)

平成一七年度

【公益功労】

若林 洋子

渡部 喜代志

綿谷 フコ

平成一八年度

【自治功労】

松館 久子

米田 可知昭

【公益功労】

高田 泰明

野宮 恵司

(株)北興生コン

平成一九年度

【公益功労】

佐藤 道雄

澤口 成三

相原 誠

若濱 恭司

(株)内田石油

平成二二年度

次年度へ見送り

【公益功労】

川松 寛

野宮 一郎

川上 忠次

山内 弘

中村 栄子

オホーツク観光(株)

北海道電力(株)

平成三三年度

【文化功労】

五十嵐 浩二

【公益功労】

佐藤 幸弘

大坂 健一

大坂 健一

平成三三年度

次年度へ見送り

平成二四年度

【自治功労】

菅原 茂敏

岩澤 克明

松本 恒雄

【公益功労】

内館 哲二郎

松原 政美

斉田 紀夫

本陣跡地記念碑

開村一〇〇年を記念して

未来の発展を祈り建立す

昭和四七年一月三日

神恵内村長 北井七太郎



記念碑寄贈者 伊藤吉弥・田川賢藏
題字揮毫 本間啓三

故郷を愛する人々



開村一四〇年によせて

札幌神恵内会会長 本間

一

この度郷土神恵内村が、明治五年に神恵内戸長が設置されてから一四〇年の記念すべき節目の年を迎えるにあたり、盛大に開村一四〇年の式典を挙行し、併せて記念事業の一環として村発展の今日までの足跡を記した記念誌を発行されますことは大変意義深いことであり札幌神恵内会を代表致しまして心からお祝い申し上げます。神恵内戸長制度が設置されて以来歴代の村長さん・議会の方々・そして郷土の方々の村発展に寄せるご努力とご労苦に感謝の気持ちでいっぱいです。

神恵内村を離れて幾久しくなりますが、いつも脳裏を巡らすのは四季折々の風光明媚な風景とどの地域にも勝る人情の温かさです。

澄み切った海の色、夕陽に映える竜神岬の雄姿、隣近所はみな親戚のような人の繋がりと声掛け……。いまは北海道一七九市町村の中で人口では後ろから何番目かの小さな村になってしまいましたが、神恵内村で生を受け神恵内村で育ったことを誇りに思っています。

さて、昭和二五年に発足した私どもの札幌神恵内会も半世紀を過ぎ六三年目を迎えました。ふるさとを共にする札幌市やその近郊に在住する村出身者とふるさとに関わりのある有志によつて、郷土を懐かしみ、郷土を語り合い、親睦を図ることを目的に発足しました。

発足当時は、若くして親族と別れて住み慣れた神恵内を離れ大都會の生活の中での淋しさのなかで飾り気のない胸襟を開いての同郷者の集いは絆を繋ぐ心の支えとなつた事と推察されます。

以後半世紀を過ぎた現在も先人の意思を引き継ぎ今年度も三月に六二回目の総会・懇親会を終えることがで

きました。年一回開催されるこの会に、毎回村から村長さん・村議会議長さんをはじめたくさんの方々のご出席をいただき会員共々当時の郷土での思い出話や村の発展している現状を語り合い、いつも和やかな中で時間の経つのも忘れてしまうほど盛り上がった会になっています。

いまでは見られない、春には沖揚音頭に代表される鯁魚、照りつける太陽の下、北井の浜での夏の海水浴。道路の両側に張りめぐらされたいか干し場、厳しい吹雪の中にも港が活気付いていた冬のスケソウタラ漁等。どれも一つひとつの話題の中に幼き日の神恵内での思い出がいっぱい。在任していた当時を思い起こさせてくれます。

発足して六三年も過ぎると時の流れとともに会員も高齢化し創設当時の諸氏は殆ど他界され、年一回の総会・懇親会は一時百人を超す参加者で大盛会のこともありましたが近年は参加者も減少傾向にあり、案内の返信に、「郷土の方々とお会いするのを楽しみにしていましたが体調がすぐれずに欠席」というような文面も多くなり一抹の淋しさが感じられるのが現状です。

創設当時の先達から引き継がれている神恵内小学校を卒業する児童への記念品贈呈は、内容や品物は変わっても、郷土を大事にして欲しいという後輩への願いが、半世紀過ぎた今でも脈々と続けられていることは嬉しい限りです。古い記録によれば、六年生の児童が修学旅行で札幌に宿泊した時に役員が出向き郷土を懐かしみ児童・引率教員と交流し語りあったことが残されており、愛郷の念でいっぱいだったことが伺い知ることができます。

また、近年は郷土訪問を兼ねて七月の初めに開催される沖揚げまつりに貸切バスで出向き、コバルト色の海を背景に幼い頃に味わった神恵内の名産を舌鼓し往時の神恵内での思い出をタイムスリップすることができました。

毎月送っていただいている広報かもえないや新聞・TV等の報道等で村発展のための取り組みや活躍の様子に触れるたび嬉しさがいっぱいです。生徒数の少ない中での神恵内中学校卓球部の活躍や近年漁業で問題になっている磯焼け解消のために全国に先駆けての藻場の造成、台風災害を乗り越切つての「道の駅オスコイかもえない」の新設等々。基幹産業の漁業はもとより観光、住民の福祉向上に日夜ご努力されている村長さん、議会の方々、そして村在住の方々から敬意と感謝を申し上げます。

現在の国・地方を含めての大きな変革の中で、どの地方自治体も行政運営で厳しい時代を迎えています。開村一四〇年を契機に豊かで住みよい郷土神恵内村の更なる発展を願って止みません。

札幌神恵内会歴代会員

- 初代会長 大崎孝太郎 (昭和二五年～二九年)
- 二代会長 綱 由之助 (昭和三〇年～三九年)
- 三代会長 高橋 勇治 (昭和四〇年～四七年)
- 四代会長 澤口 忠吉 (昭和四八年～五七年)
- 五代會長 北井 昭彦 (昭和五八年～平成二年)
- 六代会長 佐々木信博 (平成三年～平成一二年)
- 七代会長 本間 一 (平成一三年～現在)

現 役 員

- 顧問 北井 昭彦
- 会長 本間 一
- 副会長 小笠原敬一 前田 英子 北田莊之輔
- 會計 山森 康
- 幹事長 納谷 義則
- 副幹事長 廣田 政彦
- 監事 横岡八重子 川村 正 長谷川唯子
- 齋藤天輝子 綿谷 厚



第62回札幌神恵内会 平成24年3月10日



開村一四〇年を迎えるにあたって

札幌珊内会会長 坂本達明

開村一四〇年記念の年を迎え、心よりお慶び申し上げます。

明治五年（一八七二年）の戸長が設置されて以来今日まで、先人の開拓精神はもとより、その志を継いで神恵内村発展のためにご尽力いただきました歴代の村長さんをはじめ郷土の皆様方に深い敬意と感謝を申し上げます。次第です。

郷土神恵内村は、幾多の天変地異を乗り越え、基幹産業である漁業では、資源管理型漁業を目指すととして、とりわけ「藻場LANDプロジェクト事業」を企業各社の協賛を得て展開するなど、新たな村づくりに向けて取り組みは、パイロット的な施策としても、大きな成果が期待されるところです。しかしながら、昨年の一・一一東日本大震災に伴う福島原発事故は、道内でも一つの原発を有し隣接する地域として、いやがおうでも注目される自治体となりました。国策としての事業継続は勿論のこと点検後の再稼働など、高度な判断と更なる安全対策が最も重要な課題として報道されております。

私どもの札幌珊内会は、札幌市やその近郊に在住する同郷者や、ふる里珊内にゆかりのある者が集い、昭和

四四年の発足です。会の運営は相互の親睦を図ることを第一義として、最近は隔年での総会・懇親会を行う程度ですが、開催には村長さんはじめ、ふる里有志の方々のご出席を得て、ふる里の近況や在りし日の思い出を語り合うことが、唯一の楽しみとなっております。

ふる里内は、国道二二九号いわゆる積丹半島の周回道路の開通により、「陸の孤島」と言う呼称は、今は久しくなりました。学び舎は文化施設「日本郷土玩具館」として生まれ変わり、新たな活用となっておりますが、風光明媚な海岸線の神恵内・珊内・川白間の多くはトンネル化されており、防災のためとはいえ幼い頃の長汀曲浦が懐かしく想われます。

こうした中でも、百年一日のごとく清き流れの珊内川、前浜に沈む夕日は今も昔も変わりなく私たちをやさしく迎えてくれます。

顧みますと、夏は川遊びや海での素潜り。冬の備えとして学校では石炭運びと冬囲いづくりが年中行事としてあつた時代です。石炭運びはモッコ、その後リヤカーでの運搬。そしてドンガイ刈り。今はその一つひとつが懐かしい思い出となっております。

私ども札幌珊内会の現状は、会員の高齢化や若年層の会員が少ないと言う問題は抱えておりますが、郷土神恵内村の発展のために、微力ながら今後とも応援させていただく所存です。

ご慶事の開村一四〇年を機として、郷土神恵内村の益々のご発展と郷土の皆様方のご健勝を祈念しお祝いいたします。

札幌内会創立年月日 昭和四四年一月二五日

歴代会長

初代会長 坂本 勝栄(故)

二代会長 鈴木 玉成

三代会長 田中 吾朗

四代会長 古川 忠宏(故)

五代会長 山谷 文吉

現役員(平成二四年一月一現在)

顧問 鈴木 玉成 田中 吾朗

山谷 文吉

会長 坂本 達明

副会長 木下 元春 池田 滋

幹事長 池田 健次

幹事 安藤 陽子

監事 福島 勉



札幌内会 平成21年3月28日開催

往
時
を
偲
ぶ

『かむい丸』の思い出



神恵内

渡部 喜代志

(八五歳)

昭和二七年に「千栄丸」(ちえまる／一九トン)という船で甲板員として働き始めました。当時では珍しいディーゼルエンジンでした。私より先に赤石の福原邦造さんが乗っていました。岩内までの往来は、陸よりも海上が主流でしたので、いつも乗客や貨物でいっぱいでした。特に当時は、スケソウタラが豊漁で、切り身や肝臓(栄養剤や薬として珍重されていた)を岩内の海産問屋までたくさん運んだのを覚えています。昭和二九年から汽船「采丸」(まねまる／三七・八九トン)に乗り、昭和三二年に丙種船長の資格を取りました。期間は短いのですが、貨客船「魚丸」(うおまる)／一七・九四トン)にも乗っていたことがあります。かむい丸(六九・八ト

ン)は、昭和四〇年二月二三日に宮城県石巻港で生まれ、私が現地まで出向き、津軽海峡を越えて岩内港まで連れてきました。翌年から就航を始めたかむい丸は、朝八時に岩内を出港し、神恵内(珊内)川白(午前十時頃着)を寄港し、午前十一時に終点の余別漁港に到着。一時間後に出港して岩内へ戻るのは午後三時。一日一便でも、岩内までの行き帰りを含めると、まる一日がかりですから大変でした。自分が休めば船は出ない、多くの人に迷惑がかかるという重圧もありましたから健康管理には相当気を使っていました。一日の仕事が終わって、楽しみの晩酌も程々にして床に就かなければね、「船酔い」でなくて「二日酔い」で行ったら大変ですから(笑)。

乗船客がピークだったのは昭和四五〜四六年頃で、特に団体の観光客が多く、岩内から乗船して余別で待ち受ける観光バスで帰る、またはその逆もあって、いつも満員(七〇名)でした。今だから話しますが、定員オーバーで二〜三度捕まって罰金を払ったこともありました。運航中でいつも気がかりだったことは、乗客の体調でした。船酔いが非常に多かつたんです。船室には嘔吐用の缶も置いてあり

ました。あと、天候が悪化した際のことです。岩内から川白までは穏やかな風なのに、西の河原から神威岬にかけてひどい時化で、引き帰さなければならぬことが度々ありました。それで、観光客が怒るわけです。「こつちはこんなにいい風なのに…、納得できない。」ってね。こつちは人の命を預かっていまますから、無謀なことではできませんけど、何度かですが、それなら身をもつて納得すべしと途中まで船を向かわせましたよ。船は荒波に大きく傾いて、お客さんは、「わかった、わかったから…。」って納得してくれました。

昭和六〇年一二月、大森〜キナウシ間の新道開通に伴い定期バスが運行し、離島命令航路としての使命を全うした「かむい丸」は、一月末で航海を終えました。

“寂しい”というよりも、正直“ほつ”としましたね。大きな事故もなく無事務めることができて、緊張から解きほぐされた瞬間でした。時代の流れですから仕方ありません。ただ、かむい丸が廃船になるのは、自分が職を失ったことよりも残念でした。歴史的遺産として残してあげられればよかったです。

すが、お金もかかりますね。

自分を育ててくれた「かむい丸」には、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

忙しかった旅行村の夜勤



赤 石

野 宮 勇 吉

(八四歳)

七〇歳のときから一四年間、青少年旅行村で働きました。一番の思い出は、夜勤ですね。とにかく忙しかった。

私の前までは、一番長い人で先輩の松屋淳一さんが八年勤めたそうですが、私はその倍近く勤めたわけですから、「そんなになるのかあ」とあらためて感じています。

夜勤の回数は、五月の連休中に三回くらい。他の時期と合わせて年間四〇日くらい管理棟に泊まりました。夜勤の時間は、夕方五時から朝の九時まで。夜の九時半ころに敷地内を見廻りして炊事場の電気

の消し忘れや焚き火の不始末がないか点検します。旅行村の消灯時間が十時だから、私も十時過ぎには床に就きたいけれど、そんな早い時間に寝させてもらったことなんてないのです。電話がかかってくる、管理棟に直接来て「ピンポン、ピンポン」鳴らしてくる人も。とにかくいろんなお客さんがいました。ケガをしたとかなら仕方がないのですが、お客さん同士のけんかが多かったです。「隣が騒いでうるさいから何とかしてくれ」ってね。酔っ払って苦情を言うてくるお客さんには、本当にまいりました。

一番多いのが路上駐車です。通行許可証を発行して荷物の積み下ろしの時だけ駐車していいことになつていますが、出入りが激しいし、駐車場が遠くて面倒だから、寝床の近くにみんな車をとめたがります。場内放送をかけても、まずだれも動かささない。だから、ワイパーのところには張り紙をはさめてくる。そうすると何台かどける。それでもダメな車はナンバーを控えて放送をかける。まだ動かない車には「子どもの飛び出しや接触事故があつても、一切責任を負えません」と忠告します。ようやく片付いてホツとしたら、また新しい車があつたりして、

いたちごっこでした。

遅い時間の打ち上げ花火も迷惑でした。何回も注意の放送をかければ、今度はスピーカーの下にテントを張っているお客さんから「放送がうるさい」って怒られました。花火で隣のテントを焦がしたお客さんも。

それから、以前の共同の炊事場はプッシュ式で、押すと水が出るタイプだったものだから、朝早くに管理棟にやつて来て「こんなので顔洗えるか」って怒られたことも。今はプッシュ式と普通のひねる蛇口が交互に設置してあります。そうしたら、今度は炊事場の排水口をふさいで水を流しつ放しにして、スイカだとかジュースを冷やしているお客さんもいました。それでも昔に比べたら、だいぶマナーはよくなつたと思います。

入れ墨背負つたお客さんもよく来たけれど、おつかないと思つたことはないですね。腹が立つことはもちろんいっぱいありました。でも、相手はお客さんですから。あまり強いことも言えないし、そこはぐつとこらえました。旅行村に来るお客さんは、ただ寝るために来たわけではないから、破目を外した

い気持もわかりますが、ここは公共の場ですから。ルールやマナーを守って他人に迷惑をかけないようにしないとけません。お客さんにとつても、私にとつても、ここは社会勉強の場でしたな。

村議会議員の思い出



珊 内

羽 山 守 也

(八三歳)

昭和四六年五月(第二二期)に初当選してから平成一五年四月までの間、七期二八年務めました。ほろ苦い思い出ですが、三期目を目指した昭和五四年の選挙で最下位当選が同数となり、くじで私が落選しました。

それ以来、私は『サイコ口議員』と呼ばれてね(笑)。運命のいたずらというか、滅多に経験できないことですよ。あのとき、私よりも応援してくれた皆さんの方が落胆され、そして私のことを氣遣ってくれましてね、人の優しさ、温かさを肌で感じま

したよ。そして、次への意欲が沸きました。

一番うれしかった出来事は、温泉九九八の誕生です。平成二年八月から年内いつぱいの工期で進められたボーリング事業は、当初、一千万の計画でお湯が出るものと期待していましたが、温泉の兆候があつたのが九九八付近で、予想よりも深かつたものですから、もう百万掘ることにしました。

しかし、温泉は自噴せず、急ぎ議員協議会を開いて今後の対応を検討しました。もう、その時点で六千万円くらいの大切な公金を使っているものだから慎重論もありました。掘削許可は残り百万しかなく、お湯が出る保証もなければ、一百万掘るごとにお金もかさむ。村長をはじめ、ほかの議員の皆さんも相当悩まれていました。時代の背景もありますからね、今のよう景気低迷で自治体財政が厳しいときでしたら、事業は即撤退していただしようけれど、当時はまだバブルの最中でしたので、私は当時の村長だった高山さんにこう言いました。「村長、女は愛きようですが男は度胸ですよ。科学的にどうこう言つたつて、地面の下は何が起るのか分かりませんよ。もう百万掘ってみませんか？残り百万に賭け

てみませんか」と。その夜、役場から自宅に電話が入りました。「羽山さん、湯湯管を清掃していたら、温泉出ましたよ！今すぐ迎えに行きますから」ってね。もう、うれしくてたまりませんでした。村の名のとおり、「神様の恵みが内に沸いた」と思いましたね。重い責任を背負っていましたから、正直ほつとしたのも事実です。「攻め」にリスクは付き物です。それを最小限に食い止めながら前向きに進むことで活路は見出されるのだと感じました。

今こうして、温泉が村民の健康増進のため、そして観光の核となつて多くの皆さんにご利用いただき、愛されている姿を見ると、とても幸せな気持ちになります。あの時、英断をくださった高山前村長をはじめ先輩議員の皆さん、そして、温かく見守っていただいた村民の皆さんには心から感謝しています。また、平成一年から二年間、議長をやらせていただきました。管内の議長と全国を行脚する中で、多くの人とふれあいを育むことができ、大変よい経験をさせてもらいました。

今の楽しみは、早寝早起きして、仕事（漁業）でたっぷり汗を流し、最後は温泉にゆつたりつかるこ

と。おまけに大好きなお酒をちよつとやつてから床に就く、これこそが最高の生活ですね。

忘れられない戦禍の記憶



川 白

森 芳 勝

(八三歳)

私はここ川白で六人兄弟の長男として生まれました。

昭和一九年一〇月、一六歳で海軍志願兵の試験を受けた私は、横須賀の第二海兵团である武山海兵团（※武山は地名）に入団し、二か月半ほど機関兵としての基礎教育を受けました。

当時、新兵を養成する海兵团は横須賀のほかに呉、佐世保、舞鶴にありました。

武山での基礎教育を修了すると、実施部隊か艦船かの希望を聞かれ、私は艦船を希望しましたが乗ることができず大湊に配属となりました。

今考えると、当時の戦況は極めて敗戦濃厚で物資に乏しく、もう海軍に我々の乗るべき軍艦はなかつ

たのだと思います。

そこではあまりやることもなく、冬でしたのでスキーばかり滑っていた記憶があります(笑)。

昭和二〇年三月、再び横須賀に戻り、大楠海軍機関学校の普通科に配属となった私は、『海龍(かいりゅう)』という特殊潜航艇のエンジニアとしての養成訓練を受けました。ここでの生活が一番きつかったと思います。厳しい訓練で死んでいった仲間の姿も見ています。海龍は全長が約十八m、二人乗りの潜水艦で、胴体には水中翼がついていました。八〇馬力程度の電動モーターを回して潜水しますが、五〇mくらいしか潜れなかつたと思います。両脇には四五cm魚雷二発を備え発射できるようになっていましたが、魚雷不足のため、実際、量産された海龍には魚雷を装備することができず、艦首に六百kgの爆薬を装備して敵艦に体当たりする人間魚雷であり、本土決戦に備え、数百艇の海龍が静かにその時を待ちました。

途中、敵機の空襲にさらされる目にあつたりしているうちに終戦の日を迎え、海龍出撃の日を迎えることなく復員となりました。

私より数か月早く志願した人たちは戦地に送られ、南洋で多くの人たちが犠牲となりました。また、終戦が半月ほど遅かつたとしたら、横須賀には上陸作戦が決行される予定であつたと知り、自分の人生もそこで終わりだつたと思います。

当時は、『兵隊になるのが国のため、家族のため』と、だれもがそう思っていましたから志願するのは当然のことでしたが、今は戦争の愚かさを後世の人たちに語り継ぐことが、歴史の生き証人となつた戦前生まれの使命であり、戦時中にたまたま年頃であつたために、青春時代を謳歌できず犠牲となつた多くの人たちに対する慰めであると感じています。

今から6年ほど前に、家族と一緒に横須賀を訪れました。懐かしい思い出の地を巡りましたが、その場所も私の記憶とはすっかり変わつてしまいました。

日本は、平和で豊かな国となりましたが、今こうして私たちが健康で豊かな暮らしが送れるのは、多くの尊い犠牲のもとに成り立っていることを忘れずに生きていくことが大切だと、記憶の地を巡る中で改めて思いを強くしました。

神恵内村の年表

戸長設置（四〇年の歴史



西 暦	北海道 時代区分	年 代	お も な こ と が ら	資 料
一八七二	開拓史時代	明治五	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田付新十郎氏、神恵内村戸長となる ・ 神恵内に古宇病院設置 ・ 古宇川に板橋架設、神恵橋、長さ一六間、巾一間 ・ 古宇郡 札幌本庁管轄となる ・ 開拓使古宇出張所庁舎落成（六六坪二合五勺） ・ 佐々木平門、神恵内戸長となる ・ 開拓使古宇出張所廃止、岩内出張所、古宇出張所を合併 ・ 松本大判官 神恵内村視察 ・ 暴風雨で大被害を受ける ・ 神恵内村教育の父 高橋常四郎氏移住（四五歳） ・ 珊内、赤石稲荷神社村社に列す ・ 神恵内教育所を開校 ・ 天竜寺創立（寺號公称は明治四三年） ・ 古宇川堤防新設（費用五四一円〇四八） ・ 神恵内村内溝梁新設 ・ 高橋常四郎氏神恵内教育所に着任 ・ 神恵内教育所の設備充実のため、教育有志会社を設立、頭取田付新十郎氏、世話人大崎亀吉氏、須田善兵衛氏 ・ 開拓使古宇出張所庁舎払い下げをうけ、神恵内戸長役場にあてる 	田付新十郎自伝 開拓史事業報告 ” 北海道史 道庁古宇往復文書
一八七三	六	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開拓使古宇出張所庁舎落成（六六坪二合五勺） 	開拓史公文録 築瀬真精日記	
一八七四	七	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開拓使古宇出張所廃止、岩内出張所、古宇出張所を合併 	開拓史公文録 開拓史公文録	
一八七五	八	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神恵内村教育の父 高橋常四郎氏移住（四五歳） 	高橋常四郎小伝 植民公報	
一八七六	九	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神恵内教育所を開校 	神恵内村誌	
一八七七	一〇	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天竜寺創立（寺號公称は明治四三年） 	開拓史事業報告	
一八七八	一一	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古宇川堤防新設（費用五四一円〇四八） ・ 神恵内村内溝梁新設 ・ 高橋常四郎氏神恵内教育所に着任 ・ 神恵内教育所の設備充実のため、教育有志会社を設立、頭取田付新十郎氏、世話人大崎亀吉氏、須田善兵衛氏 ・ 開拓使古宇出張所庁舎払い下げをうけ、神恵内戸長役場にあてる 	高橋常四郎小伝 田付新十郎自伝 福島文書 開拓史公文録	

一八七九		・開拓使分署を岩内古宇郡役所とする 一月一日現在 神恵内 一〇〇戸 六一四人 赤石 三一戸 二六三人 珊内 五五戸 二九六人 計 一八六戸 一、一七三人	岩内町史
一八八〇	三	・神恵内村の戸長役場は神恵内赤石の二カ村を管轄する ・珊内村に珊内村戸長役場を置き、珊内村（川白を含む）を管轄する	神恵内村誌
一八八一	四	・珊内教育所開校	学 校 簿
一八八二	五	・大洪水あり堤防決壊、河水市街にはらんする ・開拓使を廃止し、三県制を施行、古宇郡は札幌県管轄となる ・私設消防組が創立	北海道史 神恵内村消防記録
一八八四	七	・浄国寺創立（寺号公称は明治三二年） ・曹洞宗説教所赤石に設置（後に地藏堂） ・公立神恵内学校焼失	郷 土 地 誌 ”
一八八五	八	・神恵内郵便局設置（初代局長須田善兵衛氏） ・神恵内村、赤石、珊内三カ村漁業組合設立	学 校 簿 大崎亀吉伝
一八八六	九	・神恵内に巡查派出所をおく ・三県一局制廃止、北海道庁設置 ・神恵内登記所設置	岩内郡長から札幌 県令への提出文書
一八八七	〇	・大洪水あり	神恵内村誌
一八八八	二	・赤石分校設置 ・市町村制交付	学 校 簿

日 清 戦 争	大日本帝国憲法制定	
	一八八九	二三
一八九〇	二三	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防改築（工費一、〇〇〇円）
一八九一	二四	<ul style="list-style-type: none"> ・北井長作氏タラ肝油製造開始 ・大暴風雨あり漁獲ニシンことごとく流失、喜宝、順風の二船難破する ・神恵内郵便局で為替、貯金業務取扱いはじめる ・古今稀な大時化（祈石、弁財瀧の碇船舶九隻破船） ・高崎和三郎氏が廻漕店を開く
一八九二	二五	<ul style="list-style-type: none"> ・公立珊内小学校校舎を珊内村四五番地に新築移転する ・神恵内、赤石、珊内三ヶ村戸長役場庁舎新築落成 ・岩内警察署珊内巡查駐在所設置 ・ノット金山、珊内銀山、シシヤモナイ銀山、開業 ・神恵内郵便局舎新築（大崎亀吉氏が自費で建設） ・神恵内村人口、戸数六六五戸、三、三〇〇人 ・古宇郡水産物額 三八、五三四石（二四八、九八九円） ・浄土宗帰命寺創立 ・オブカル石簡易教育所設置
一八九三	二六	
一八九四	二七	
		道水統計表
		郷土地誌
		学 校 簿
		北海 道 庁 第五回統計書
		神恵内村誌
		植 民 公 報
		大崎亀吉伝
		局 務 原 簿
		澤 口 メ モ
		北 海 立 志 伝
		珊内校沿革誌
		大崎氏所有写真
		岩内古宇二郡誌
		局 務 原 簿
		大崎亀吉伝
		神恵内村誌
		郷 土 地 誌
		学 校 簿

一八九五	二八	<ul style="list-style-type: none"> ・「岩内古宇二郡誌」発刊 ・珊内小学校公立珊内尋常小学校となる ・公設の消防組として許可 	学 校 簿
一八九六	二九	<ul style="list-style-type: none"> ・岩宇定期航路、古宇丸就航 	消 防 本 部 記 録
一八九七	三〇	<ul style="list-style-type: none"> ・神恵内郵便局で小包郵便事務取扱いはじめる ・岩内古宇郡役所を廃止し岩内支庁をおく ・日蓮宗説教所（法華寺の前身）創立 ・珊内尋常小学校川白分教所開設 ・赤石分校 赤石尋常小学校と改称 ・営林署駐在員をおく 	澤 口 メ モ
一八九八	三二	<ul style="list-style-type: none"> ・岩内警察署神恵内分署落成 ・明治三〇年から四〇年頃までニシンの全盛期 ・大洪水あり ・家屋流失 一〇余戸、学校及び弁天社へ移る ・同年より三三年にわたり堤防改築 工費四、六〇〇円 ・水災金額 一八、九〇二円九〇銭 ・神恵内郵便局破損のため局長宅へ移転 	局 務 原 簿
一八九九	三三	<ul style="list-style-type: none"> ・岩内区裁判所神恵内出張所設置（神恵内村登記所廃止） ・浄国寺創立 ・気象観測所設置 ・古宇川築堤 四〇間、工費五〇八円七五銭 ・神恵内市街大火（二四〇軒焼失） ・珊内に沃度製造所つくられる（土谷倉藏氏所有） 	神 恵 内 村 誌
一九〇〇	三三		植 民 公 報

日	露 戦 争		
一九〇一	澤口忠次郎氏が清酒醸造所をつくる	三四	岩内支庁管内概況 村長事務引継書類
一九〇二	・神恵内村医住宅四六坪新築 ・神恵内村立第一小学校（珊内校）校舎新築 五九・五坪 ・珊内郵便局できる	三五	学 校 簿 郷 土 地 誌
一九〇三	・小川温泉免許おりのる（炭酸鉱泉） ・明治三三年大火で焼失した神恵内小学校の復旧なる	三六	後志支庁管内概況 村長事務引継書類
一九〇四	・この年までに神恵内市街新区画完成 ・神恵内外二カ村戸長に菊地竹治氏就任	三七	神恵内村誌 郷 土 地 誌
一九〇五	・大洪水、流失三〇戸余り ・神恵内婦人会議結成（会員一八〇人） ・神恵内軍人会結成（創立者、菊地竹治氏） ・古宇川堤防全面的改修（現在のもの）以後洪水少なくなる	三八	郷 土 地 誌
一九〇六	・赤石婦人会結成 ・消防器械置場四・五坪新築 ・九月 神恵内橋竣工	三九	北 海 太 日 誌 村長事務引継書類
一九〇七	・神恵内村二級町村制施行 初代村長 菊地竹治氏 第一期村議会議員選挙 ・神恵内村衛生組合組織 ・赤石村救護会結成 ・人口 三、九一七人	四〇	村議会議員名簿 神恵内村誌 郷 土 地 誌 北 海 太 日 誌 組合重要事件日誌 村長事務引継書類
	・神恵内村漁業組合設立 ・神恵内村予算 八、七五〇円九九九 ・隔離病舎設置		郷 土 地 誌

一九〇八	四一	・ 仮定県道、西海岸線の経過地に珊内、神恵内が入る	植民公報
一九〇九	四二	・ 二代村長 佐藤貫一氏	村長事務引継書
一九一〇	四三	この頃力ドザメ漁盛んとなる	
	四二	・ 神恵内座創設	郷土地誌
	四二	・ 神恵内小学校火災により全焼	学地校簿
	四三	・ 岩内支庁を廃し、後志支庁を俱知安におく	
	四四	・ 第三期村議会議員選挙	村議会議員名簿
	四四	・ 明治三三年焼失の厳島神社再建	郷土地誌
	四四	・ この年神恵内ではじめて活動写真をみせる	木下メモ
	四四	・ 珊内に曹洞宗教所設立	木下メモ
	四四	・ 大雨で洪水となる	木下メモ
	四四	・ 大本山永平寺管長来寺	郷土地誌
	四四	・ 天龍寺の寺号公称（住職、齊藤黙禪氏）	郷土地誌
	四五	・ ニシン大漁	岩内町史
	四五	・ 近年にない大時化、古宇丸沈没 死者四名 その他 弁財船傷む	
	大正元	・ 本道開拓以来未曾有の暴力を呈し、凄惨を極めし大風雪	北海タイムス
	大正元	・ ニシン未曾有の大々漁 古宇場所 六二、〇〇〇石 全道第一位	木下メモ
	大正元	・ イカ大々漁	道水試統計表
	大正元	・ 村医住宅建設	木下メモ
	大正元	・ 川白尋常小学校教室増築（建坪一二坪）	学地校簿
	大正元	・ カクウロコより出火、出町、井上、的場など六軒焼失	木下メモ

第一次世界大戦

<ul style="list-style-type: none"> ・赤石稻荷神社を古宇郡郷社、巖島神社に合祀 ・瀧沢植民地の開拓始まる（藤井広布氏、今村儀三郎氏） ・赤石中の滝トンネルを小倉源次郎氏が私費で施工した ・神恵内村長に澤田喜博氏就任（佐藤貫一氏退職による） ・役場会議室二〇坪新築 ・午後五時頃より大時化、難破船延々あり ・仮定県道筋山道休泊所設置、看守人 阿部勘次郎氏 ・岩内警察署神恵内巡查部長派出所をおく ・消防器機置場増築 ・神恵内村郷土地誌発行 ・赤石小学校同窓会創立 ・神恵内村人口、八〇八戸 五、一七一人 ・神恵内村水産組合設立（組合員五六二人） ・七月より一〇月に至るまで、イカ大漁 ・青森〜小樽間の定期航海船の寄港開始 ・森本愛吉氏、トーマル植民地の開拓を始める ・岩宇定期航路 ・渋谷久太郎氏、神恵丸（七トン 二〇馬力）運漕 ・未曾有の時化 ・七月に大洪水あり ・第五期村議会議員選挙 ・タコ空釣漁業はじまる ・実に人間一生のうち見ることなき程のイワシなり 	<ul style="list-style-type: none"> 郷土地誌 神恵内村誌 北海タイムス 村長事務引継書 基本財産原簿 木下メモ 村長事務引継書 岩内町史 基本財産原簿 郷土地誌 植民公報 木下メモ 郷土地誌 神恵内村誌 高田梅吉口述 岩内町史 澤口メモ 木下メモ 村議会議員名簿 木下メモ
---	---

開 道 五 〇 年	一九一八	七	一九一七	六	一九一六	五	一九一五	四
	<ul style="list-style-type: none"> ・この頃から川崎船によるスケソ漁が盛んになる ・ニシン大々漁 ・ニシン刺網は泥のため不漁 ・村長伊藤第四郎氏就任 ・第七期村議会議員選挙 ・神恵内村に初めて電灯がつく 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸数 八五四戸、男 二、九〇八人、女 二、六三六人 計 五、五四四人 児童 八七九人 	<ul style="list-style-type: none"> ・川白に曹洞宗説教所を開く ・珊内教育所（オブカル石）を安内尋常小学校と改称 ・神恵内村川向基地整理完了 ・第六期村議会議員選挙 ・神恵内におけるニシン袋漕築設の最盛期となる ・千葉忠次郎氏村長に就任 ・一月八日大雨で洪水となり、小川橋流失する ・一月五日まで全く雪がない ・赤石青年団結成（初代団長 中山兼太郎氏） （大正一一年から一〇部、昭和六年から部を区に改めた） 	<ul style="list-style-type: none"> ・小川鉦山休鉦 ・カプト岬トンネル 大正二年に着手、本年完成 ・堀株く泊間道路開削する ・岩宇定期船「太古丸」が珊内、川白まで路線延長 ・村を六部にわけ、部長をおく 	<ul style="list-style-type: none"> ・高田久岩 ・泊村史 ・組合重要事件日誌 ・辞令簿 ・木下メモ ・村長事務引継書 ・村議会議員名簿 ・後志支庁管内概況 ・学 校 簿 ・神恵内村誌 ・積丹半島練袋澗調査報告 ・村議会議員名簿 ・村長事務引継書 ・木下メモ ・木下メモ ・佐々木吉藏 ・木下メモ ・村長事務引継書 ・村議会議員名簿 			

関東大震災	一九二二	一〇	<ul style="list-style-type: none"> ・神恵内村誌発行 ・茂岩く神恵内の道路起工式 ・赤石村、大森で米田豊作氏が水力発電設置 (出力五KW、東京電気製造KK) ・五月になつても冬のような寒さが続く ・この頃からマス一本釣漁業盛んになる ・ニシン漁獲高 一三、六六〇石 ・茂岩く神恵内間道路開通これを記念して折石に碑をたてる ・第九期村議会議員選挙 ・ニシン漁獲高 三四、五〇〇石 ・尾形良憲氏村長就任 ・川白尋常小学校積雪岩石により倒潰する ・災害復旧工事一〇月落成 ・四月 大時化、損害実には莫大 ・古宇ニシン不漁 	鈴木重敏日記 川久保寅一口述 木下メモ 道水統計表 記念碑文 村議会議員名簿 道水統計表 村長事務引継書 学校簿 澤口漁場メモ
	一九二一	八	<ul style="list-style-type: none"> ・神恵内青年団結成される(初代団長 鈴木吾助氏) ・この頃ホツケカゴ漁始まる ・ニシン建網は漁があつたが、刺網は不漁であつた ・入舸岩内船準地方費道に認定される ・第八期村議会議員選挙 ・第一回国勢調査 八一一世帯 四、三五七人 ・ニシン漁夫が入りこんだ頃から悪性感冒が流行し、死亡者続出、漁業に大きな支障となつた 	岩沢朔 佐藤石松 木下メモ 村議会議員名簿 木下メモ
	一九二〇	九		
	一九一九			
	一九二二			

一九二四	一三	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関東大震災の余波で、神恵内に軽石が寄せてきた ・ 安内尋常小学校改築落成 ・ 天理教神恵内宣教所創立 ・ 出町初太郎氏道議会議員に当選（第八期道議選） ・ 第一〇期村議会議員選挙 ・ 冊内郵便局に電話設置される ・ 愛国婦人会 一団体 八〇人 ・ 處女会 一団体 会員 五〇人 ・ 青年会 五団体 会員 二二一人 ・ ニシン漁獲高 二八、六四〇石 ・ 村予算 三六、〇〇一円 ・ 第二回国勢調査 	学 校 簿
一九二五	一四	<ul style="list-style-type: none"> ・ 九月大時化、一二年春に匹敵する ・ 寿都以北、古宇郡までニシン漁皆無なり、川白、オネナイ、赤石において一〇〇本内外の収穫を最大とす、実に悲惨の極なり ・ ニシン漁獲高 五〇六石（岩内、泊、磯谷、寿都〇石） ・ 戸数 七四四戸、人口四、二一〇人 就学児童 八七九人 ・ 生産高 一、七六〇、九九〇円 ・ 神恵内村勢一班を発行した ・ 村長尾形良憲氏 島牧郡東島牧村長に転出のため、後任として小野寺吉太郎氏就任 ・ 神恵内港築港（第一期） 工費 四八、〇〇〇円 	澤口漁場メモ
一九二六	昭和 一五 元	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道水試統計表 ・ 後志支庁管内要覧 ・ 道水試統計表 ・ 村長事務引継書 ・ 村勢要覧 	道水試統計表

一九二九		四 ・ 赤石小学校に付設の赤石実業補修学校を廃し、青年訓練所を設置 ・ 戸数 七二九戸 人口 四、二五〇人 ・ 神恵内小学校で尋常小学校准教員講習所開講し、四〇名の教員を養成した ・ ニシン漁獲高 二〇、〇六六石 ・ 公立珊内尋常小学校校舍改築落成 ・ 学級数 二学級となる ・ 神恵内村勢一班発行 戸数 七三八戸、人口 四、二六四人 ・ ニシン大々漁、かつてない大群来 ・ 神恵内港第二期拡張工事完成 工費 八五、〇〇〇円 ・ 第九期道議会選挙で出町初太郎氏二、五七六票で当選（二期） ・ 神恵内村勢一班発行 ・ 道庁 安芸技師外一名、積丹半島袋澗調査の結果、神恵内村四二、泊村三九、余別村一一、入舸村二、美国町三、古平町一、余市町一 ・ ニシン漁獲高 一六、〇三〇石 ・ ニシン刺網は皆無の漁 ・ 四月になつても寒気きびしく、積雪もかつてない量（三米） ・ 消防用ガソリンポンプ一台購入、消防機械化始まる （一般寄付六九五円・消防組員拠出一、〇〇五円）	郷土地誌
一九二八	三	昭四 村勢一班 北海道議会議史 積丹半島袋澗調査復命書 道水試統計表 木下メモ	昭四 村勢一班 北海道議会議史 積丹半島袋澗調査復命書 道水試統計表 木下メモ
一九二七	二	昭二 村勢一班 間谷多悦郎 道水試統計表 学 校 簿	昭二 村勢一班 間谷多悦郎 道水試統計表 学 校 簿

満州事変

一九三二

一九三〇

六

五

- ・川白尋常小学校増改築落成
(坪数七五・五坪、工費三、七〇〇円)
- ・村長小野寺吉太郎氏岩内郡島野村長に転出、後任鈴木仁治郎氏就任
- ・珊内、赤石道路測量が行われた
- ・神恵内漁業組合で明太、鱈子の共同販売開始
- ・ニシン漁獲高 一一、〇〇〇石
- ・神恵内村勢一班発行
- ・川白船入潤築港工事着工(今野千代藏の潤)
- ・ニシン合同漁業会社創立され、本道鯨漁業権は同会社に吸収合同となる
- ・戸数 七一六戸、人口 四、〇一三人
- ・神恵内交進会創立
- ・神恵内クラブ焼失
- ・大洪水となる
- ・ニシン漁獲高 一石
- ・ニシン全然なし
- ・川白港築港完成
- ・川白〱珊内間道路開発工事陳情
- ・消防器機置場を役場横に移築 平屋建
- ・戸数 七〇九戸、人口 四、二四四人
- ・大洪水となり神恵内橋流失
- ・神恵内出稼組合が結成され、千島・樺太への出稼ぎが盛ん

後志視察案内

村長事務引継書

神恵内村勢一班
交進会記録簿
木下メモ

道水試統計表
澤口漁場メモ
村長事務引継
"

村勢要覧
木下メモ

一九三二	七	<ul style="list-style-type: none"> ・ニシン漁獲高 二二、一九五石 四月一七日岩内五千石、古宇二万石（ニシン漁の最後） ・神恵内村勢要覧発行 ・神恵内村長鈴木仁治郎氏真狩別村長に転任のため後任として円子喜四郎氏就任 ・第一〇期道議会総選挙で出町初太郎氏四、二二七票で当選（三期） ・珊内港築港（村直営） ・旧土人 女子一人 ・ニシン漁獲高なし 	<p>道水試統計表</p> <p>北海道議会史</p>
一九三三	八	<ul style="list-style-type: none"> ・赤石尋常小学校を廃し、神恵内小学校赤石分校とする ・役場会議室八坪増築 工費二五〇円 ・北井長作氏消防用ガソリンポンプ寄付、北井号と名づく 価格二、三〇〇円 ・消防用ホース一〇本、捲車一台を五三五四円で購入 ・川白尋常小学校三〇周年記念式挙行 ・北海道長官佐上信一氏視察のため来村 ・神恵内漁業組合で鮮魚の集荷と共同出荷開始 ・古宇川氾濫（家屋一六戸浸水、堤防欠壊） ・ニシン漁獲高 一六、五八〇石 ・この頃イワシ流し網漁の全盛期 ・赤石港築港（本谷清太郎請負） 	<p>道水試統計表</p> <p>北海道統計創刊号</p> <p>消防庁舎記録</p>
一九三四	九	<ul style="list-style-type: none"> ・神恵内村、高橋勇治郎宅を神恵内村長宅として買収 	<p>基本財産原簿</p> <p>北井七太郎口述 記念写真 後志視察案内 古宇川左岸護岸 復旧工事関係書類 道水試統計表</p>

一九三五

一〇

一九三六

一一

- ・戸数 七〇六戸、人口 四、〇三七人
- ・古宇川左岸護岸復旧工事、六七五円で施行
- ・北海道水産物検査所神恵内派出所設置（所長福澤彦次）
- ・一月二日暴風雨で建網の被害多大
- ・神恵内村産業組合が設立された
- ・ニシン漁獲高四、二八五石
- ・九年版村勢要覧発行
- ・第四回国勢調査
- ・岩宇郷土研究発行される（ラウル場所請負人の記録）
- ・神恵内村勢要覧発行（二〇年版）
- ・尾根内橋竣工
- ・ニシン漁皆無
- ・珊内診療所新築落成
- ・暴風で神恵内港東防波堤二〇米決壊、底建網一カ統流失
- ・神恵内、美国間横断道路開発の気運高まる
- ・第一期道議会総選挙で、出町初太郎氏当選（四期目）
- ・朝来南東暴風雨、午後六時頃より益々波高く、翌四日午前七時頃最高、波のため場所一面決壊破損、市街地方面は鱈番屋及び製造場にして一つとして倒壊破損せざるなき
- ・無限責任神恵内村漁業協同組合に組織変更
- ・ノット川で大雪崩あり、民家六戸全壊、死者一名この事故以来、ノット川に住む人なし
- ・乗合バス神恵内・岩内間を運行（フォード一〇人乗）

後志支庁管内要覧
古宇川左岸護岸災
害復旧工事書類
岩澤朔口述
木下メモ

道水試統計表

尾根内橋記録

珊内小沿革誌

高橋庚子郎所有写真

神恵内船入潤災害

復旧工事関係書類

木下メモ

北海道議会史

澤口漁場メモ

山内貫一口述

中央バス

一九三七	支那事変	一二	<ul style="list-style-type: none"> ・神恵内港防波堤復旧工事 三、六六五円で施行 ・イワシ流網が振わなくなり、業者が北進組を組織して、北見、樺太、久春別へ出漁する ・小川鉦山が再び操業する ・七月、神恵内村勢要覧発行 ・豪雨のため古宇川洪水となり、ヤエダウス橋流失、家屋被害一〇戸 ・消防組が警防団となる ・春ヤリイカ、夏イカともに大々漁 ・公立珊内尋常小学校に高等科設置して珊内尋常高等小学校と改称すると同時に一学級増設して三学級編成となる ・村長に橋村誠氏就任 ・第五回国勢調査 <ul style="list-style-type: none"> 男一、六九九人、女一、六六三人、計三、三六二人 ・時宗赤石教会所創立（大字赤石村九番地） ・八月一日、午後一二時、大地震、大小一三回、 <ul style="list-style-type: none"> 二日、津波あり、船一〇隻以上流失する ・秋イカ大々漁 ・尋常小学校を国民学校と改称 	神恵内船入澗災害復旧工事関係書類
一九三八		一三		
一九三九		一四		
一九四〇		一五		木下メモ校簿
一九四一	太平洋戦争	一六		木下メモ
一九四二		一七	<ul style="list-style-type: none"> ・役場庁舎改築 建坪四三坪五〇、建築費四、三五〇円 ・神恵内防空監視哨設置される（初代哨長 佐野川久吉氏） 	基本財産原簿

一九四七	二三	<ul style="list-style-type: none"> ・公選第一回村長に木村文忠氏当選 	
日本敗戦	一九四六	二二	<ul style="list-style-type: none"> ・村長今井七司氏、戦犯追放となり、助役菅原庄治郎氏が村長代理する ・農地調整法、自作農創設特別措置法の施行により、農地解放が行われた ・神恵内村農地委員会設置 ・公職選挙法により、神恵内村選挙管理委員会設置 ・神恵内青年親睦会結成（初代団長 斉藤幸市氏） ・夏、秋イカ好漁 ・ポロシマ沖で九州の漁船遭難、七名のうち二名死亡 ・ニシン漁獲高 一二三三石
	一九四五	二〇	<ul style="list-style-type: none"> ・神恵内村自治会設立 ・赤石青年会結成される ・神恵内青年会結成される ・ニシン漁獲高 一、三三三三石
一九四四	一九	<ul style="list-style-type: none"> ・神恵内国民学校 木造平屋建四一四坪全焼 	基本財産原簿 水道統計表
一九四三	一八	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和一三年災害のヤエダウス橋復旧工事竣工 ・一、二級町村制を廃止、市町村制実施 ・村長に今井七司氏就任 	
一九四二	一七	<ul style="list-style-type: none"> ・この頃、ホツケ巻網漁業盛ん ・珊内防空監視哨設置される（初代哨長 田中 吉春氏） 	

一九四九	一九四八
二四	二三
<ul style="list-style-type: none"> ・村議会議員選挙 ・神恵内村立珊内中学校川白分校設置校舎は川白小学校に併置（一学級） ・神恵内村立神恵内中学校設置校舎は神恵内小学校を借用併置（三学級） ・神恵内村立珊内中学校設置。校舎は珊内小学校を借用併置（一学級） ・国民学校を小学校と改称する ・臨時国勢調査 <ul style="list-style-type: none"> 男一、八一四人、女一、八二九人 計三、六四三人 ・町内会廃止 ・白鳥録太郎氏を団長とする樺太引揚者一七戸、トーマル地区に入植。この年協同耕作で一五町歩開墾 ・神恵内村字トーマルに神恵内小学校清川分校設置 ・消防法施行により従来の警防団は消防団となる <ul style="list-style-type: none"> 団長 松館勇次郎氏 ・神恵内村川向に引揚無縁故者住宅一棟建築 ・神恵内小学校赤石分校を赤石小学校に改称（七月赤石小学校父母と先生の会結成） ・大森〓珊内間道路開削着工（小樽土木現業所直営） ・開発道路トーマル植民地着工 ・神恵内港築港事務所新築（四五・五坪） ・神恵内港修築工事着工 	<ul style="list-style-type: none"> ・村議会議員選挙 ・神恵内村立珊内中学校川白分校設置校舎は川白小学校に併置（一学級） ・神恵内村立神恵内中学校設置校舎は神恵内小学校を借用併置（三学級） ・神恵内村立珊内中学校設置。校舎は珊内小学校を借用併置（一学級） ・国民学校を小学校と改称する ・臨時国勢調査 <ul style="list-style-type: none"> 男一、八一四人、女一、八二九人 計三、六四三人 ・町内会廃止 ・白鳥録太郎氏を団長とする樺太引揚者一七戸、トーマル地区に入植。この年協同耕作で一五町歩開墾 ・神恵内村字トーマルに神恵内小学校清川分校設置 ・消防法施行により従来の警防団は消防団となる <ul style="list-style-type: none"> 団長 松館勇次郎氏 ・神恵内村川向に引揚無縁故者住宅一棟建築 ・神恵内小学校赤石分校を赤石小学校に改称（七月赤石小学校父母と先生の会結成） ・大森〓珊内間道路開削着工（小樽土木現業所直営） ・開発道路トーマル植民地着工 ・神恵内港築港事務所新築（四五・五坪） ・神恵内港修築工事着工

一九五〇

一九五一

二五

二六

- ・神恵内村漁業協同組合設立（組合長 出町初太郎氏、正組合員四〇〇名）
- ・川白漁業協同組合設立（組合長 若林岩藏氏、正組合員二二名）
- ・㊦神恵内漁業協同組合設立（組合長 土橋松次郎氏、組合員一五二名）
- ・赤石漁業協同組合設立（組合長 鈴木信太郎氏、組合員八二名）
- ・珊内漁業協同組合設立（組合長 羽山伊太郎氏、組合員八二名）
- ・トーマル地区、この年三〇町歩開墾
- ・茶屋町橋架橋（市員三米五〇、延長四二米五〇）
- ・神恵内小学校清川分校校舍建築落成（建坪六四坪、九三九千円）
- ・珊内発電所完成（水力、一五キロワット、工費二、六六九、三三三円五〇銭、代表干場栄吉氏）
- ・新漁業法により海区漁業調整委員選挙実施
- ・国勢調査（男二、〇四二人、女二、〇二一人）
- ・神恵内村一一の七番地（通称西ヶ丘）に神恵内中学校校独立校舎新築工事落成（建坪一七六坪）
- ・札幌法務局神恵内出張所庁舎新築
- ・札幌在住郷土出身者によつて札幌神恵内会結成
初代会長 大崎孝太郎氏
- ・村長木村文忠氏再選
- ・清川開拓村でフローリング工場、搾油、製穀設備設置ラジ
才協同聴取実施

一九五二

一九五三

二七

二八

- ・ 厳島神社二百年祭挙行
- ・ 農業委員会法により農地委員会は農業委員会となる
- ・ 神恵内村消防委員会設置
- ・ 神恵内村公平委員会設置
- ・ 神恵内村固定資産評価委員会設置
- ・ ニシン漁獲高 二三〇石
- ・ 赤石小学校校舎増築工事落成（建坪一六坪）
- ・ 神恵内中学校増築工事落成
- ・ 西の河原後志十景の一つに指定
- ・ 準地方費道、入舸、岩内線は、道路法の改正により道々に認定
- ・ 清川開拓村でバター工場完成、乳牛二〇頭飼育
- ・ 小川原農林政務次官視察
- ・ 戦没者慰霊平和祭実施、この年より毎年行われる
- ・ 神恵内村教育委員会設置
- ・ ニシン漁獲高 四一〇石
- ・ 村長木村文忠氏病氣退職のため村長選挙の結果、助役、北井七太郎氏無投票当選
- ・ 神恵内小学校清川分校を清川小学校に改称
- ・ 消防自動車購入（車体はフォード、ポンプは東京森田式、価格一〇〇万円）
- ・ 開発道路トールマル植民地線（神恵内〜古平）二級国道に昇格
- ・ 道々入舸、岩内線は建設省告示により開発道路に指定

一九五四

二九

- ・清川小学校教員住宅一棟一戸完成（四五五千元）
- ・神恵内海岸堤防災害復旧工事（川島四五六宅裏から古沢久藏宅裏まで延長三一〇米、工費一二、二八八千元）完成
- ・日本海マス流し網始まる
- ・大森地区水力発電施設完成
- ・一五号台風により大被害
- ・清川小学校増築工事落成（建坪三三坪、七三五千円）
- ・神恵内中学校清川分校設置（単級）清川小学校併置
- ・清川開拓村に製パン工場完成
- ・村営グラウンド建設に着手 初年度四〇〇千円
- ・神恵内海岸浸蝕防犯工事（古沢久藏宅裏から蛭子安太郎宅裏まで）完成

一九五五

三〇

- ・珊内地区に有線放送設置
 - ・神恵内中学校屋内体操場新築工事落成（建坪七四坪、工費二、二八〇千円）
 - ・役場で機構改革一六係制を二課一一係とする
 - ・村議会議員選挙。改選後第一回村議会で、議長若林岩藏氏、副議長松館勇次郎氏を決定
 - ・村で「神恵内弘報」発行
 - ・珊内中学校川白分校を川白中学校に独立
 - ・初代校長 滝口 徹氏
 - ・神恵内、川向に公営住宅建設（二棟五戸）
 - ・水害で茶屋町橋、ヤエダウス橋、トーマル一号橋、二号
-

橋、巻瀾橋流失、珊内川護岸堤防決壊、八月一八日再度の大豪雨

・村民運動会開催

・神恵内村農地改革一〇周年記念大会開催

・国勢調査

男一、九三三人、女一、九四一人 計三、八七六人

・清川開拓村で澱粉工場完成

・川白母の会結成される（会長 滝口 吉子氏）

・赤石小学校母の会結成される（会長 遠藤 セン氏）

・日本海マス延縄漁始まる

・再整備団体の指定を受け、七ヶ年計画で赤字解消

・昭和三〇年度災害により流失した神恵内小学校屋外グラウンドの復旧竣工

・神恵内村立川白小学校へき地集会所新築落成

（建坪三〇坪、九四五千円）

・神恵内村立珊内小学校（珊内中学校も併置）老朽危険校舎

改築工事着手

（建坪一二二・二五坪、三、〇六〇千円）

・神恵内村端本平次郎氏、大川地区に造田着手

・昭和三〇年度災害で流失した、村道小川温泉場線の紅葉橋

復旧工事竣工（延長三六米、七三四千円）

・神恵内小学校開校八〇周年記念式挙行

・神恵内村養豚協同組合設立

一九五七

三三

- ・(組合長 高田 久岩氏、組合員三七名)
- ・自由党幹事長 広川弘禪氏来村
- ・赤石青年会創立一〇周年記念式挙行
- ・神恵内消防団後援会設置
- ・珊内母の会結成される(会長 海岸 やえ氏)
- ・中央バス赤石まで路線延長
- ・第五回村民運動会開催
- ・神恵内村長選挙の結果、北井七太郎氏無投票当選

一九五八

三三

- ・珊内に国立札幌病院珊内診療所設置
- ・神恵内小学校集会室完成(工費 三、三〇〇千円)
- ・神恵内農業協同組合設立(組合長理事高橋助治氏、組合員八六名)
- ・村議会議長若林岩藏氏死亡、村葬を執行
- ・清川小、珊内小に風力発電完成(三七二千円)
- ・神恵内村機船々主協会結成される(会長 澤口 助一氏)
- ・神恵内(茂岩間、道路拡巾工事開始)
- ・神恵内商工会結成される

一九五九

三四

- ・森本 豊氏、小川地区で造田着手
- ・同志社大学酒詰教授一行が観音洞窟発掘先史時代の遺跡出土
- ・湯の沢振興組合が工費九〇万円で湯治宿泊施設建設
- ・神恵内小学校増築(工費 三、〇五〇千円)
- ・暴風雪でマス釣漁船遭難、七名死亡
- ・移動図書館「あけぼの」来村開始
- ・神恵内港西防波堤に灯台設置、高さ一二米

一九六〇

一九六一

三五

三六

- ・ 神恵内（茂岩間冬季除雪により通年バス運行
- ・ 一四号台風襲来、罹災戸数二六〇戸、損害一億二千万円
災害救助法適用される
- ・ 古宇川右岸堤防建設
- ・ 神恵内村農業協同組合が大川地区に造田着手
- ・ 川白漁港修築工事着工
- ・ 木下喜代司氏他二五名で神恵内タワー設置、神恵内でテレビ視聴が開始された
- ・ 神恵内中学校校舎増築（工費 三、二五〇千円）
- ・ 大川地区造田事業実施（二〇町歩）
- ・ 出町初太郎氏死亡
- ・ 神恵内青年会結成される（会長 中川 恵氏）
- ・ 神恵内村漁業協同組合と、神恵内漁業協同組合が合併
- ・ 北海道知事、町村金五氏視察来村
- ・ 国民健康保険事業実施
- ・ 国勢調査
 - ・ 男一、八五九人、女一、七七七人、計三、六三六人
- ・ 神恵内港内に共同作業所及び魚菜市场建設
- ・ 神恵内村漁業研究会結成される（会長 佐藤久次郎氏）
- ・ 神恵内漁港完成（昭和二四年着工）
- ・ 大川地区造田事業完成（二〇町歩）
- ・ 川白小中学校老朽危険校舎改築（工費七、二五〇千円）
- ・ 集中豪雨で神恵内橋以外全部流失（損害一億円）

一九六二

一九六三

一九六四

三七

三八

三九

- ・村長北井七太郎氏無投票当選（三選目）
- ・神恵内港域内に魚菜卸売市場新築
- ・秋イカ豊漁

- ・集中豪雨、珊内川、古宇川氾濫
- ・神恵内火葬場新築

- ・赤石小学校教員住宅一戸新築

- ・魚菜市场貯水庫新築（一、八〇〇千円）

- ・珊内、川白漁組合併、古宇漁業協同組合となる

- ・村営神恵内村魚菜卸売市場認可さる

- ・村議会議員選挙

- ・二セコ、積丹、小樽海岸国定公園指定（一市七町三村）

- ・ヤエダウス橋永久橋完成（延長七一米、巾六米、二三、七〇四千円）

- ・茶屋町橋永久橋完成（延長六八米、巾六米、一七、〇三六千円）

- ・神恵内小、赤石小、清川小、珊内小、川白小、安内小、珊内中、川白中でミルク給食実施

- ・村議会において交通安全都市宣言

- ・西ヶ丘に低家賃住宅八戸建設

- ・珊内地区テレビ共聴開始

- ・赤石港局部改良工事着工

- ・大森、珊内、川白、ノット地区に北電導入

- ・珊内小学校へき地集会所新築工事竣工（六一坪、四、七二三千円）

東京オリンピック大会

一九六五

四〇

- ・ 珊内中学校教室増築工事竣工
 - ・ 神恵内小学校、神恵内中学校、教員住宅竣工
 - ・ 西ヶ丘に公営住宅一四戸建設（工費九、一二九千円）
 - ・ 東京オリンピック聖火リレーに参加
 - ・ 神恵内功績者第一回表彰式、受賞者四六名
 - ・ 岩内法務局神恵内出張所廃止
 - ・ 沿岸漁業構造改善対策事業計画策定
 - ・ 村長北井七太郎氏無投票当選（四選目）
 - ・ 村の機構改革三課制とする
 - ・ 神恵内地区水産業改良普及員駐在所設置（所長 吉田雄司氏）
 - ・ 国勢調査
 - 男一、六八八人、女一、五八五人、計三、二七三人
 - ・ 清川小学校及び神恵内中学校清川分校廃校
 - ・ 神恵内小中学校寄宿舎竣工（二五〇坪、ブロック二階建、一四、二八〇千円）
 - ・ 川白小中学校教員住宅二戸竣工
 - ・ 二級国道二二九号線の一号橋永久橋として完成（延長三三米、巾六米）
 - ・ 新消防車購入（車体は日産、ポンプは大坂森田式）
 - ・ 高潮により災害をうける（波高七米）
 - ・ ツボ石団地の造成開始
 - ・ 低家賃住宅八戸新築（ツボ石四戸、川白オネナイ四戸）
-

一九六六

一九六七

四一

四二

- ・ 珊内水産物荷捌所新築
- ・ 岩宇定期航路「かむい丸」竣工記念式挙行（竣工四〇年十二月二三日、工費二四、五〇〇千円）
- ・ 北海道知事町村金五氏来村、かむい丸にて珊内、川白視察
- ・ 神恵内総合グラウンド竣工
- ・ 神恵内市街地（神恵内橋～綿谷純一間、茶屋町橋～岡田商店）舗装工事完成（延長一、〇三二米、工費九、七四一十千円）
- ・ 神恵内村青少年生活補導委員会結成（委員長 菅原亦次郎氏）
- ・ 衆議院議員選挙
- ・ 安内小学校廃校
- ・ 村議会議員選挙
- ・ 赤石小学校開校八〇周年記念式
- ・ 後志管内社会福祉大会開催（於 神小 参加者二八〇名）
- ・ 国道二二九号のうち古平～神恵内間道路開通式
- ・ 神恵内漁港改修工事起工式
- ・ 神恵内灯台建替のため撤去
- ・ 神恵内中学校特別教室増築工事竣工（理科室、技術室）
- ・ トーマル地区公有林造成工事（三ヘクタール）
- ・ 神恵内小学校完全給食実施
- ・ 全村に一三の子ども会が結成される
- ・ 第一回産業まつり開催
- ・ 珊内中学校開校二〇周年記念式挙行
- ・ 神恵内中学校開校二〇周年記念式挙行

開 道 百 年	一九六八	四三	一九六九
	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模土地改良事業完了 ・ツボ石団地に低家賃住宅二棟八戸建設 ・神恵内村青年団体協議会結成（会長 松谷 堅志氏） ・神恵内漁業会解散終了調印 ・神恵内商工会創立一〇周年記念式挙行 ・神恵内中学校完全給食実施 ・村章決定（滝本 幸一氏作） ・珊内にユースホステル誕生（かむいユースホステル） ・神恵内村役場庁舎の新築決定し、旧庁舎、消防車庫、村長公宅を解体。七月三日新庁舎入札、請負人札幌杉山建設㈱ ・神恵内ツボ石にホテルできる（神恵内観光ホテル） ・神恵内浜で海水浴場開き行われる ・小樽博物館により観音洞窟発掘調査 ・神恵内村学校給食共同調理場完成（二、八〇〇千円） ・神恵内灯台再建点灯 ・川白教員住宅二戸建設 ・珊内へき地福祉館落成（四、四二一十千円） ・大森～珊内間道路開通式 ・一〇月に初雪あるもその後温暖が続き二月二六日まで雪なしイカ大漁 ・赤石漁港完成（昭和三八年からの継続事業） ・村旗入魂す ・神恵内村長選挙の結果、北井七太郎氏当選（五選目） 	四四	

四五

- ・赤石小学校完全給食実施、珊内小中、川白小中学校パン、牛乳給食実施
- ・川白に旅館が開業（かわしら荘、旅館みやした、聴涛荘）
- ・神恵内村役場庁舎落成式挙行
- ・北海道知事町村金五氏行政視察のため来村
- ・神恵内中学校へき地集会所増築工事実施（面積二八二㎡七、〇〇〇千円）
- ・神恵内小学校教員住宅二戸完成
- ・札幌テレビ（S・T・V）視聴可能となる
- ・運輸省「青少年旅行村」の候補地となり、調査員が来村
- ・秋イカ漁皆無
- ・この冬から神恵内と珊内間にブルドーザを村で借上げ除雪し、珊内までの交通を確保する
- ・札幌在住郷土出身者によって札幌珊内会結成
初代会長 坂本 勝栄氏
- ・大雪で交通まひ状態となる
- ・「青少年旅行村」候補地として第二次調査行われる
- ・珊内小中学校完全給食実施
- ・神恵内、赤石地区のゴミ処理を開始
- ・古宇川保護河川指定をうけ、サクラマス二〇万匹放流
- ・茂岩く弁財澗舗装工事完成
- ・神恵内、赤石地区簡易水道工事に着手
- ・過疎地域に指定され、過疎対策計画を決定

- ・ 国勢調査の結果、人口三、〇〇〇人を下廻る
 - 男一、二七九人、女一、三二七人、計二、六〇六人
- ・ 公営住宅八戸建設（ツボ石四戸、珊内四戸）
- ・ 川白中学校特別教室二教室完成
- ・ 珊内、川白、ノット地区の電気を北電に移管
- ・ トーマル峠の名称決定
- ・ ブルドーザ購入（六、八〇〇千円）
- ・ 一月一日から静かな日が続き、二月末まで大しけもなし、六〇歳以上の古老も知らず
- ・ 村に患者輸送車配置される
- ・ 神恵内村議選挙、定数を二名減じ一四名とする（立候補者一八名）議長米田清作氏、副議長川島四五六氏
- ・ 神恵内に季節保育所開設
- ・ 昨年に引き続き古宇川にサクラマス一五万匹放流
- ・ 神恵内漁協と古宇漁協組合員共同によるまぐろ巻網漁業の試験操業開始
- ・ 運輸省から青少年旅行村の指定をうける
- ・ 旅行村の管理棟、キャンプ広場の整備を行う
- ・ 国立札幌病院珊内診療所移転完成（木造モルタル、面積一〇九・三九㎡、工費三、九〇〇千円）
- ・ 神恵内簡易水道完成、神恵内、赤石地区に通水
- ・ 神恵内港域内に温泉ボーリング実施
- ・ 秋イカ漁皆無

一九七二

札幌オリンピック冬季大会

四七

一九七三

四八

- ・西ヶ丘地区に低家賃住宅八戸完成
- ・元旦より一八日まで海静か、雪なくホコリ立つ
- ・札幌オリンピック聖火リレーに青年参加
- ・青少年旅行村開村式举行
- ・神恵内、赤石小学校統合校舎建築はじまる
- ・神恵内村農業委員会委員選挙、無投票
- ・石狩、後志海区漁業調整委員の選挙、無投票で松館勇次郎氏当選する
- ・まぐろ巻網漁業の試験操業で六二〇本初漁あるもその後漁獲なし
- ・第一回沖揚げまつり開催
- ・神恵内村、古宇漁業協同組合合併促進について両組合が議決
- ・神恵内婦人会創立二〇周年記念式举行
- ・赤石地区の道路全線舗装完了
- ・国道二二九号のうちヤエダウス橋から一号橋まで舗装される
- ・青少年旅行村第二期整備工事实施
- ・川白港に灯台新設
- ・戸長設置一〇〇年記念式举行
- ・神恵内村長選挙の結果、前神恵内村教育長高山庸一氏が初当選
- ・一般家庭用ゴミの無料収集化を実施
- ・赤石生活改善センター完成
- ・事業費 二一、〇一四千円
- ・鉄骨造二階建 面積 三八〇㎡

・川白青少年会館完成

事業費 一六、〇七〇千円

鉄骨ブロック造二階建 面積 三二六²m

・川白地区簡易水道完成

一日最大給水量 五四・一五³m

・村道中学校線完成

延長 一九三m 幅員 四m

・水産資源保護法に基づく指定を受けた二級河川古宇川で、
さけ・ます成魚のそ上調査開始（専従監視員二名配置）

・神恵内、赤石小学校の統合校舎完成

四七年度 事業費 八九、五二三千円

鉄筋コンクリート造二階建 面積 一、六二五²m

四八年度 事業費 五〇、〇二九千円

屋体鉄筋コンクリート造 面積 五四九²m

・第一回村民ソフトボール大会が開催される

珊内チームが優勝

・（前）神恵内村長北井七太郎氏、紺授褒章受章

・小笠原信吉氏、佐藤喜代作氏が勲六等瑞宝章、村医高橋庚

子郎氏が勲五等瑞宝章受章

・集中豪雨災害（八月一七日発生）

床下浸水五戸、二の目川・大森川堤防決壊、村道中学校
線、珊内沢町線下水溝溢水、磯船一隻流失、道々神恵内

・入舸線二ヶ所崖崩れ

- ・一般道々大森くキナウシ間海岸新道工事に着手
- ・国道二二九号神恵内市街地に歩道が設置される
- ・青少年旅行村にロッジ建設
- ・堂垣内尚弘北海道知事来村
- ・マグロ巻網漁業の試験操業でブリ大漁
- 二、五〇〇本約一五トンが水揚げされる
- ・珊内中学校卓球部が全道大会に出場
- 村内中学校初の快挙
- ・神恵内村教育目標制定
- 全村教育の歩みがスタート
- ・神恵内村長選挙の結果、高山庸一氏が当選（選挙無効による再選挙）
- ・神恵内村漁業協同組合と古宇漁業協同組合が合併し、神恵内村漁業協同組合が設立
- ・岩内・寿都地方消防組合が設立し、神恵内分遣所を設置
- （職員三名配置）
- ・さけ・ますふ化増殖事業が本格化、古宇川に算定柵設置
- ・一般国道二二九号神恵内トンネルが完成
- ・神恵内漁港内に冷凍冷蔵施設完成
- 事業費 一二〇、二一〇千円
- （村補助金 六〇、〇〇〇千円）
- ・通年制のへき地保育所開設（定員七〇名）
- ・村道の舗装や下水側溝の整備が計画的に促進される

- ・ 第一回長寿体育大会が開催される
- ・ 赤石地区に老人クラブが結成される
初代会長 渡部 藤松氏
- ・ 川白地区簡易水道の給水が開始される
- ・ 川白中学校特別教室及びへき地集会室新築
事業費 七五、三四二千円
- ・ 後志管内小中学校併置校研究大会が珊内小中学校で開催される
- ・ 消防後援会が解散（昭和三十一年発足）
- ・ 村議会議員選挙（定数一四人）立候補者一九人
議長 松館勇次郎氏 副議長 小林 元行氏
- ・ 前神恵内村長北井七太郎氏が勲五等瑞宝章、菅原松藏氏が勲六等瑞宝章受章
- ・ 神恵内・赤石地区の電話自動化
- ・ 神恵内村体育協会が設立される
初代会長 米田 清作氏
- ・ 神恵内老人クラブ創立一〇周年記念式典が開催される
- ・ 神恵内村老人クラブ連合会が結成される
初代会長 木下喜代司氏
- ・ 川白小学校七〇周年、川白中学校二〇周年記念式典が行われる
- ・ 後志地区戦没者遺族大会が開催される
- ・ 神恵内村総合グラウンド完成
事業費 一四、九一六千円
面積 九、七五八㎡

一九七六

五一

- ・川白地区に有線放送施設完成
 - ・村立水産ふ化場完成
 - 事業費 一三、八六一千円
 - 鉄骨造 面積 三九六㎡
 - 二〇〇万粒のふ化事業が可能となる
 - 古宇川にサケ稚魚二〇万尾放流
 - 保護河川監視員二名配置
 - ・神恵内墓地が整備され区画墓地として許可使用される
 - ・珊内小中学校へき地集会所新築
 - ・消防庁舎完成（役場庁舎に接続）
 - 事業費 三九、三六四千円
 - 鉄骨・モルタル造二階建 面積 二六五㎡
 - ・国勢調査の結果、人口二、二三二人・六五三世帯となる
 - 男一、一一〇人 女一、一二二人
 - ・集中豪雨ノット道路一〇・三二kmまで不通となる
 - ・教育の歩み一〇〇年
 - （明治九年に神恵内教育所設置）
 - ・神恵内村歯科診療所完成
 - 事業費 二五、五三〇千円
 - 鉄筋コンクリート造 面積 一五一㎡
 - 台湾から武山晴輝歯科医を招いて診療を始める
 - ・川白道路開通式
 - 遂に川白まで主要道々古平〜神恵内線が開通
-

- ・ 赤石・珊内地区に有線放送施設完成
- ・ 川白地区に消防格納庫建設
- ・ 北海道青少年旅行村運営委員会が設立
- ・ 初代会長に高山庸一神恵内村長が就任
- ・ 神恵内村いちご耕作組合が設立
 - 組合長 佐々木吉藏氏
 - 耕作面積 ○・五ヘクタール 組合員 七名
- ・ 局地集中豪雨
 - 特に珊内川堤防が決壊し幼児一名死亡、民家三〇戸に被害あり
- ・ 青少年旅行村に「冒険の森」二〇ポイント完成
- ・ 天皇在位五〇周年記念
- ・ 「原子力発電所の建設」に、村議会が条件付賛成議決
- ・ 神恵内地区に有線放送施設完成
- ・ 本間興業(株)・本間社長の好意により、東西浪曲名人大会が神恵内小学校で開催される
 - 出演廣澤虎造、天中軒雲月また、歌謡曲界の第一人者三波春夫特別公演も開催された
 - 中央バスが、赤石～神恵内～古平～美国間の定期バスを運行（七月～八月の二ヶ月間）
- ・ HTB、UHBテレビジョン視聴可能となる
- ・ 全道勤労青少年ジャンプリー大会が神恵内青少年旅行村で開催

- ・全道から六〇〇人を超える勤労青少年が集う
- ・ 珊内地区に消防格納庫建設
- ・ 珊内地区に簡易水道完成
- ・ 一日最大給水量 五〇^m
- ・ 神恵内村スポーツ少年団が結成される
- ・ 全村小学校三年生以上 一五七名
- ・ (野球・剣道・卓球・排球)
- ・ 古宇川巻潤橋が鉄橋となる
- ・ 神恵内村長選挙 高山庸一氏が八八〇票で当選
- ・ 野中英二通産政務次官が、原子力発電所建設促進のため来村
- ・ 初春、降雪・吹雪となる(例年になく雪多し)
- ・ 北海道勤労青少年ジャンボリー大会を記念する「青年の像」を、青少年旅行村内に序幕
- ・ 珊内・川白・ノット地区の電話自動化
- ・ 北海道電力株式会社が、原子力発電所建設位置を共和町柏木地区から、泊村ヘルカルウス地区に変更したい旨発表する
- ・ 除雪ロータリー車を購入、除雪作業に威力を発揮
- ・ 神恵内中学校校舎完成(視聴覚施設併設)
- ・ 事業費 昭和五二年度 一五五、五一千円
- ・ 鉄筋コンクリート造三階建 面積 九六三^m
- ・ 事業費 昭和五三年度 七四、四四八千円
- ・ 鉄筋コンクリート造三階建 面積 五五四^m
- ・ 温泉ボーリング実施

観光センター「温泉 竜神荘」完成

事業費 七九、五三三千円

鉄筋コンクリート造二階建 面積 三八九㎡

・あわび幼稚子保育場造成（赤石地区）

・古宇川に鮭そ上、二四〇尾捕獲採卵

古老も知らず！

・神恵内地区に消防格納庫建設

・岩内地方衛生処理組合の塵芥処理施設（共和町）が完成し、共同処理となり、圧縮式の塵芥収集車を購入配置

・「原子力発電所建設の計画変更について」村議会が承認（建設地点を泊村ヘルカルウス地区とする）

・神恵内村漁業協同組合理事会が、「原子力発電所の建設」に条件付き賛成決議

・村議会議員選挙（定数一四人）立候補者一七人

最下位当選者決定は、抽選による（同数二人）

議長 米田 清作氏 副議長 滝本長次郎氏

・本格的な温泉として、観光センター「温泉 竜神荘」がオープン

・青少年旅行村に夏スキー場建設

北海道では札幌市藻岩山に次ぐ施設となる

・神恵内青年会主催で第一回村民運動会が開かれる

・神恵内村商工会設立

初代会長 斎藤 敬作氏

五五

- ・ 神恵内村漁業協同組合が直営の鮪定置網を経営
- ・ 第一回（復興）沖揚げまつり開催
- ・ 神恵内沿岸に鮭の漁獲（刺し網、底建て網）多し、古宇川にも大量回帰
- ・ 村立へき地診療所完成
- ・ 事業費 一六九、六〇〇千円
- ・ 鉄筋コンクリート造二階建 面積 八五六㎡
- ・ 故岩澤朔氏に勲六等单光旭日章の特別（死亡）叙勲、柿崎愛子氏が勲六等宝冠章（母子保健功勞）受章
- ・ 小樽開発建設部神恵内道路事務所竣工（ツボ石地区）
- ・ アメリカ・スリーマイルアイランドの原子力発電所事故により、放射能漏れ
- ・ *第五回主要国首脳会議（東京サミット）開催
- ・ 神恵内地区、畠山耕作宅より出火、同家全焼（死者一名）
- ・ 村立へき地診療所開所式
- ・ 初代診療所長 田中 速夫医師
- ・ 六月二〇日より診療開始
- ・ 第二回村議会定例会において、高橋庚子郎氏を神恵内村名誉村民・第一号に決定
- ・ 山本富雄通商産業政務次官が、原発推進要請のため来村
- ・ 村立保育所新築
- ・ 事業費 六三、五一千円
- ・ 鉄筋コンクリート造平屋建 面積 三二二㎡

- ・神恵内中学校体育館（総合体育館）新築
事業費 一九四、八〇〇千円
- 鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）
面積 一、一〇六㎡
- ・しいたけ等生産栽培施設新築
事業費 七〇、三二一十千円
- 鉄骨造平屋建 面積 八五五㎡
- ・神恵内村漁業協同組合に製氷貯氷庫完成
事業費 七五、五五五千円
- 鉄筋コンクリート造三階建 面積 二八三㎡
- ・古宇川へ鮭二、〇五〇匹回帰 ふ化場の成果漸くあり
- ・秋イカ好漁
- ・神恵内龍神鯨場沖揚音頭保存会が結成される
初代会長 山内 一氏
- ・全国へき地教育研究大会・北海道後志大会が開催される
- ・国勢調査の結果、人口二、〇一四人・六六〇世帯となる
男一、〇二七人 女九八七人
- ・「神恵内村総合振興計画」・「神恵内村過疎地域振興計画」
を策定
- *衆・参議院議員同日選挙
- *北海道開発庁設置三〇周年記念
- ・一月一七日より連日降雪、同月二日は一メートル以上の
豪雪、記録的な降雪となる

- ・神恵内青少年旅行村開村一〇周年を迎える
 - 記念事業として、桜並木の造成等を行う
 - ・川島四五六氏が勲五等双光旭日章受章
 - ・神恵内郵便局が国道二二九号拡幅工事に伴い移転
 - 七月一三日新局舎で業務開始
 - ・敵島神社社務所も国道二二九号拡幅工事に伴い神社境内に移転、新築
 - ・総合集会施設・神恵内村漁村センター新築
 - 事業費 二六六、〇八八千円
 - 鉄筋コンクリート造二階建 面積 一、二七〇㎡
 - ・珊内小中学校校舎完成（危険改築・新增築）
 - 事業費 一六七、六八六千円
 - 鉄筋コンクリート造二階建 面積 一、〇〇八㎡
 - ・本村に初の交通信号機が設置される
 - ・珊内地区、田中正志宅より出火、プレハブ住宅全焼
 - ・赤石小学校記念碑除幕式挙行
 - 題字揮毫元 北海道教育長 岡村 正吉氏
 - ・台風並の低気圧による波浪高く、建網、延縄等多大の被害
 - 一〇月一〇日、一〇月二三日台風以来時化続き、秋イカ不漁、アワビ漁も川白地区は皆無
 - *政府、二月七日を「北方領土の日」と定める
 - 卒村づくりの歩み一一〇年
- 明治五年戸籍法が制定され戸長が設置

卒消防の歩み一〇〇年

明治一五年私設消防組が組織

・「共和・泊原子力発電所二号機の建設」を、村議会が承認

・北海道電力株式会社四ツ柳社長が来村

・共和・泊原子力発電所に係る神恵内村漁業協同組合と北海道電力株式会社との漁業振興資金六億八千万円の本調印

神恵内村漁業振興基金条例を制定

・泊原子力発電所建設の計画が、電源開発調整審議会で承認

・神恵内村長選挙高山庸一氏が無投票当選

・総合集会施設・神恵内村漁村センター落成式挙行

本間興業(株)・本間社長の好意により、「落語柳家ふりん」
が落語真打上演

・国立札幌病院附属珊瑚診療所看護婦川村敏子氏が黄授褒章
受章

・主要道々古平〜神恵内線が国道二二九号に昇格

・学校給食共同調理場が移転新築

事業費 八二、〇二四千円

鉄筋コンクリート造一部二階建 面積 二四七㎡

・最高齢者村功労者の滝本長作氏 満一〇〇歳で没

・神恵内村母子会が結成される

初代会長 綿谷 フコ氏

・第二回村議会定例会において、本間誠一氏を神恵内村名誉村民・第二号に北井七太郎氏を神恵内村名誉村民・第三号に決定

・開村一〇〇年、消防団一〇〇年記念式典並びに名誉村民顕彰式典挙行

○村の歌 光のオーケストラ」、村の音頭、村の魚「サケ」、村の木「トド松」を制定

○歴史写真展、記念要覧の発刊、古老が語る神恵内」の刊行

○スポーツ、レクリエーション大会を実施

・村議会議員選挙（定数一四人）立候補者一八人
最下位当選者決定は、抽選による（同数二人）

議長 小林 元行氏 副議長 金田一清作氏
（正副議長選挙も、いずれも同数となり抽選で決定）

・神恵内婦人会創立三〇周年記念式典が行われる・日本海中部地震発生（五月二六日午後〇時四〇分）

神恵内海岸に津波観測高低差二メートル
漁船、漁具等に被害なし

・神恵内村農業協同組合が解散（昭和三二年設立）

・川白小学校八〇周年記念式典が行われる

・道々九九八号線「天雪崩橋」竣工
延長 五一・二m 幅員 七・五m

工費 一、二一八、〇〇〇千円

・村道赤石山の上線・新二の目橋新設工事に着手
泊発電所建設準備工事着手

第二次公開ヒアリングが開かれる

・アワビ中間育成センター完成

昭和五七年度 事業費 六八、九〇八千円

昭和五八年度 事業費 五二、二二八千円

鉄骨造平屋建 面積 四二二㎡

一〇万個中間育成開始

*北海道知事に横路孝弘氏当選

*衆議院解散による総選挙

・例年にならない降雪、寒気

四月も異常低温で融雪おくれ、青少年旅行村の開村も五月に延期

・交通事故死ゼロ二、〇〇〇日達成（二月三日）

○三月一日交通安全総決起大会開催 三〇〇名参加

○八月一二日死亡事故発生 交通事故死ゼロの記録は

二、一九〇日でストップ

・神恵内地区、巻淵団地で火災発生「死者二名」

・泊原子力発電所にかかる地域振興資金調印

五億円（漁業振興資金九千万円を含む）

・泊原子力発電所着工

○電源三法交付金事業が開始

交付金総額 一、二二五、七五八千円

第一号に塵芥収集車を購入

○周辺地域交付金も交付される

*ほりかつぷトンネル（国道二二九号）開通

-
-
-
- ・延長 一、四四三 m 総工費 四三億円
 - ・神恵内産業株式会社設立
 - 社長 一条 春男氏 株主三〇名
 - ・札幌大学・石附教授一行が観音洞窟発掘擦文時代の遺跡出土
 - ・珊内小中学校屋内体育館増改築
 - 事業費 四二、一四三千円
 - 鉄骨造平屋建 面積 二〇四㎡
 - ・村道赤石山の上線・新二の目橋完成
 - 事業費 一一八、〇〇〇千円
 - 延長 四六 m 幅員 八・五 m
 - ・あわび育成漁場造成(赤石地区)
 - 事業費 五一、一九〇千円
 - 育成礁 五セツト
 - ・神恵内村名誉村民(前)神恵内村長北井七太郎氏逝去(九月二八日)村葬執行
 - ・神恵内村社会福祉協議会設立三〇周年記念式典が行なわれる
 - 各種記念事業を開催
 - ・北海道共同募金会神恵内分会が設立
 - 分会長 木下喜代司氏
 - ・神恵内村過疎地域振興計画「後期計画」策定
 - ・国道二二九号大森〜キナウシ間道路貫通式が行なわれる
 - ・道民芸術地方祭郷土芸能大会が漁村センターで開催される
-
-
-

後志管内の町村が参加

- ・春のヤリイカ、夏のマイカ、秋イカともに皆無に近い不漁
(約一億円の減) かつてなし

*小樽博覧会が開催

- ・赤石老人クラブ設立一〇周年記念式典が行なわれる
 - ・赤石婦人会設立三〇周年記念式典が行なわれる
 - ・神恵内老人クラブ設立二〇周年記念式典が行なわれる
 - ・神恵内村海産物加工協同組合が設立
組合長 佐藤久次郎氏
 - ・低気圧災害(八月一二日発生)
動力船七隻等に被害
 - ・西ヶ丘児童公園完成
 - ・事業費 一六、四五七千円 面積 二、〇一九㎡
 - ・神恵内水産共同作業所建設
事業費 五一、六二八千円
 - ・鉄骨造二階建 面積 四三六㎡
 - ・川白水産物荷捌所建設
事業費 二九、七九三千円
 - ・鉄骨造二階建 面積 三三四㎡
 - ・珊内集会所建設
事業費 三四、一八〇千円
 - ・鉄筋コンクリート造平屋建 面積 一六五㎡
 - ・国勢調査の結果、人口一、七九七人・六八八世帯となる
-

一九八六

六一

男九〇一人 女八九六人

・旧神恵内小学校跡に蛍雪碑を建立

・一般道々九九八号線古平〜神恵内間完成

延長 三一、七〇〇m

・一般国道二二九号大森〜キナウシ間新道開通

延長 四、一五七m

・中央バス赤石〜川白間延長運行（二日二往復）

・離島命令航路としての「かむい丸」閉航

・神恵内村名譽村民（前）村医高橋庚子郎氏逝去

（二月四日）村葬執行

・国鉄岩内線が廃止となる（バス転換〜ニセコバス）

・神恵内モニタリングステーションが完成

鉄筋コンクリート造平屋建 面積 一六m

・二級町村制施行 満八〇年

明治三九年四月一日 二級町村制が施行

・神恵内村長選挙 高山庸一氏が七四六票で当選

・池田時四郎氏、勲六等单光旭日章受章

・泊原子力発電所にかかる安全協定締結

・神恵内村商工会に「村おこし委員会」が組織される

委員長 菅原勘太郎氏

・第一回西の河原極楽祭りが開催される

好天、風良く、二〇〇名余が参加

海の幸、秘境を満喫！

- ・神恵内青少年旅行村一五周年記念式典が開催される
記念するフェアミリーキャンプ大会が行なわれ、全道各地から四〇〇名余の親子が集う
 - ・全道併置校教育研究大会が珊内小中学校で開催される
 - ・珊内郵便局が無集配化となる
 - ・半島振興法の指定を受け、積丹半島地域振興対策協議会が設立
 - ・会長に、高山庸一神恵内村長が就任
 - ・珊内水産物荷捌所建設
事業費 三二、八〇〇千円
 - ・鉄骨造二階建 面積 三三七㎡
 - ・神恵内村郷土資料館建設
事業費 一四五、九四〇千円
 - ・鉄筋コンクリート造平屋建 面積 三四八㎡
 - ・国道二二九号川白く沼前間の開通に向かつて、神恵内側、積丹側から同時着工となる
 - ・積丹トンネルの起工式が行われる
- *衆・参議院議員同日選挙
- ・(前) 神恵内村助役 (故) 村木源八氏に勲五等瑞宝章、(前) 神恵内消防団分団長 (故) 畠山耕二氏に勲六等瑞宝章の特別叙勲
 - ・国道二二九号窓岩トンネルの着工式が行われる
 - ・国立札幌病院附属珊内診療所が廃止となる
- へき地医療三〇年の使命を果たす

（歩み）

昭和三十一年道がへき地診療所として珊内に建設

昭和三十三年国立札幌病院附属珊内診療所として運営開始

本年、国の方針等により閉鎖

・村議会議員選挙（定数が一二人となる）立候補者一四人

議長 斎藤 敬作氏 副議長 佐藤久次郎氏

・歴史の殿堂、神恵内村郷土資料館がオープン

・特産品の開発が本格化

「ウマヅラハギ」を「ときふぐ」と命名

神恵内村海産物加工協同組合で商標登録札幌市場に出荷

・後志社会福祉大会が漁村センターで開催される

・マイマイガが大量発生（六月～八月）

街灯に吹雪の如し

・冷蔵センター完成

事業費 一四三、六四九千円

鉄骨造平屋建 面積 四八八²m

・サケ海中飼育場造成

事業費 一九、二九五千円

飼育場面積 二、六〇〇²m

・赤石水産物荷捌所建設

事業費 三一、〇二三千円

鉄筋コンクリート造二階建 面積 二九三²m

・珊内小中学校屋外運動場完成

事業費 三二、八〇三千元

面積 四、三五四㎡

・台湾からの留学生が初来村

村内小中学生や青年が、国際親善を深める

・台風一二号により大被害 九月一日

住宅、漁船、漁具、道路等の被害が相次ぎ、被害総額四

億一千万円余、川白漁港の灯台も倒壊する

・全村教育研究大会が開催される

一五年の歩みを披露

北海道教育委員会から生涯教育モデル村に指定される

・村医武山歯科医が台湾に帰国

初代神恵内村歯科診療所長として、一一年間尽力

・神恵内村漁業協同組合が、ヒラメの養殖やウニの幼生飼育等に着手

*北海道知事に横路孝弘氏当選

*第一回「北海道むらこん二四」が、東藻琴村で開催

*市制、町村制施行一〇〇周年

*地方自治法施行四〇周年

・行政機構の一部見直しを行い、産業課に「開発係」を新設、また、「商工係」を「商工観光係」に改称する

・神恵内村名誉村民本間誠一氏逝去（四月二十五日）村葬執行
・（前）神恵内消防団副団長（故）三沢正氏に勲六等单光旭日

章の特別叙勲、（前）国立札幌病院附属珊内診療所看護婦川

一九八九

平成
六四
元

- ・村敏子氏が勲六等瑞宝章受章
- ・村道茶屋町線改良工事が五ヶ年計画の初年度として着工
- ・神恵内村商工観光センター建設
事業費 一八一、四九七千円
- ・鉄筋コンクリート造二階建 面積 四八三㎡
- ・海岸保全事業により、神恵内地区前浜に離岸堤が設置される
- ・西の河原に「観光棧橋」が整備される
- ・神恵内中学校生徒会が、建設大臣表彰を受賞
- ・昭和五五年からの通学路（青雲坂）清掃と交通安全に貢献していることが認められる
- ・「ウニの早期身入り試験」の実績発表で、神恵内村漁業協同組合青年部が全国大会に推薦される
- ・原子力発電所防災訓練・岩宇四町村共同実施
- ・冬季訓練は、村単独として実施する
- ・道々九九八号線古平～神恵内間の冬季除雪を開始
- * 青函トンネル開業式
- * 青函博覧会函館EXPO函館市
- * 十勝海洋博覧会広尾町
- * 世界食の祭典札幌市
- ・元旦より一二日まで海上風波なく、降雪もなし、春のような暖気
- * 一月七日天皇陛下崩御
- * 一月八日平成元年となる

*二月二四日天皇陛下大葬

・役場庁舎増改築工事

旧寄宿舎を仮庁舎とする

増築鉄筋コンクリート造 面積一五四㎡

(一階七四㎡二階八〇㎡)

事業費 六三、四三四千円

六月二九日増改築完了

・神恵内村納税貯蓄組合連合会設立三〇周年記念式典が開催される

・神恵内村統計調査員平野由雄氏が藍綬褒章受章、(前)神恵内

消防団長(故)佐藤市太郎氏に勲六等単光旭日章の特別叙勲

・泊原子力発電所一号機営業運転開始(六月二二日)

・積丹半島振興計画が国土審議会で承認される

・後志地区母子寡婦大会が漁村センターで開催される

・「商観城」神恵内村商工観光センターがオープン

・ふるさと創生事業が本格化する

○まちづくり町内会に自治振興資金の交付

○健康づくり人間ドックの実施、公共施設の「健康コー

ナー」に全自動血圧計を完備

○地域産業の振興

人づくり基金の創設、後継者養成海外研修、婦人研修、

資源保護による漁業振興、温泉探査等

○記念碑の建立

「松浦竹四郎記念碑松浦竹四郎の歌」・「漁業記念碑漁魂創海」開拓記念碑拓魂」

・「村の魚くサケ」をテーマ、第一回カモン・サーモン・カモエナイが開催される

全道各地から六〇〇人余の家族連れが集う

・北海道防災会議原子力防災対策部会専門委員会一行が視察来村

・神恵内村商工会設立一〇周年記念式典が行われる

・防災行政無線施設完成

全村一斉放送が可能となる

事業費 一〇七、〇三一千円

・村道中学校線道路融雪施設完成（二年計画の初年度）

村内初のロードヒーティング化

事業費 六三、八〇九千円

延長 一八五m 幅員 六m

・神恵内青少年旅行村施設の拡張整備

さわやかトイレ設置、バンガロー増設

事業費 八六、九七七千円

*はまなす国体

*参議院議員通常選挙

・一月中豪雪となり、二月に豪雪対策本部を設置する

・後継者（漁業・商工・地域青年）海外派遣を実施

アメリカ西海岸 十一日間

・神恵内村長選挙 高山庸一氏が無投票当選

・第一回村議会定例会において、「神恵内村長期総合振興計画」を決定

・四月一日より、役場の四週六休が実施される

・四月一〇日交通事故致死ゼロ一、〇〇〇日達成

・泊原子力発電所二号機試運転（六月一三日）

・ノット地区の高台に、五メートルを越す「天観音像」が建立される

・建立者 千葉 正昭氏（千葉 正巳氏の二男）

・神恵内村農業委員会が閉鎖

（歩み）

○昭和二十一年 神恵内村農地委員会が設置される

○昭和二十六年 農業委員会法により、農地委員会は、農

業委員会となる

・台風一四号積丹半島上陸するも、被害特になし

・第三回村議会定例会において、「神恵内村過疎地域活性化計画」を決定

・国道二二九号窓岩トンネル貫通式及び大天狗トンネル着工式が行われる

・榊北興生コン新工場操業開始

・神恵内村体育協会一五周年記念式典が行われる

・神恵内活魚蓄養センター完成

・事業費 七二、六五四千円

・鉄骨造平屋建 面積 二二七㎡

- ・神恵内青少年スポーツセンター完成
事業費 二三〇、三九二千円
 - 鉄筋コンクリート造平屋建 面積 八九一㎡
 - ・地熱開発・温泉ポーターリングの実施
事業費 六四、六八一千円
 - 掘削 一、〇〇〇m
 - ・神恵内村総合グラウンド整備・完成
事業費 六〇、七〇八千円
 - グラウンド表層工 面積 九、六〇〇㎡
 - ・自治省の指定を受け、地域づくり推進三ヶ年事業として
「青雲坂プロムナード」の整備に着手
総事業費 五億円
 - ・青少年旅行村内に、五ヶ年計画での「芸術の森」建設に着手
総事業費 二五、〇〇〇千円
 - ・国勢調査の結果、人口一、五九六人・六二八世帯となる
男七七四人 女八八二人
 - ・シンボル・イルミネーション「弁財船」点灯
 - ・神恵内地区、青山春吉宅より出火、同家全焼
- *衆議院議員総選挙
- *即位正殿の儀
- ・二月一八日 温泉998が自噴
- 湯量 毎分二三〇リットル 温度 五九度
- 八月二日から仮設浴場を無料開放

-
-
-
-
- ・リフレッシュ・プラザの建設に着手
 - ・泊原子力発電所二号機営業運転開始
 - ・村議会議員選挙（定数一二人）立候補者 一三人
議長 斎藤敬作氏 副議長 岡村作次郎氏
 - ・神恵内郵便局が郵政大臣表彰を受賞
 - ・（故）木下喜代司氏に従六位勲五等瑞宝章の特別叙勲
 - ・横路孝弘北海道知事がふるさと訪問で来村
 - ・漁業青年との懇談、青少年旅行村・温泉998視察
 - ・国道二二九号西の河原トンネル着工式が行われる
 - ・八月二三日交通事故ゼロ一、五〇〇日達成
 - ・全道で一〇位、後志管内では泊村に続く二位
 - ・国技館で行われた「わんぱく相撲全国大会」で、神小六年
綿谷直樹君と同校五年 川島 純君が大活躍
 - ・神恵内養殖作業所完成
 - ・事業費 八四、四五八千円
 - ・鉄骨造平屋建 面積 五八三㎡
 - ・村道茶屋町線茶屋町橋竣工
 - ・歩道と風除高欄（防風柵）を完備
 - ・事業費 一〇〇、〇一三千元 延長 六八m
 - ・村道長屋沢町線道路融雪施設完成
 - ・事業費 五一、五〇〇千元 延長 二〇八m
 - ・当丸沼いこいの森建設
 - ・事業費（平成二年～三年） 九七、三三五千元
-
-
-

- ・展望台、遊歩道、駐車場等を完備
- ・全道へき地複式教育研究大会が、神恵内小学校と珊内中学校を会場として開催される
- ・北海道美術協会展において、神恵内中学校教諭 福原幸喜氏が、「朝倉賞」を受賞する
- ・北海道知事に横路孝弘氏当選
- ・道々九九八号線（苫平～神恵内間）の冬季通行可能となる
- ・リフレッシュプラザ取水ボーリング工事完成（二月）
 - ・事業費 二、八〇一・六千円 深度二二m
- ・海水浴場脱衣所新築工事完成（一月）
 - ・事業費 三九、五三一・四千円
 - ・鉄筋コンクリート造平屋建面積七二・九㎡
 - ・トイレ、更衣室、シャワー室、流し場
- ・後継者海外派遣事業（アメリカ東海岸へ八名派遣）
 - （ニューヨーク他）（二月）
- ・補助小規模治山事業（鷹島地先）完成（三月）
 - ・事業費 三、三二六・九千円
 - ・土留工、水路工、落石防止柵
- ・リフレッシュプラザ引湯排水路設置工事完成（三月）
 - ・事業費 二四、七二〇千円
- ・リフレッシュプラザTV共聴工事完成（三月）
 - ・事業費 二、一六三千円
- ・神恵内漁港海岸公有地造成事業着工（四月）

-
-
-
-
- ・村立診療所長に野田勝美先生退職（三月三〇日付）趙重文先生就任（四月一日付）
 - ・神恵内中学校卓球部が会長杯争奪後志大会で男女とも優勝する（故）長濱賢藏氏、故黒崎英夫氏に勲六等单光旭日章の特別叙勲（四月七日伝達）米田清作氏が勲五等双光旭日章受章（五月八日伝達）
 - ・神恵内婦人防火クラブ結成される（四月）
 - ・リフレッシユプラザ「温泉九九八」オープン（四月一七日）
 - ・（旧）寄宿舎改修工事完成（五月）
 - 事業費 五、九七四千円
 - 内部改修、外壁補修
 - ・シルバーいきいきハウス（温泉熱を利用した農園）完成し、ハウス愛好会による作付けが開始される（三月完成）
 - 事業費 一八、三七五・二千円
 - 鉄骨MMAハウス面積一五一・二㎡
 - ・村のイメージキャラクターを決定する（愛称を「ドラゴン太」とする）
 - ・役場庁舎外壁補修工事完成（六月）
 - 事業費 八、一八八・五千円
 - ・安全靴の大手メーカーのミドリ安全工業株「神恵内製甲所」が操業を開始する（六月）
 - ・平成三年交通事故死ゼロパワフェクト達成し北海道知事か
-

ら感謝状贈呈（六月九日伝達）

・ 珊内出身の池田勝人氏が故郷に「ホクサン珊内工場」を新設
・ 当丸沼いこいの森オープン（六月）

・ 北海道優良勤労青少年顕彰三名受賞

・ 第一六回参議院議員通常選挙執行（七月二六日）

投票率七五・三〇%

・ 珊内地区温泉探査業務開始（八月～十一月）

・ 原子力防災訓練（専門訓練）実施（九月一八日）

* 岩内営林署と倶知安営林署が統合し、後志南部森林管理センターとなる

・ 補助小規模治山事業（能登地先）完成（九月）

事業費 九、四七六千円

法枠工、伏工、吹付工他

・ 北海道町村会第六次カナダ生活環境視察に高山庸一村長参加する（八月二九日～九月一二日）

・ 青雲坂プロムナード整備工事完成（二〇月）

事業費 一八四、四七三千円

歩道新設 延長三一五m、照明灯一六基

絵画用ブース五基他

・ 古宇川水系無名川を「泉川」に確定する（二〇月）

・ 北海道ふるさと自慢ビデオ大賞後志地区大会でニューフロンティア賞受賞（二〇月）

・ 温泉九九八さわやかトイレ【湯の華の館】完成（二〇月）

事業費 三二、四一四・一千円

鉄筋コンクリート造 面積三四・一三m²

・老人福祉バス購入（日野デラックス観光型三七人乗り）

・川白小学校線融雪施設設置工事完成（二〇月）

事業費 一九、三六四千円

卒戸長設置二〇年・消防組織二〇年記念式典挙行

（二一月三日）

【記念行事】

○後志管内町村対抗ゲートボール大会を開催

○岩宇植樹祭、トーマル沼いこいの森オープン

○後志管内戦没者遺族大会を開催

○村民ソフトボール大会を開催

○村民グラウンドゴルフ大会を開催

○後志管内育樹祭を挙行

○記念誌「創郷かもえない」を刊行

○記念バッチ、キーホルダーを作成

○テレホンカードの作成

○村の歌「積丹半島」制作

・地場産業従事者表彰（二一月）一人表彰

・公用車購入（トヨタランドクルーザープラド）

・第三七回後志地区戦没者遺族大会が漁村センターで開催される

・珊内小学校全児童がふるさとスケッチコンクールで六人全

員入賞する

-
-
-
-
- ・特産品開発センター新築工事完成（二月）
 - 事業費 五八、五三四・九千円
 - 木造二階建 延面積二七一、〇八²m
 - ・巻瀨橋補修工事完成（一月）
 - 事業費 九、五七九千円
 - 高欄取替 延長八〇・八m他
 - ・社会福祉法人神恵内村社会福祉協議会設立（北海道知事許可一月二七日）
 - ・（元）神恵内消防団副団長青塚武蔵氏勲六等单光旭日章受章（一月二四日伝達）
 - ・九九八パークゴルフ場整備工事完成（二月）
 - 事業費 二六、七二八・五千円
 - 一八ホール 面積八、一三二m
 - ・恵泉橋完成（二月）
 - ・西の河原トンネル工上下掘削工事着工
 - ・神恵内婦人会が設立四〇周年を迎える
 - ・神恵内中学校が体力づくり優良校として表彰される
 - ・珊内さわやかトイレ【岬の穴間】完成（二月）
 - 事業費 一六、四八〇千円
 - 鉄筋コンクリート造 面積一八m²
 - ・村道茶屋町線道路改良工事完成（二月）
 - 事業費 五七、〇六二千円
 - ・車道改良 延長二一・二m、幅員五・五m
-
-
-
-

歩道新設二二一m

- ・交通事故死ゼロ二、〇〇〇日達成で北海道知事より感謝状受賞【二月一日伝達】
- ・補助小規模治山事業（松本地先）完成（二月）
 - 事業費 九、四七六千円 法枠工三・一五m
- ・原子力防災訓練（冬季訓練）の実施【二月九日】
- ・リフレッシュユプラザ温泉九九八が二〇ヶ月で通算一〇万人を迎える（二月二六日）
- ・大天狗トンネル貫通する 貫通式五月二〇日 延長五七六m
- ・神恵内村商工会「むらおこし実行委員会」から村のキャラクター「ドラゴン太」のぬいぐるみ寄贈される
- ・青少年旅行村ロッヂの改修工事完成（三月）
 - 事業費 一五、四一九・一千元 内部改修
- ・いきいきハウス防風フェンス完成する
 - 事業費 三、二八五・七千元
 - 防風フェンス 高さ五 m、幅一〇m
- ・役場、保育所等完全週休二日制四月一日から実施される
- ・泊発電所一・二号機の原子炉設置変更許可がおりる
- ・村有林造成 トドマツ植栽（トーマル地区）一ヘクタール
- ・後継者（漁業青年、商工会青年等八名）ニュージーランドに研修派遣する（五月）
- ・公用車購入（ニッサンプレリー）
 - 購入価格二、三二二・九千元（六月一日納入）

・武井康彦氏が春の藍綬褒章受章（統計調査）【六月一四日伝達】

・神恵内村九九八パークゴルフ場監視カメラ設置完了（六月）

事業費 三、五七四・一千元 モニターカメラ四台設置

・平成四年交通事故致死ゼロパーフェクト達成で北海道知事より感謝状受賞【六月一日伝達】

・神恵内村戸長設置一二〇年記念「第一五回沖揚げまつり」が「天童よしみ」さん「石本美由起」先生「岡千秋」先生他を迎えて開催される

・青少年旅行村にモニメント「双光」建立する（七月）

・北海道南西沖で地震発生【七月一二日午後一〇時一八分頃】未曾有の大被害発生する

地震、津波により死者二人、住宅、漁船、漁具、公共施設など大被害を受ける

避難住民三五六人 被害総額 一一三、二八〇千円

*衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査執行

（七月一八日）【投票率七九・七五％】

・神恵内村九九八パークゴルフ場防護柵完成（七月）

事業費 二、〇三九・四千元 防護柵一二五m他

・珊内小・中学校の能戸姉妹全道陸上競技大会で大活躍

小学校四年生 能戸亜季子さん「ボール投げ」三位に入賞

中学校三年生 能戸佑実子さん「砲丸投げ」で四位に入賞

・アメリカ、台湾から留学生二名がホームステイを体験交流

する

・北海道優良勤労青少年顕彰 北海道知事から五名表彰される (七月二〇日)

・神恵内小学校バレーボールスポーツ少年団 (神小ファイターズ) 全国大会出場

決勝トーナメント三回戦で敗れるもフェアプレー賞を贈られる (八月)

・補助小規模治山事業 (松本地先) 完成 (八月)

事業費 九、四七六千円 法枠工二八二・一^m他

・後志地区身体障害者ゲートボール親善大会で神恵内かもめチーム見事優勝

・神恵内小学校野球スポーツ少年団が全道大会 (スタルヒン杯) に出場

・神恵内村九九八パークゴルフ場オープン (八月一日)

・神恵内村養殖作業所外構工事完成 (九月)

事業費 五、一五〇千円

・排水工事 延長八四 m 舗装工事 面積六〇九^m他
赤石さわやかトイレ (夕日の落し処) 完成 (九月)

事業費 一八、八四九千円

・鉄筋コンクリート造平屋建 延面積二二・一八^m他

・神恵内村出荷資材保管施設完成 (九月)

事業費 二五、七五〇千円

・鉄骨造平屋建 延面積二六〇^m他

-
-
-
- ・青雲坂プロムナードの絵画ブースに照明五基設置
 - 事業費 二、五二三・五千元 ブース用照明五基
 - ・古宇川さけ親魚捕獲終了
 - 捕獲数四、二二八尾 採卵数二、五〇八千粒
 - さくらます秋放流 古宇川四七千尾 珊内川一〇千尾
 - ・神恵内小学校改修工事完成（二〇月）
 - 事業費 六五、八一七千円
 - 屋上防水改修、屋根張り替え他
 - ・神恵内小学校スポーツ少年団が北海道体育協会スポーツ少年団本部長より表彰される（二〇月）
 - ・第一回村長杯パークゴルフ大会開催する
 - ・神恵内村リフレッシュプラザ温泉九九八露天風呂完成
 - （二一月）
 - 事業費 三〇、五三九・五千元
 - 鉄筋コンクリート造（男・女）各一〇・五^m他
 - ・神恵内村リフレッシュプラザ温泉九九八道路・駐車場完成
 - （二一月）
 - 事業費 三一、六二二千元
 - 取付道路 延長一〇四・九一^m 駐車場八九五^m
 - 照明柱（二灯用）七基他
 - ・神恵内小学校開校二〇周年記念式典開催される
 - （二一月二一日）
 - ・神恵内村地熱開発ポーターリング（珊内五号井）深度八〇〇^m
-
-

実施するが顕著な湧出見られず

事業費 四八、三〇七千円

・鷹島地先防護柵設置工事完成（二月）

事業費 二、二六六千円 防護柵工 延長七〇m

・原子力防災訓練（総合訓練）の実施（二月一二日）

・地場産業従事者一〇名表彰（二月）

・神恵内漁港海岸公有地整備工事完成（二月）

事業費 六八、〇三一・五千円

多目的広場 面積一、六二四㎡ 歩道延長九四m

照明灯四基 トイレ（第十一御丸）鉄筋コンクリート

造 面積五〇・〇二㎡他

・神恵内女子卓球部が北海道新聞杯全道中学校選抜卓球大会
で三位に入賞する（二月）

・補助小規模治山事業（ツワビ育成センター地先）完成
（二月）

事業費 一二、八七五千円

法枠工 面積三六一・三㎡他

・神恵内村レストハウス九九八完成（二月）
事業費 四三、四一四・五千円

木造平屋建 面積九六・〇三㎡ 外壁 防火サイデン

グ 厨房器具 テーブル 冷暖房施設他

・神恵内小学校バレーボールスポーツ少年団（神恵内ファイ
ターズ）が北海道小学生バレーボール選抜優勝大会で見事

優勝を果たす（二月）

・後継者養成海外派遣事業（漁業青年等八名）ニュージール
ンドに研修視察派遣する（一月八日～一九日）

・珊内地区温泉ボーリング揚湯試験完了（二月）

事業費 二、七八一千円

・青少年交流センター新築完成（二月）

事業費 七九、二〇七千円

鉄筋コンクリート造二階建 延べ面積三五八・五㎡

・神恵内村長選挙 高山庸一氏が無投票で七選果す

（二月一五日告示・二月二十日投票）

・川白ふれあいセンター新築完成（二月）

事業費 一六九、九六三千円

鉄筋コンクリート造三階建

延べ床面積六一五・五六㎡他

・川白ふれあいセンターオープンする【二月二日落成式】

・レストハウス九九八オープンする【二月二日】

・神恵内村（珊内地区）地熱開発ボーリング（五号井）

掘削深度（二〇〇m増掘）一、〇〇〇m 湧出量 毎分

一〇〇リットル（瞬間動力揚湯）泉温三四・四度 泉質 ナト

リウム・鉄（Ⅱ）―硫酸塩・塩化物・炭酸水素塩泉（中

性低張性温泉）

・神恵内地区簡易水道拡張工事完成（二月）

事業費 三三一、二四八千円

浄水場新築・水源池改修・水質試験設備、動力制御盤、コンプレッサー他

・大川地区バス旋回所完成 (三月)

事業費 二、〇六〇千円 取付道路二ヶ所他

・マツカトンネル工事着工 (三月)

・神恵内村さくらます幼魚飼育場新築完成 (三月)

事業費 一五一、六二三千円

養魚池二二面 (鉄筋コンクリート造) 面積七二六㎡

養魚池上屋棟一棟一〇五・四二㎡

管理棟一棟 (木造) 五八・三二㎡

作業棟一棟 (木造) 三八・八八㎡他

・さくらます幼魚飼育施設導水路移設工事完成 (三月)

事業費 五、一五〇千円

導水路移設 延長三三・二m他

・神恵内漁港用地舗装工事完成 (三月)

事業費 八、七五五千円 舗装工 面積六三一㎡他

・公用車購入 (トヨタハイエースワゴンランドキャビン

一〇人乗り) 一台 (四月納入)

購入価格 三、六三五・九千円

・神恵内中学校女子バレー部が後志中学校春季バレーボール選手権大会で優勝

・農林漁業者等健康増進施設用地造成工事完成 (四月)

事業費 二、〇六〇千円 掘削 法面工他

-
-
-
- ・神恵内小学校バレーボールスポーツ少年団（神恵内フアーターズ）がライオンカップ全日本バレーボール小学生南北海道大会で二回戦で敗れ惜しくも二年連続全国大会の夢消える
 - ・後志支庁主催のサクラマスフォーラム開催される【さくらます幼魚飼育場他】
 - ・温泉九九八脱衣所改修工事完成（四月）
 - 事業費 五、八七一千円 脱衣棚 ロッカー他
 - ・温泉九九八泉源スケール除去ボーリング完了（四月）
 - 事業費 三、〇九〇千円 切削深度八〇m
 - ・交通事故死ゼロ二、五〇〇日達成（五月一九日）北海道知事より感謝状受賞
 - ・（二元）神恵内消防団分団長 滝本鶴松氏が勲七等青色桐葉章叙勲受章【五月三一日伝達】
 - ・テレビ北海道（TVH）岩内地区置局事前調査開始される
 - ・「北海道漁港の日」を記念し神恵内漁港西防波堤にトリックアート制作
 - 「水のない水族館」除幕（七月一〇日）
 - ・北海道優良勤労青少年顕彰 北海道知事から四名表彰される（七月一九日）
 - ・神恵内中学校バレー部が中体連後志大会で優勝し一四年振りに全道大会に出場
 - ・珊内小学校の能戸亜季子さんが北海道小学生スポーツ大会
-

-
-
-
- のボール投げで全道一に輝く（七月）
 - ・青少年旅行村に「芸術の森」誕生 モニュメント「翔」完成計五基となる（七月）
 - ・行政機構の一部見直しを行い八月一日施行開発計画課、財政課が新設される【四課から六課に】
 - ・原子力防災訓練（夏季訓練）実施（七月二十六日）
 - ・村立歯科診療所に澤田幸武先生八月一日付着任（西尾信吾先生が七月三十一日付退職）
 - ・神恵内中学校が中体連全道バドミントン大会で伊藤圭一くん、川島純くんの二人出場し善戦するも敗れる（八月）
 - ・神恵内中学校女子卓球部が全道大会に出場しベストエイトに輝く（八月）
 - ・神恵内中学校女子卓球部の小杉 愛さんが北海道硬式卓球選手権大会に出場し全道ベストエイトに輝く（八月）
 - ・補助小規模治山事業（松本地先）完成（八月）
 - ・事業費 九、二七〇千円 法粹工二八三・六㎡他
 - ・神恵内小学校卓球スポーツ少年団の岡田順司くんが北海道硬式卓球選手権大会に出場し全道ベストセブンに輝く（八月）
 - ・神恵内中学校女子バレーボール部が北海道中学校バレーボール競技大会決勝トーナメントで敗れる（八月）
 - ・神恵内小学校卓球スポーツ少年団の岡田順司くんら四名が北日本ホープスブロック大会でベストエイトに輝く（八月）
-

-
-
-
-
- ・後志郡部初の老人保健施設「神恵内ハイツ九九八」着工
(八月)
 - ・農林漁業者等健康増進施設完成(八月)
事業費 一〇二、三〇九・九千円
 - ・鉄筋コンクリート造二階建 面積三三七・三六九㎡
 - ・ダイビングパーク大森建設第一期工事に着手(三年計画)
される(八月)
事業費 五九、七四〇千円 土木工事一式
 - ・村立神恵内診療所長 趙 重文先生八月三一日付退職(下
マム診療所へ)
 - ・新所長に菊地 哲先生就任する【九月一日付】
 - ・収入役の選任 佐藤寿昭氏再任(二〇月一日付)
 - ・教育委員会委員の任命 教育委員(教育長)に米田可知昭氏
再任(二〇月一日付)
 - ・エネルギープラザ泊九四(エネルギーと伝説の西積丹 岩宇
のつどい)開催される
 - ・神恵内漁港海岸公有地整備工事完成(二〇月)
事業費 一六、三七七千円
 - ・張芝一、〇八〇㎡ 四阿一棟他
 - ・ヒラメ稚魚放流開始される 初年度一万尾(二〇)一三mm
サイズ)神恵内漁港沖放流
 - ・原子力防災訓練(秋季)実施(二一月一六日)
-
-
-
-

広域避難三七名（一般住民、消防団）

・地場産業従事者八名表彰（一月）

・交通事故死ゼロの記録　二、六九三日でストップ【二月二十九日二名死亡】

・神恵内村さくらます幼魚飼育場に道立水産ふ化場熊石支場からさくらます発眼卵七〇万二千粒収容される（二月二十四日）

・温泉九九八平成四年四月一七日オープン以来一月九日で三〇万人達成

・後志婦人大会が漁村センターで開催五〇〇人が集う（二月）

・後志小・中学校卓球大会で四年生以上女子シングルスで岡田はるかさん、五年女子で斉田正子さん、六年男子で石沢志快くん、中学一年男子で岡田賢司くん、同女子で渡辺紗也香さん、中学二年女子で小杉　愛さんがそれぞれ優勝する

・西ヶ丘団地外構整備工事完成（二月）

事業費　一一、三三〇千円

通路四〇〇m　駐車場三三〇m他

・西ヶ丘団地公営住宅建設工事（その一）完成（三LDK）（二月）

事業費　八三、八四二千円

一棟四戸　面積　一号棟三六〇・七二㎡

・補助小規模治山事業（菅原地先）完成（二月）

一九九五

平成七

- 事業費 一四、三一七千円
- 法粹工 面積三五〇・三²m²他
- ・神恵内一号船揚場整備事業完成 (二月)
- 事業費 六、一八〇千円 斜路工七六・八²m²他
- ・国際交流作文で川白小中学校と児童生徒四名が入賞する
- *兵庫県南部地震発生 未曾有の大被害発生する
(一月一七日)
- ・(元) 神恵内村議会議員 土橋義雄氏が勲六等瑞宝章の特別叙勲受章【二月三十一日伝達】
- ・後継者養成海外研修派遣事業
- ニュージールランドに研修視察派遣
(二月二日～二月一日)
- ・赤石老人クラブ設立二〇周年記念式典挙行 (二月)
- ・神恵内小学校スポーツ少年団が後志管内教育実践表彰を受賞 (二月二八日)
- ・西ヶ丘団地公営住宅建設工事 (その二) 完成 (二月)
- 事業費 八二、六〇六千円
- 一棟四戸 面積三六三・五七九²m²
- ・西ヶ丘団地外構整備工事 (その二) 完成 (二月)
- 事業費 七、一〇七千円
- ・西ヶ丘団地公営住宅解体
- 二棟八戸 面積二六八・一九²m²
- ・神恵内地区簡易水道拡張工事完成 (二月)

事業費 三〇一、七九〇千円

導水管布設 延長二七四m 送水管布設 延長九四五m

配水管布設 延長五、八五八m他

・神恵内地区新浄水場通水式挙行 (三月二八日)

・(元) 神恵内村議会議員 山内 一氏が勲六等单光旭日章叙

勲受章【三月一日伝達】

・助役の近藤豊昭氏任期満了により退職 (三月一三日付)

*統一地方選挙北海道知事選挙、北海道議会議員選挙執行される (四月九日)

・神恵内村議会議員選挙が執行される (四月二三日)

投票率九六、三八%

神恵内村議会議員選挙では定員一二名に対し一四名が立

候補し激戦となる

・行政相談委員に伊藤由美氏再委嘱 (総務庁長官) される

・助役に米田可知昭氏選任される (四月一七日付)

・ノット地区墓地区画整地四〇m完成 (四月)

・神恵内中学校女子バレーボール部が北海道中学生バレー

ボール選抜優勝大会で初優勝を飾る (五月)

・(元) 民生・児童委員 菅原亦次郎氏が藍綬褒章受章

【五月二五日伝達】

・神恵内ニユージランド協会設立 初代会長に村長 高山庸

一氏が就任 (五月)

・老人保健施設神恵内ハイツ九九八が五月一五日落成し一七

日オープンする

鉄筋コンクリート造二階建 面積三、八九〇㎡

入所定員 八六名

痴呆専門棟四〇名 短期入所八名 通所定員二〇名他

・大島北海道開発政務次官が西の河原トンネルを視察（五月）

・後志地区老人クラブゲートボール大会で神恵内九九八チームが惜しくも準優勝（六月）

・神恵内村ダイビングパーク大森第二期工事着手（六月）

事業費 二八六、〇一〇・四千円

建築主体工事 電気設備工事 機械設備工事

・神恵内老人クラブ創立三〇周年記念式典が開催される（六月一三日）

・しいたけ等生産栽培施設を(株)ヨシナリ食品工業がタモギ茸栽培操業開始

・珊内深井戸ボーリング実施（ボーリング深度二五〇m）

・温泉九九バス待合所新設される（七月）

・教育委員会委員（教育長）に佐藤寿昭氏が任命される（七月一日付）

・収入役に桑原 進氏選任される（七月一日付）

・北海道漁港の日を記念し神恵内漁港防波堤にトリックアート一枚制作

・赤石漁港が第九次漁港整備計画で改修事業として着手される

*第一七回参議院議員通常選挙執行（七月二三日）

投票率六七%

・神恵内中学校の全運動部が初めて全道大会出場となる

・泉川防護柵完成（七月）

事業費 四、五三二千円

防護柵工（分1ドパイプ）、植栽工他

・珊内温泉新築工事着手（七月）

事業費 一二〇、四〇七千円

鉄筋コンクリート造平屋建 面積二三九㎡

・オネナイ公営住宅地先フェンス完成（七月）

事業費 七〇〇・四千円

防護柵工（フェンス）延長三四・三m

・北海道優良勤労青少年顕彰 北海道知事から三名表彰され

る（七月一九日）

・珊内小学校の能戸亜季子さんが全道小学生陸上競技大会の

砲丸投げで見事優勝に輝く

昨年のポール投げに続いて二年連続全道一

・珊内保健福祉会館・旧国立札幌病院付属珊内診療所解体さ

れる（八月）

・最後の難所「西の河原トンネル」貫通

貫通式八月一日 延長一、八三三m

・後志支庁 尾形 浩支庁長が神恵内村水産施設を視察来村

（八月）

-
-
-
-
- ・古宇川河川公園完成（八月）
 - 事業費 三〇、四八八千円
 - 張芝 面積二、〇四〇㎡、多目的広場 面積五七六㎡、照明灯三基他
 - ・ツールド北海道第二ステージで当丸峠・市街地を疾走する（九月一四日）
 - ・川白小学校開校九〇周年・中学校開校四〇周年記念式開催される（九月一七日）
 - ・村立神恵内診療所長の菊地 哲先生退職（九月三〇日付）
 - 新所長に藤原勝城先生就任する（二〇月一日付）
 - ・国勢調査（二〇月一日）の実施
 - 人口 一、四八一人（男六九一人・女七九〇人）
 - 世帯数 六一二戸
 - ・交通信号機設置される
 - ・公有地埋立地前交差点（押しボタン信号機）、神恵内橋交差点
 - ・秋のイベント「カモン・サーモン・カモエナイ」一、五〇〇名が参加して第七回で終了（九月二四日）
 - ・補助小規模治山事業（菅原地先）完成（二〇月）
 - 事業費 八、〇八五・五千円
 - 法枠工三〇五・三㎡、伏工他
 - ・全後志PTA研究大会が神恵内小中学校で開催される
 - ・小樽地区漁協婦人部大会が漁村センターで開催される
-
-
-
-

- ・神恵内小学校バレーボールスポーツ少年団（神恵内ファイターズ）が道新カップ北海道小学生バレーボール大会小樽・後志地区予選で見事優勝果たす
 - ・神恵内小学校バレーボールスポーツ少年団（神恵内ファイターズ）が北海道小学校バレーボール選抜優勝大会で見事優勝し道央大会の出場権を得る
 - ・北海道郵政局よりリフレッシュシユプラザ温泉九九八前に「ソーラ時計と案内板」を寄贈
 - ・神恵内中学校卓球部一年生の岡田順司くん全日本卓球選手権大会に出場
 - ・神恵内九九八地区生活環境保全林整備事業着手される（六年計画）
 - ・（元）神恵内村議会議員 高田梅吉氏が勲六等单光旭日章受章【二〇月一九日伝達】
 - ・西ヶ丘団地外構整備完成（二一月）
 - 事業費 一七、三〇四千円
 - 通路 面積九一・一㎡、歩道 面積一六〇㎡他
 - ・西ヶ丘団地公営住宅建設工事完成（二一月）
 - 事業費 九〇、一二五千円
 - 一棟四戸 面積三七二・八九一㎡
 - ・一月の低気圧（強風、高波）により住家、船舶、漁業共同施設等に被害発生する
- 被害金額約二、〇〇〇万円

- ・神恵内村地熱開発ボーリング（六号井）完了するが顕著な湧出見られず
- 事業費 六二、六二四千円（当初五三、三五四千円）
- 掘削深度 一、〇〇〇m（当初八〇〇m）
- ・神恵内中学校女子バレーボール部の米田奈々子さんが「さわやか杯第九回全国都道府県対抗中学バレーボール大会」に北海道代表メンバーに選出される
- ・テレビ北海道（TVH）の受信放映始まる（二月）
- ・国際交流作文で川白小学校 熊原由佳さん、高田飛鳥くんが入賞する
- ・湯の花加工センター新築工事完成（二月）
- 事業費 三二、九六〇千円
- 鉄筋コンクリート造二階建 延面積一三六㎡
- スケール除去室 浴室他
- ・補助小規模治山事業（福田地先）完成（二月）
- 事業費 二、七六〇・四千円 土留工二〇m他
- *一般国道二二九号豊浜トンネルで崩落事故発生 二〇人が死亡（二月一日）
- （元）神恵内村議会議員（故）齋藤幸市氏が特別叙勲 勲六等単光旭日章受章【二月二日伝達】
- ・珊内温泉引湯管敷設完成（三月）
- 事業費 四〇、〇六七千円 延長一、二〇〇m
- ・交通事故死ゼロパーフェクト達成（廿七年）北海道知事よ

-
-
-
- ・ 感謝状贈呈 (三月)
 - ・ 神恵内村老人クラブ連合会が創立二十周年記念式典を開催する (三月八日)
 - ・ 林野火災予防標語で神恵内中学校の池田 正くんが北海道知事賞に輝く
 - ・ 将棋の羽生七冠王に温泉九九八の湯の花で作った「王将」を進呈
 - ・ 北海道総合行政情報ネットワーク整備事業着手 (運用開始平成八年四月)
 - ・ 村負担額 一二、〇六一千円の三分の一負担
 - ・ 湯ートピア 村内で三ヶ所目の珊内ぬくもり温泉がオープンする (四月九日)
 - ・ 交通事故死ゼロの記録五〇〇日達成 (四月一二日)
 - ・ 温泉九九八源泉スケール除去ボーリング (四月)
 - ・ 事業費 一、五二四千円 切削深度八六m
 - ・ 村営住宅の西ヶ丘団地A号棟から火災発生内部全焼する (五月)り災世帯 四世帯
 - ・ 神恵内中学校女子バレーボール部が全道選抜優勝大会で二連覇達成する
 - ・ 神恵内ハイツ九九八が一周年記念式典を祝う (五月)
 - ・ 国道二二九号開通記念植樹祭 神恵内村浄水場・神恵内青少年旅行村にサクラ、ナナカマド二二九本植栽する
 - ・ 七年振りに浜にぎわい ウニ豊漁に沸く
-

-
-
-
- ・小樽中学生春季羽球選手権大会で神恵内中学校男子バドミントン部の能登 稔くんが個人の部、原田竜則くんと金田一晃くんがダブルスで見事優勝する
 - ・神恵内小学校卓球スポーツ少年団が後志卓球選手権大会で七名が優勝、男子団体準優勝、女子団体が優勝するなど全道大会の出場決定する（五月）
 - ・神恵内中学校卓球部が会長杯争奪後志中学校卓球大会に出場し上位を独占する
 - ・神恵内小学校の新谷美菜子さんが後志小学校陸上競技大会のボール投げで標準記録を突破し全道大会に出場、七位入賞する
 - ・神恵内小学校バレーボールスポーツ少年団の神小ファイターズが全道大会出場するも善戦むなしく敗れる
 - ・後志管内PTA指導者研修会が漁村センターを会場として開催される
 - ・神恵内中学校の全運動部が二年連続全道大会出場となる
全道大会の結果
 - 女子バレーボール 準優勝【全国大会出場】
 - バドミントン三位 卓球男子三位・女子八位
 - ・神恵内青少年旅行村にパーベキューハウス建設される（七月）
- 事業費 九、一六七千円 木造六八・〇四㎡
- 北海道優良勤労青少年顕彰 北海道知事より三名表彰され
-

る（七月一九日）

・全国強震ネットワーク・強震観測施設が漁村センター横に設置される　運用開始（平成八年九月）

・ダイビングパーク大森が「道の駅」に決定する　駅名「オスコイーかもえない」

・「北海道漁港の日」を記念して川白漁港防波堤に壁画五枚完成する

・観光案内板、標柱及びさわやかトイレ案内板設置される

・村社会教育プロジェクト委員会主催の芸能観賞事業の第一弾として「ピアノと民族楽器バヤンの夕べ」が漁村センターで開催される

・じん芥収集車一台購入　購入金額　一〇、九一八千円

・海区漁業調整委員会委員選挙執行（八月一日）

・オホーツク観光株式会社が仮称「レストハウス西の河原」建設にむけて地鎮祭実施（八月二四日）

・魔法の水とよばれる「深層水研修会」が開催される（八月二七日）

・西ヶ丘団地公営住宅解体工事（八月）

事業費　一、二二六千円

一棟五戸解体　面積一五三・五㎡

・神恵内中学校女子チーム岩宇駅伝大会で初優勝を遂げる（九月）

・神恵内小学校バレーボール少年団が道新カップで優勝し道

央大会に出場する

・旧安内小学校の記念碑「心勿忘」が安内小学校跡祈念碑建立協賛会により旧安内小学校下の国道二二九号横に建立される

・泉川護岸整備工事完成（九月）

事業費 八、六五二千円 擁壁工、張芝工他

・道民スポーツ後志大会のパークゴルフ大会で優勝、個人では松村信二先生が砲丸投げで三連覇達成（九月）

・補助小規模治山事業（禾明地先）完成（九月）

事業費 八、六三一・四千円 土留工、法枠工他

・積丹半島周回道路開通記念イベントが作詞家の石本美由起先生の半島トークショー、YOSAKOIソーラン、天童よしみコンサートなどにぎやかに開催される（九月一五日）

・マツカトンネル開通（一〇月）

・神恵内スポーツ少年団に北海道体育協会から表彰状が贈られる

・温泉九九八がオープン以来（四年六ヶ月）五〇万人を達成する（一〇月一日）

・衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査の実施

（一〇月二〇日）【投票率七七・六一％】

・交通事故死ゼロの記録七〇〇日達成（一〇月三〇日）

・神恵内中学校卓球部が後志管内中学校新人大会で男女の団

体、個人とも優勝する

・一般国道二二九号全線開通に伴う供用開始なる【二月一日】

積丹町沼前～神恵内村川白間

供用延長六、七三八m 総工費約四〇〇億円

事業着手 昭和四五年（一、九九〇）

主要構造物 積丹トンネル七六五m 大天狗トンネル六三

八m・西の河原トンネル一、八三三・五m

開通式及び祝賀会開催

・原子力防災訓練の実施（二月七日）

・（元）神恵内村議会議員 斎藤敬作氏が勲五等双光旭日章受章【二月八日伝達】

・西ヶ丘団地公営住宅外構整備工事（二月）

事業費 六、五九二千円

積みブロック 面積五五・七m²

排水工U型トラフ 延長九一・七m他

・神恵内中学校女子バレーボール部が後志秋季選手権新人戦で優勝する

・神恵内中学校卓球部が小樽総合卓球選手権新人戦で上位を独占する

・神恵内中学校女子バレーボール部が後志管内青少年生涯スポーツ功績団体として後志教育局長表彰の荣誉に輝く

・一般国道二二九号開通記念バスツアー実施【二日間】

- ・一般国道二二九号の開通を記念して「一般国道二二九号開通記念碑」が二七年の歳月を要した大工事の完成を祝つて建立奇贈された記念碑の除幕式実施（二月一七日）
- ・泊発電所周辺にかかる「環境影響調査」の開始（二月）
- ・神恵内村漁業協同組合が海難事故死ゼロ三、〇〇〇日達成で（社）北海道漁船海難防止センターより表彰される（二月）
- ・西ヶ丘団地公営住宅建設工事完成（二月）
 - 事業費 一〇〇、四二五千円
 - 一棟四戸 面積三七五・二五㎡
- ・珊内小学校線融雪施設道路及び珊内小学校駐車場整備工事完成
 - 事業費 五五、八二六千円
 - 工事延長一七〇m 幅員三m 排水工延長三六六・五m
 - 舗装インターブロック 面積五一〇㎡ 電気工事他
 - ・地熱開発ボーリング六号井増掘 一、〇〇〇mから一、五〇〇mまで五〇〇m増掘するも顕著な湧出見られず
 - 事業費 三八、一〇千円
- ・補助小規模治山事業（西の河原地先）完成（二月）
 - 事業費 三五、〇二〇千円
 - 作業道八五五、一六m、法面工他
- ・補助小規模治山事業（松本地先）完成（二月）
 - 事業費 一〇、〇九四千円 雪崩防止柵他
- ・補助小規模治山事業（菅原地先）完成（二月）

-
-
-
-
- ・ 事業費 八、二四〇千円 法粹工、伏工他
 - ・ 中国遼寧省旅遊の一行来村 「山紫水明の村」と賛辞の言葉いたたく
 - ・ 生活環境保全整備事業（第一期工事）完成
 - ・ 事業費 四四、二九〇千円 管理車道 延長五二〇m他
 - ・ ふるさと林道川白線開設工事
 - ・ 事業費 四六、八六五千円
 - ・ 林道延長一二三・八m 排水工他
 - ・ 村立診療所長 名児耶満徳先生就任 （三月一日付）
 - ・ 藤原勝城先生退職二月二八日
 - ・ ダイビングパーク大森厨房機器設置工事完成
 - ・ 事業費 三、三七八・四千円 厨房機器製作据付
 - ・ ダイビングパーク大森第三期工事完成
 - ・ 事業費 四〇八、九一〇千円
 - ・ 鉄筋コンクリート造地下一階・地上二階
 - ・ 延面積一、五五二㎡
 - ・ 一般国道二二九号茂岩く神恵内間の二次改築に着工する
 - ・ 後志オープン卓球選手権大会で神恵内小学校スポーツ少年団が上位独占 全道大会出場
 - ・ 小樽・後志管内中学校卓球選手権大会で女子団体が六連勝、男子が二連勝達成
 - ・ 後志管内で最大規模のドライブイン 「レストハウス積丹半島西の河原」オープンする
-

-
-
-
-
- ・(元) 神恵内村議会議員・神恵内村商工会長 (敵) 米田清作氏 特旨叙位正六位【四月八日伝達】
 - ・観光元年の幕開けダイビングパーク大森 (道の駅オスコイーかもえない) 竣工式及び祝賀会開催する (四月二一日)【四月二三日オープン】
 - ・神恵内社会福祉協議会に北海道共同募金会から共同募金車両が配分される (五月一日)
 - ・神恵内小学校卓球少年団の阿部友紀恵さんが全道硬式卓球大会でベストエイトに入賞し全国大会に出場決定する
 - ・神恵内中学校女子バレーボール部が全道選抜優勝大会で準優勝で三連覇ならず
 - ・しいたけ等生産栽培施設の運営 (株) スリーピーがタモギ茸生産開始 (五月八日)
 - ・交通事故死ゼロの記録九〇〇日達成【五月一七日】
 - ・北海道民有林治山事業五〇周年記念、保安林制度発足一〇〇周年並びに神恵内村青少年旅行村開村二五周年記念植樹祭でチシマザクラ、ヤマモミジなど一七五本が植樹される (五月二八日)
 - ・国道二二九号積丹半島周回道路開通記念バスツアーの実施
バスツアー三回実施 (六月)
 - ・延べ一九名参加【積丹半島一周コース】
 - ・積丹半島周回道路開通後初の交通死亡事故発生【六月一日二名死亡】
-
-
-
-

-
-
-
-
- ・ 交通事故死ゼロ九三二日でストップする
 - ・ 川白地区に手押式信号機、横断歩道設置される（六月一日）
 - ・ 神恵内中学校全運動部が三年連続全道大会に出場
 - ・ 温泉九九八駐車場舗装工事完成（七月）
 - ・ 事業費 三、九九〇千円 舗装工 面積二〇〇㎡他
 - ・ 生活環境保全林整備事業トイレ設置工事完成（七月）
 - ・ 事業費 六、五六二・五千円 可動式トイレ一式
 - ・ 村立診療所長に小野寺一史先生就任（七月一四日付）
 - ・ 北海道優良勤労青少年顕彰 北海道知事から四名表彰される（七月二二日）
 - ・ 赤石山の上に北海道電力株の保養所建設に着手
 - ・ 神恵内沖で魚雷が発見され海上自衛隊により爆破処理される
 - ・ 発見の日 平成八年九月一五日 キナウシ沖約一km 水深約六〇m
 - ・ 処分の日 平成九年七月二八日
 - ・ 青少年旅行村開村二五年を経過し「記念感謝デー」開催（八月）
 - ・ 補助小規模治山事業（松本地先）完成
 - ・ 事業費 一三、二三〇千円 法枠工・伏工他
 - ・ 神恵内中学校男子卓球部が全国大会に出場決定する
 - ・ 神恵内中学校女子卓球部の斉田・田中ペアが全道大会で優勝し全国大会に出場決定する
-
-
-
-

・神恵内中学校女子バレーボール部も全道大会で二年連続優勝し全国大会へ出場決定する

・災害に強い村づくりを推進するため神恵内村非常用持出袋を全世帯に配付する

・神恵内村災害用救急箱購入し避難所一〇ヶ所に設置する

・酉ヶ丘団地公営住宅解体工事

事業費 二、九四〇千円

二棟九戸解体 面積三一八・七六㎡

*国道二二九号線第二白糸トンネル崩落事故発生

・北海道漁港の日記念事業で珊内漁港防波堤に壁画五枚制作完成する（九月）

・中国大連市回龍村との友好親善に高山村長、佐藤議長他一行訪問する

九月二日～九月八日（七日間）大連市・旅順・長海県・

回龍村視察訪問

・原子力防災訓練の実施（一〇月二七日）

・中国大連市回龍村との友好親善を誓い合い両村長が覚書に調印する

【一〇月二三日】

回龍村 董 文弟村長一行七名来村

友好親善の夕べ、友好交流会、村内外行政視察他

回龍村～大連市近くの黄海北部長山群島の小長山島に位置し島の政治・経済・文化の中心地で人口は四、三〇〇人

- ・補助小規模治山事業（綿谷地先）完成（二〇月）
 - 事業費 一二、九一五千円 土留工・山腹工他
- ・神恵内中学校が昭和二二年学制改革から開校五〇年を祝う
同窓生等関係者一八〇名出席し盛大に記念式典及び祝賀
会を開催（二〇月一二日）
- ・後志管内中学校新人卓球大会で男女とも団体戦で優勝する
- ・川向町線融雪施設設置工事完成（二一月）
 - 事業費 九、三四五千円
- ・ロードヒーティング（電熱線方式）延長五〇m
- ・インタローキングブロック 面積二〇〇・九²m²他
- ・温泉九九八泉源スケール除去ポリーリング
 - 事業費 一、四七〇千円 切削深度 一〇三m
- *泊発電所二号機で復水器細管損傷の事故発生
- ・西ヶ丘団地公営住宅建設工事完成（二二月）
 - 事業費 九二、二九五千円
 - 一棟四戸 面積三七五・九七²m²
- ・西ヶ丘団地外構整備工事完成（二二月）
 - 事業費 一〇、三九五千円
 - 排水工一式 舗装工 面積二六五²m² 照明灯一基他
- ・川向地区にさわやかトイレ（古宇の川屋）完成（二二月）
 - 事業費 二〇、五八〇千円
- ・鉄筋コンクリート造一棟 面積三〇・〇二²m²
- ・ふるさと林道川白線開設工事完成

一九九八

平成一〇

- ・ 事業費 七〇、三五〇千円
- ・ 北海道開発局で国道二二九号をはじめ全道国道の岩盤斜面の緊急調査結果報告
- ・ 小樽開発建設部管内では国道二二九号において一一六箇所を調査実施
- ・ 積丹町との交流を確認 白鳥町長が来村し両町村の交流活性化を協議（二月一二日）
- ・ 岩宇高齢者ゲートボール大会で神恵内トド松チーム見事優勝する
- ・ 神恵内村長選挙 高山庸一氏が無投票で八選果たす（二月一七日告示・二二日投票日）
- ・ 神恵内地区簡易水道拡張工事完成（二月）
 - ・ 事業費 一四〇、七〇〇千円
 - ・ 電気計装設備工事 配水管路 延長四一八m他
 - ・ 駐車場整備（神恵内・川白）工事完成
 - ・ 事業費 六、三〇〇千円
- ・ 神恵内地区 延長一七・一m 面積一二九・八m²他
- ・ 川白地区（N〇・一） 延長一九・五m 面積八七・一m²他
- ・ 川白地区（N〇・二） 延長二二m 面積九三・四m²他
- ・ 青少年旅行村コテージ完成（二月）
- ・ 事業費 一二七、八九〇千円

コテージ一二棟（一棟六一・五六㎡）

・ 珊内橋橋梁添架新設工事完成（二月）

事業費 四、四二六・八千円

水道管添架工・単管手摺 延長一一六m

・ ふるさと林道川白線開設工事（その二）完成

事業費 三四、〇二〇千円

法枠工 面積三六六㎡ フェンス他

・ 神恵内村老人福祉寮（生き生きホーム九九八）完成

事業費 一四八、四七〇千円

鉄筋コンクリート造平屋建 面積四五八・二三㎡

電気設備 機械設備工事他

・ 神恵内村在宅老人福祉施設にエレベーターが完成（三月）

事業費 二三、一〇〇千円

・ ゴミの広域処理について南後志地域廃棄物広域処理連絡協

議会（一四町村）が設置される（三月）

・ 泊発電所周辺にかかる環境影響調査（現況調査）終了

【三月三十一日】

・ 珊内小中学校・川白小中学校が閉校に、永年の歴史に幕を閉じる

（三月二五日閉校式）

珊内小学校は明治一三年に寺小屋授業を始めて以来一

〇七年、中学校は昭和二二年に併設以来五〇年の歴史

がある

川白小学校は明治二〇年頃「陸の孤島」であったこの地で寺小屋授業が始まり明治三六年に新校舎が建設され閉校、中学校は昭和二二年に珊内中学校川白分校として発足昭和三〇年に独立した

- ・スクールバス購入（二九人乗りマイクロバス）

購入費 六、〇九〇千円 四月から運行開始

- ・絶景を眺める あんない展望公園完成

【四月三〇日オープン】

事業費 四四、四一五千円

展望公園 面積四〇九・一²m

歩道延長一五一・三m 四阿一棟他

- ・神恵内村老人福祉寮外構工事完成（五月）

事業費 二〇、五八〇千円

小公園六六〇²m 駐車場九八²m

- ・神恵内小学校バレーボールスポーツ少年団が小樽・後志地区代表決定戦で優勝し道央大会出場（五月）

- ・北海道電力㈱の保養所「ゆうなぎ荘」がオープンする

- ・村立診療所に電子内視鏡一台設置

- ・神恵内小学校卓球スポーツ少年団後志卓球選手権大会で健闘し全道大会出場決定

- ・神恵内中学校女子バレーボール部が全道大会で優勝し全国大会へ連続三回出場の快挙

- ・同じく卓球の個人戦で斉田正子さんが三位で全国大会出

場

場

場となる

・川白、珊内、赤石、ツボ石地区の児童・生徒の通学のためスクールバスの運行開始

・神恵内中学校女子バレーボール部が全道中学選抜優勝大会で二年振り三回目の優勝

・(元)神恵内消防団副団長 斉藤松雄氏が勲六等单光旭日章受章【五月一九日伝達】

・中国大連市回龍村へ友好訪問(五月)

・岡村副議長・菅原議員・大井議員他二名訪問

・補助小規模治山事業(フット地先)完成(五月)

・事業費 九一三・五千元 大型土囊設置

・冷蔵センター機械設備他改修工事完成(五月)

・事業費 一一、八四四千元

・アンモニア冷凍設備、屋上防水他

・冷蔵センターの運営 神恵内村海産物加工協同組合に委

託(六月)

・資源ゴミ(アルミ、スチール缶等)分別収集モデル事業が実施される

・交通事故発生一名死亡(五月二〇日)

・事故死ゼロの記録三三四日でストップ

・ノット山の上線照明設置工事完成(六月)

・事業費 三、五七〇千円

・照明灯(高圧ナトリウム灯)七基他一式

・秘境「第一三回西の河原極楽まつり」盛大に開催も今回で終了となる

川白千畳敷で初夏のウニ丼 新鮮な海の幸 海上遊覧 霊場西の河原探訪他

・新長期総合振興計画策定にかかる村民意向調査実施

調査票配付 五五一世帯 回収率 九三・五%

・神恵内村議会議員定数調査特別委員会が設置される

・北海道優良勤労青少年顕彰 北海道知事から四名表彰される (七月一九日)

・北海道電力(株)が泊発電所三号機増設計画の申し入れ【七月二九日】

*第一八回参議院議員通常選挙実施される (七月一二日)

投票率七五・八七%

・後志小学校陸上競技大会の男子一、五〇〇mで阿部 誠くんが見事優勝全道大会出場

・後志中学校駅伝大会で神恵内中学校女子が二年連続優勝し全道大会に出場決定

・神恵内村日本郷土玩具館整備工事完成 (八月)

事業費 四三、九九五千円

旧珊内小中学校内部改修一式

・北海道フォトコンテスト&セミナー 水中写真家 中村征夫氏来村 (八月三〇日)

・村立歯科診療所 澤田先生が退職 (九月三〇日付)

後任に深井 剛先生が就任する（七月一日付）

・空き缶回収機二台設置される

・小さな使者と国際交流

中国大連市沙河区少年宮旅順口区の小学生一行二五名が
来村し神恵内小学校児童と交流し夕食会やキャンプフア
イヤ―などで交流を深め合う

・後志卓球選手権大会の一四歳以下の部で男女個人七名、女
子ダブルス二組が全道大会出場

・神恵内中学校校またも快挙 全運動部が四年連続全道大会に
出場する

・泊発電所三号機設置計画に係る環境影響評価書の縦覧・説
明会はじまる

縦覧期間 八月一日～九月二日 説明会 九月九日

（漁村センター）

・村立診療所にX線テレビ装置一台設置される

購入額 一二、六〇〇千円

・日本の玩具が集合 神恵内村日本郷土玩具館オープンする
全国のおもちゃ二、五〇〇点が常時展示

・後志卓球選手権大会で神恵内中学校卓球部の女子が優勝の
他、男女一二名が全道大会出場

・岩宇地区高齢者文化交流会が漁村センターで開催される
・神恵内地区量水器取換工事完成（九月）

事業費 二、八三五千円 量水器撤去及び取付二五〇個

-
-
-
-
- ・教育委員会委員の任命 教育委員（教育長）に佐藤寿昭氏再任（二〇月一日付）
 - ・経営林道珊内線改良工事完成（二〇月）
 - 事業費 三、五七〇千円
 - ・道路改良 延長二三m U型トラフ、張芝工他
 - ・小規模治山事業（禾下地先）完成（二〇月）
 - 事業費 一五、五四〇千円
 - 土留工 延長六三m 水路工他
 - ・珊内橋橋梁添架工事完成（二一月）
 - 事業費 一〇、二九〇千円
 - 水道管仮設配管撤去 延長七一m
 - 本設配管 延長六〇m他
 - ・バス待合所三箇所設置される（二一月）
 - 事業費 二、三五二千円 木造各三・二四m
 - ・高齢者グループホームかめめの家外構整備工事完成（二一月）
 - 事業費 二、一〇〇千円
 - アスファルト舗装 面積八九m他
 - ・中国大連市回龍村との友好親善（二一月）
 - 回龍村 董文弟村長一行五名来村
 - 友好親善の夕べ、友好交流会、村内外行政視察他
 - ・後志中学校卓球大会新人戦で神恵内中学校女子が団体戦優勝し、またバドミントン男子個人戦でも滝本康洋くんが優
-

-
-
-
- ・ 勝し全道大会へ出場する
 - ・ 第一四回原子力防災訓練の実施（二月五日）
 - ・ 新珊内橋が完成する
 - ・ 村道文明町線道路整備工事完成（二月）
事業費 四、六二〇千円
 - ・ 道路改良 延長一二七・八m他
 - ・ 神恵内漁業協同組合が泊発電所三号機増設に条件付賛成を決議する（二月）
 - ・ 神恵内村議会議員の定数を減少する条例が制定される【定数一二人から一〇人へ】
 - ・ 九九八パークゴルフ場照明施設完成（二月）
事業費 二一、四七二千円
 - ・ 照明灯五基 外路照明灯五基他
 - ・ オネナイ地区村有住宅解体
事業費 二、四六七千円
 - ・ コンクリート造平屋建一棟四戸 面積一三八・二四㎡他
 - ・ 小規模治山事業（千葉地先）完成（二月）
事業費 九、五五五千円
 - ・ 土留工延長一二〇m、法枠工、水路工他
 - ・ 小規模治山事業（菅原地先）完成（二月）
事業費 七、七七〇千円 雪崩防止柵一〇基
 - ・ 泉橋橋梁添架新設工事完成（二月）
事業費 八、三七九千円 添架工 水道管延長二五m他
-

・西ヶ丘団地外構整備工事完成（二月）

事業費 二、六〇四千円

U型トラフ 延長八四m

歩道工 インターロッキングブロック他

・西ヶ丘団地公営住宅建設工事完成

事業費 八八、七二五千円

一棟四戸 面積三七三・二六㎡

・ふるさと林道川白線開設工事完成

事業費 七八、五四〇千円

・神恵内村長期総合計画に係る村民意向調査の結果がまとまる

調査票配付 五五一枚 回収五一五枚

回収率九三・四七%

各課への要望

・総務関係↳防災対策、防犯・交通対策等

・財政課↳村営住宅関係、税務関係

・産業課↳漁業の振興、農林業の振興、商工・観光

業の振興、環境保全対策、後継者対策等

・建設水道課↳下水道・合併処理浄化槽の整備、道

路の整備等

・住民課↳ゴミの再利用・有料化について、在宅福

祉対策、診療所関係、保育所関係等

・開発計画課↳温泉関係、原子力防災関係等

・教育委員会↳全村教育の推進等

・公共施設関係他

- ・岩宇四町村共同事業で深層水（魔法の水）の調査はじまる
- ・街路灯整備工事三年計画の一年目完成（二月）
事業費 四二、〇〇〇千円
- ・オリジナル街路灯（ナトリウム灯共架式）八〇基
- ・岩宇地域経済協議会が泊三号機増設に対する要望を北電に行う（二月）
 - 一、安全と信頼
 - 二、地域振興
 - 三、恒久的総合エネルギー基地
- ・温泉九九八泉源スケール除去ポーショング（二月）
事業費 一、四七〇千円 切削深度一三五m
- ・地域振興券の交付はじまる（三月一日から）
券面一人当り二〇、〇〇〇円 交付者数四六五人
交付金額九、三〇〇千円
- ・神恵内村防災無線施設増設工事完成（三月）
事業費 一四、二八〇千円
- ・中継局一式（川白漁港） 屋外拡声子局三基
移動系前進基地局他
- ・テレビ難視聴地区（西の河原）整備工事完成（三月）
事業費 七、九八〇千円
- ・光ケーブル布設 延長二、四〇〇m
- ・西ヶ丘団地公営住宅建設工事完成（三月）
事業費 八三、〇五五千円

-
-
-
- ・ 一棟四戸 面積三七三・二六㎡
 - ・ 西ヶ丘団地外構整備工事完成（三月）
事業費 二、八三五千円
 - ・ 歩道工 インターロッキングブロック U型トラフ
照明灯一基他
 - ・ ふるさと林道川白線開設工事（その二）完成（三月）
事業費 二九、四〇〇千円
 - ・ 現場吹付法枠工 面積一八九㎡ 階段工他
 - ・ 中国大連市回龍村との友好親善（三月～四月）
教育長、神恵内小学校児童等一行七名が大連市、回龍村
を訪問交流する
 - ・ 村立神恵内診療所 小野寺一史所長退職【三月三一日付】
村立神恵内診療所の運営を小野寺一史先生に委託する
【四月一日付】
 - ・ 村立神恵内診療所に内視鏡洗浄消毒装置設置される
（元）助役（敬）三上正己氏が勲五等瑞宝章受章
【四月七日伝達】
 - ・ 助役に米田可知昭氏再任される（四月一七日付）
 - ・ 山菜採りで行方不明者相次ぐ【二名死亡】
 - ・ 統一地方選挙【北海道知事選挙・北海道議会議員選挙】執行
される（四月一日）【投票率八一・〇一％】
 - ・ 神恵内村議会議員選挙 定数一〇名に削減された後の初め
での選挙一三名が立候補する
-
-
-

-
-
-
-
- ・【投票率九六・四五％】（四月二五日）
 - ・後志卓球選手権大会（小学生の部）で男・女ともに全道大会の出場権獲得する
 - ・花いつぱい事業はじまる
 - ・花壇の設置四ヶ所 プランター一六五個設置
 - ・青少年旅行村等施設管理の委託業務開始する
 - ・四月一日～一年間 受託者 北電興業（株）泊事業所
 - ・高松 實氏勲七等青色桐葉章受章【五月一日伝達】
 - ・永年の使命を終えて旧公民館解体される（五月）
 - ・神恵内村商工会創立二〇周年記念祝賀が盛大に行われる
 - ・*岩内協会病院新築移転地が旧岩内町立高台小学校跡地に決定する
 - ・泊発電所三号機増設計画に係る第一次公開ヒアリング開催される【六月二日】
 - ・珊内郵便局廃局となる（六月）
 - ・収入役に桑原 進氏再任される（七月一日付）
 - ・中国大連市回龍村との友好親善（七月）
 - ・回龍村 梁副村長他小学生一行一名来村
 - ・友好親善の夕べ、友好交流会、村内外行政視察、厳島神社の祭典などに参加し日本の文化に触れた来村でした
 - ・北海道優良勤労青少年顕彰 北海道知事より三名受賞（七月一六日）
 - ・七月末の豪雨による被害発生
-
-
-
-

さくらます幼魚飼育場 さくらます稚魚 五〇七千尾斃

死 神恵内漁港・川白漁港に大量の草木流入

・札幌手稲眼科内科による眼科移動診療が開始される（八月、九月）

・神恵内村活魚蓄養センターに冷凍機設置される（八月）

事業費 四、二〇〇千円

冷凍機一台 熱交換器四基他

・水道量水器取換工事完成（八月）

事業費 一、三六五千円 量水器取換一一二個

・西ヶ丘団地公営住宅解体工事

事業費 一、八六九千円

二棟八戸解体 面積二六四・二五㎡

*茨城県ジェー・シー・オー東海事業所で臨界事故発生する

【九月三〇日】

・中国大連市回龍村へ友好訪問（九月）

羽山議長・澤口議員・収入役他四名訪問

大連市、長海県、回龍村行政視察他友好親善

・神恵内中学校バドミントン部、女子卓球部、女子バレー

ボール部が全道大会に出場決定する

・神恵内村いきいきふるさと振興券交付はじまる（二〇月一日）

券面金額 一人当り五、〇〇〇円

交付対象者一、二六九人

-
-
-
- ・交通事故死ゼロ五〇〇日達成し表彰を受ける
 - ・小規模治山事業（佐藤地先）完成（一〇月）
 - 事業費 一二、六〇〇千円 土留工、水路工他
 - ・新築となった川白浄水場の通水式実施【二月一日】
 - ・神恵内中学校体育館屋上防水工事完成（二月）
 - 事業費 五、七二二千円
 - ・役場庁舎のトイレ改修
 - 事業費 四、二〇〇千円
 - 一階、二階トイレ便器（簡易水洗式）
 - ・西ヶ丘団地外構整備工事完成（二月）
 - 事業費 一九、九五〇千円
 - 道路 延長三〇m 駐車場 面積四九〇㎡他
 - ・後志女性研修会が二〇〇名参加し漁村センターで開催される
 - ・西ヶ丘団地公営住宅建設工事完成
 - 【六年で八棟完成】（二月）
 - 事業費 八〇、三二五千円
 - 一棟四戸 面積三七五・九七㎡
 - ・街路灯整備工事完成【三年計画の二年目】
 - 事業費 四一、七九〇千円
 - オリジナル街路灯（ナトリウム灯共架式）八〇基
 - ・後志教育研究大会が神恵内小学校・中学校を会場に行われる
 - ・後志中学校新人戦で卓球女子の団体戦、シングルスで上位
-
-
-

- ・独占 女子バレーボールも優勝、バドミントンも一・二年生が優勝するなど大活躍する
- ・神恵内中学校女子卓球部が全道中学校選抜卓球大会で三位に入賞する
- ・ノット山の上線融雪施設設置工事完成（二月）
 - ・事業費 二五、二〇〇千円
 - ・インターロッキングブロック舗装 面積四一九㎡
 - ・ふるさと林道川白線開設工事完成（二月）
 - ・事業費 四一、六八五千円
 - ・法枠工 面積三八九㎡ 延長三四m
 - ・原子力防災資機材庫完成 北海道から村へ無償貸付される
 - ・小規模治山事業（松本地先）完成（二月）
 - ・事業費 九、八七〇千円 雪崩防止柵一五基
 - ・小規模治山事業（老人保健施設地先）完成（二月）
 - ・事業費 一八、八四七・五千円 法枠工、舗装工他
 - ・自然とのふれあい 神恵内二〇〇〇年の森公園が誕生する
 - ・神恵内中学校女子バレーボール部が石垣カップ後志中学校バレーボール大会で優勝する
 - ・リフレッシュプラザ温泉九九八浴室天井・ジャグジー浴槽改修工事完成（二月）
 - ・事業費 一〇、二五八千円
 - ・第一五回原子力防災訓練の実施【二月八日】
 - ・二一世紀への扉を開く 神恵内村総合振興計画完成する

業務委託料 三、九五〇・五千円

・川白地区観光漁業ターミナル整備工事完成（三月）

事業費 三〇、六六〇千円

トイレ一棟 鉄筋コンクリート造 面積二一・七五㎡

駐車場 面積一三三・七㎡他

・後志オープン卓球選手権大会一般の部に出場の神恵内中学校二年生の岡田はるかさんと福士佐智子さんがシングルス、ダブルスとも制する活躍

*有珠山噴火する 未曾有の大被害発生する

*泊発電所三号機増設に係る「道民の意見を聞く」が開催される（三月）

・神恵内中学校スポーツ少年団が後志管内教育実践表彰を受賞する

・地方分権推進法が四月一日から施行される

・介護保険法が四月一日から施行される

・温泉九九八泉源スケール除去ポージング（四月）

事業費 一、四七〇千円 切削深度一四〇m

・六歳未満の幼児にチャイルドシートの使用が義務づけられる
チャイルドシート購入補助金制度を創設する

・神恵内小学校卓球スポーツ少年団が後志卓球選手権大会の男子団体・個人で活躍全道大会の出場を決定する

・村長公用車更新する

・有珠山噴火に係る災害派遣 稲船係長・玉川係長の二名豊

-
-
-
- ・浦町の避難施設に派遣する
 - ・会長杯争奪後志中学校卓球大会で神恵内中学校女子が団体戦で完全優勝する
 - ・二〇〇〇年ミレニアム記念植樹祭行われる（五月二三日）
 - ・赤石山の上線道路沿い他にヤエザクラ一〇〇本植栽する
 - ・川白公有地造成工事が着工される（五月一日）
 - 面積七、七〇〇㎡
 - ・（元）神恵内村消防団副団長 松屋淳一氏勲六等单光旭日章受章【五月二六日伝達】
 - ・神恵内中学校女子バレーボール部が後志中学校春季バレーボール選手権大会で優勝する
 - ・（元）神恵内村議会議員（故）村田敏一氏が勲六等单光旭日章受章【六月一四日伝達】
 - ・岩宇植樹祭 トーマル地区にトドマツ、ナナカマド等一五五本植樹（六月二一日）
 - ・衆議院議員総選挙執行される【投票率七九%】
 - ・漁村センター改修工事完成（七月）
 - 事業費 一〇、八六七円
 - 屋上防水、外部階段改修他
 - ・活魚蓄養用センターに冷凍機一台設置される（七月）
 - 事業費 一、三六五千円
 - ・岩内協会病院の新築移転について
- 昭和四一年に建設し三三年を経過した岩内協会病院につ
-
-
-

いて岩宇四町村で総事業費の（約四〇億円）の二〇％を負担することに決定する

鉄筋コンクリート造地下一階 地上七階建

延べ床面積一三、一五一・七三㎡

・新泉源湧出機構地質調査委託

事業費 三、〇四五千円

小川地区の冷泉を調査するも自然湧出量は毎分一〇^{リットル}以下程度で亀裂を掘削しても推定毎分五〇^{リットル}程度と微量であり引湯することは不可能と判断

・神恵内村商工会が総額五〇〇万円のプレミアム商品券を発行する

・「心の過疎を吹き飛ばせ」を合い言葉に第一四回北海道むらこん二四が第六ブロックの神恵内村で開催される（七月八日～九日）

基調講演・むらこん市場・むらこんコンサート・北海道と二四村の木植栽（ミレニアム植樹）・交流会他で二四村の関係者三八〇名参加し交流を深める

・中国大連市回龍村との友好親善（五回目の来村となる）

董 村長一行八名（七月）

イベント参加、友好歓迎会、むらこん二四村長との交流会、村内行政視察他

・北海道優良勤労青少年顕彰 北海道知事より一名受賞

（七月一七日）

-
-
-
- ・川白灯台新設なる（昭和六二年台風一二号で倒壊）
 - ・神恵内中学校男子バドミントン個人で小倉亮くん、男子卓球部個人で森 和貴くん、女子卓球部団体が優勝し全道大会出場決定する
 - ・文部省委嘱事業「子供長期自然体験村」積丹半島チャレンジキャンピング神恵内が旧川白小中学校に宿泊し体験学習が行われる
 - ・岩宇4町村と北海道電力株式会社が岩内協会病院新築に係る土地の使用貸借契約を締結する（七月七日）
 - 土地の所在 岩内郡岩内町宇高台二〇九一二
 - 地目 宅地 面積 一一、九二九・三九㎡
 - ・神恵内中学校女子卓球部が全国大会に出場しリーグ戦で健闘するも惜しくも敗退する
 - ・社会福祉法人北海道社会事業協会の岩内協会病院新築に係る土地の無償貸借を決定する
 - ・北海道電力株式会社にヒューマンエラー防止について要請書を提出する（八月二日）
- *泊発電所放射性廃棄物処理建屋サンプタンク内において作業員が死亡する事故発生（八月一七日）
- 安全性の確保、事故原因の徹底究明、事故の再発防止、緊急時の医療対策等要請
- ・読売新聞社が目の巡回無料検診を実施する（八月二四日）
 - ・神恵内村議会原子力発電所対策特別委員会が泊三号機増設
-

計画に条件付き賛成決議する
・岩内協会病院新築工事着工する

建築面積 三、七六八・五六㎡

構造・階数 A棟SRC造地下一階 地上七階

B棟RC造地下一階 地上三階

・泊発電所三号機増設に関して北海道知事と岩宇四町村長との会談実施

泊発電所という最大のエネルギー基地の地域振興対策・
電源三法交付金に関し立地村と周辺町村の格差是正等を
国へ要請する

*北海道知事が泊原子力発電所三号機増設計画を九月五日の臨時道議会で計画受け入れを正式表明する

・交通事故キャンペーン防止のため北海道警察交通機動隊の女性白バイ隊「アースウイング」一行来村する

・中国大連市回龍村へ友好訪問(九月)

若林副議長・岩澤議員・他二名訪問

大連市、長海県、回龍村行政視察他友好親善

・保育所グラウンド改修工事完成(九月)

事業費 三、六二二万円

・国勢調査が実施される(一〇月一日)

人口一、三二五人 【男六一一人・女七一四人】

世帯数五七八戸

・神恵内九九八地区生活環境保全林整備事業六年間で完成する

保安林一〇・三ヘクタール 整備面積七・九ヘクタール
管理歩道一、七二九・一m他

・小規模治山事業（加藤地先）完成（二〇月）

事業費 一〇、五〇〇千円 土留工二二m、水路工他

・小規模治山事業（鷹島地先）完成（二一月）

事業費 一四、〇七〇千円 法枠工三八五m²、暗渠工他

・赤石四号船揚場（天森地先）整備工事完成（二一月）

事業費 四、八三〇千円

コンクリート舗装 面積二八六m²

・街路灯整備工事完成（三年計画の最終年）

事業費 四七、九八五千円

オリジナル街路灯（ナトリウム灯共架式）九〇基

赤石、珊内、川白地区整備

・西ヶ丘二号線融雪施設設置工事完成（二二月）

事業費 二五、〇九五千円

インターロックキングブロック舗装 面積五〇七m²

電熱方式他

・ツボ石団地公営住宅建設工事完成（二二月）

事業費 七九、九〇五千円

一棟四戸 面積三二三・七〇m² 電気設備工事

機械設備工事

*泊原子力発電所建設準備事務所が設置される（二二月二日）

国の電源開発基本計画に組み入れられる

〔泊発電所3号機 出力九一万二千KW・平成二〇年営業運転開始予定〕

・道央圏地域整備展開構想推進協議会日本海南部ブロック会議が広域的な地域振興を考える「シンポジウム in 神恵内」を開催する

*泊発電所3号機増設に係る環境影響評価書の縦覧開始される

・ふるさと林道川白線開設工事完成（二月）

事業費 三四、五四五千円

法粋工 面積三二〇・四㎡

・小規模治山事業（禾下地先）完成（二月）

事業費 一六、六九五千円 切土、法粋工他

・小規模治山事業（西の河原地先）完成（二月）

事業費 四、〇九五千円 菱形金網工他

・二〇〇〇年ミレニアムベビーが一人誕生する【平成四年の一人以来】

・北海道市町村合併推進要綱策定

道内九三の合併パターンを示す 【岩宇四ヶ町村一つのパターン】

・ツボ石団地公営住宅解体工事

事業費 一、〇二九千円

公営住宅一棟 面積一三二㎡

・第一六回原子力防災訓練の実施【二月八日】

・全村教育講演会開催される

・北海道電力㈱と神恵内村地域振興に関する協定書の調印
【三月九日】

地域振興に関する協定書 一金 九〇〇、〇〇〇千円
漁業振興に関する協定書 一金 六五〇、〇〇〇千円
岩宇地域漁業振興に関する協定書
一金 一六二、五〇〇千円

・神恵内村議会が全国町村議会議長会から表彰される

・温泉九九八泉源スケール除去ボーリング（三月）

事業費 一、三五四千円 切削深度一四四m

・泊発電所三号機の建設工事に係る環境の保全等に関する協
定書調印する【三月一六日】

*支庁制度検討委員会が「支庁改革に関する最終試案」を知
事に答申する【三月二九日】

・ツボ石団地公営住宅外構整備工事完成（三月）

事業費 三、〇四五千円

歩道インターロッキングブロック面積二四・七㎡

駐車場アスファルト舗装 面積六八㎡ 照明灯一基他

・珊内漁港漁村活性化対策事業整備工事完成（三月）

事業費 二六、七七五千円

インターロッキングブロック 面積二七九㎡

アスファルト舗装 面積四二三㎡ 照明灯一基他

・北海道原子力防災センター「オフサイトセンター」竣工する

*札幌弁護士会しりべし弁護士相談センター開設される

-
-
-
- ・神恵内村長高山庸一氏後志町村会長任期満了となる（五月）
 - ・神恵内村商工会が総額一、〇〇〇万円のプレミアム商品券を発行する
 - ・後志管内市町村行財政検討会議設置される
 - ・川白公有地造成事業完成（五月一七日）
 - ・国の電子政府構想を受けてIT講習はじまる（五月～六月）
 - ・神泊大橋供用開始される（六月二一日）
 - ・参議院議員通常選挙（非拘束名簿式比例代表制が適用）
- 【投票率七七・七五%】
- ・交通事故死ゼロ五〇〇日達成する（八月七日）
 - ・川白地区簡易水道量水器取替工事完成（八月）
 - ・事業費 一、一五五千元 量水器三五個
 - ・中国大連市回龍村へ友好親善（九月）
 - ・高山村長・林議員・稲葉議員他三名訪問
 - ・大連市回龍村との懇談会他、行政視察
 - ・全国アウトドアスポーツ大会開催される
 - ・電源立地等初期対策交付金事業を活用した漁業協同組合の製氷貯氷施設完成（九月）
 - ・事業費 九〇、一九五千元
 - ・外壁・屋上防水改修 自動製氷設備（日産一〇トン）他
 - ・漁村センター暖房機改修工事完成（九月）
 - ・事業費 三、六七五千元 真空式温水器一基他
 - ・原子力防災訓練実施（二〇月二七日）（国が主体となって北
-
-

<p>海道原子力防災センターで実施する全国で初めての訓練〈中国大連市回龍村との友好親善（六回目の来村となる）孫団長一行六名来村（一〇月）友好歓迎会、村内行政視察他</p> <p>・神恵内地区地域水産物供給基盤（南後志）増殖場造成事業完成（発注北海道）</p> <p>事業費 六九、九三〇千円</p> <p>ミズダコ産卵礁造成三・九四トブロック三六四基他 川白漁港沖設置</p> <p>・（元）神恵内村議会議員 佐藤久次郎氏が勲五等瑞宝章受章【一月六日伝達】</p> <p>・ふるさと林道川白線六年の歳月かけて完成（一月）事業費 二七、三〇〇千円 法枠工面積二八四㎡他</p> <p>・ツボ石団地公営住宅建設工事完成（二月）事業費 八〇、一一五千円</p> <p>一棟四戸 面積三二三・七〇㎡ 電気設備工事 機械設備工事他</p> <p>・村立歯科診療所に歯科治療用機器購入（ユニット・レントゲン）</p> <p>・小規模治山事業（禾下地先）完成（一二月）事業費 二二、二六〇千円 切土工、法枠工他</p>	

※年表はこれからも補充してまいりますので、欠けている事項についてご教示下さい。

○平成一四年（二〇〇二）開村一三〇年

*ツボ石団地公営住宅解体工事完成

事業費 一、一〇二千円 一棟四戸 一三五・七六[㎡]

*神恵内村長選挙で高橋昌幸氏無投票当選となる（二月一九日告示・二月二四日投票）

*交通事故死ゼロ七〇〇日達成（二月二二日）

*神恵内村助役米田可知昭氏退職（二月二八日付）

卒岩内協会病院竣功する（二月）

A棟 鉄骨コンクリート造地下一階・地上七階 B棟 鉄筋コンクリート造地下一階・地上三階

延べ面積一三、三七四・二二[㎡]

*神恵内村長高山庸一氏任期満了となる（三月一六日）昭和四八年二月から二九年間

*神恵内村長高橋昌幸氏就任する（三月一七日）

*神恵内村行政情報システム整備事業完成（三月）

事業費 二六、一一三千円 電算室、電源、回線接続、ネットワークシステム他一式

*ツボ石団地公営住宅外構整備工事完成（三月）

事業費 二、五二〇千円 歩道インターロックキングブロック面積二三、七[㎡] 駐車場 面積六八[㎡]

照明灯他一式

*住民記録システム完成、住民基本台帳ネットワークシステム整備事業完成

*神恵内村助役に松屋有信氏選任される（三月二八日付）

卒新築となった岩内協会病院で診療開始（四月）

*神恵内村ホームページ運用開始（四月）

- *後志小学生卓球総合選手権大会で神恵内小学生男女大活躍(四月)総勢一三人が全道大会に出場する
- *村立歯科診療所 深井剛医師退任(四月三〇日付)
- *村立歯科診療所 萩野 司医師着任し委託診療開始(五月一日付)
- *行政機構の一部見直しを実施【六課体制(開発計画課廃止)から五課体制へ】(五月一日)
- *下水道事業に係る住民アンケート調査実施(五月)回収率九六・九%
- この結果、下水道整備を早急にと言う意見が一七%と少数のため当面事業実施を見送ることを決定
- *神恵内村商工会が総額一、〇〇〇万円のプレミアム商品券を発行する
- *珊内地区簡易水道量水器取替工事完成(六月)
- 事業費 二、五二〇千円 量水器七三個他一式
- *中体連卓球大会・後志卓球選手権大会で神恵内中学生男女大活躍(七月)総勢一二人が全道大会に出場する
- *神恵内厳島神社三五〇年式年大祭挙行(七月一五日)
- *〔元〕神恵内村議会議員(故)小林元行氏が正六位勲五等双光旭日章の特別叙勲受章【九月二五日伝達】
- 神恵内地区地域水産物供給基盤(南後志)増殖場造成事業完成(発注北海道)
- 事業費 六九、九三〇千円 ミズダコ産卵礁造成三・九四トブロック三三七基他 川白漁港沖設置
- *川白一号(オネナイ地区)船揚場整備工事完成(九月)
- 事業費 一二、〇七五千円 擁壁工、転落防止柵他一式
- *九月一八日開会された第三回村議会定例会で(前)村長高山庸一氏が名誉村民(第四号)として決定される
- *神恵内村教育長佐藤寿昭氏任期満了となる(九月三〇日)
- *村立神恵内診療所小野寺一史医師退任(九月三〇日)
- *村立神恵内診療所に安友弘医師着任し委託診療開始(一〇月一日)

*教育委員会委員の任命 教育委員(教育長)に米田眞一氏選任される(二〇月一日付)

*神恵内診療所ボイラー設置工事完成(二〇月)

事業費 一三、四四〇千円 温水ボイラー(給湯用・暖房用)各一基

卒開村一三〇年・消防組織一二〇年記念式典並びに名誉村民顕彰式典挙行(二一月一日)

【記念行事】

○原子力発電広報・啓発イベント事業「第二四回・沖揚げまつり」開催(七月一日)

○親子スキューバダイビング&キャンプINかもえない(七月二〇〜二一日)

○わんぱく海の子キャンプINかもえない(八月五日〜一日)

○開村一三〇年記念ほくでんふれあいイベント文化講演会が京 唄子さんを迎えて開催される(二〇月二日)

○記念誌「愛郷かもえない」を刊行

*後志スポーツフェスタで卓球男子(団体)初優勝・パークゴルフも三位に入賞する

北海道スポーツフェスタ「パークゴルフ競技」に後志代表として出場する

*低気圧による大時化で大森く珊瑚内く川白間通行止め・神恵内漁港沖堤体・川白漁港西外防波堤傾く(二〇月二七〜二八日)

* (元)村議会議員金田一清作氏が勲五等瑞宝章受章(二〇月二九日伝達)

*村立神恵内診療所ボイラー設備工事完成(二〇月)

事業費 一三、四四〇千円 給湯用・暖房用ボイラー各一基

*村立神恵内診療所給油設備改修工事完成(二一月)

事業費 一、三六五千円 灯油タンク(九五〇リットル)二台 防油堤一式

* (前) 村長高山庸一氏が勲四等旭日小綬章受章 (一月七日伝達)、紺綬褒章受章 (二月四日伝達)

* 神恵内女性会が創立五〇周年記念式典挙行 (二月二四日)

* リフレツシユプラザ温泉九九八が平成四年四月一七日オープン以来一〇年七ヶ月で一〇〇万人達成 (二月二四日)

* 村立神恵内保育所改修工事完成 (二月)

事業費 八、七五〇千円 屋上防水・外壁改修他一式

* 小規模治山事業 (木下地先) 完成 (二月)

事業費 二八、五六〇千円 切土工・法枠工他一式

* ツボ石団地公営住宅新築工事完成 (二月)

事業費 八七、六七五〇千円 一棟四戸 建築工事・電気設備工事・機械設備工事一式

* 村道東雲町線融雪施設設置工事完成 (二月)

事業費 三一、二九〇千円 ロードヒーティング (電熱線方式) 車道部一三〇、一m

面積四八四、五㎡・歩道部六六、八五m・一〇〇、三㎡他一式

○平成一五年 (二〇〇三)

* 行政機構の一部見直しを実施 (二月一日付)

産業課・建設課を統合し産業建設課として五課を四課体制とする

* 温泉九九八炭酸カルシウム除去設備工事完成 (二月)

事業費 一九、四二五〇千円 プレハブ三九、二九㎡・電気・機械設備一式

* ツボ石団地公営住宅解体工事完成 (二月)

事業費 一、三六五〇千円 公営住宅一三五、七六㎡他一式

卒川白トンネル完成し供用開始する（延長二、一〇六m・村内最長）（二月二八日）

* 神恵内中学校改修工事完成（二月）

事業費 九七、五四五千元 内外壁・電気・暖房設備工事一式

* 大川地区移動通信用鉄塔施設完成（二月）三月からサービス開始する

事業費 二七、八六七千円 エヌティティドコモ・ジェイフォン・KDDI通信機器

* 神恵内村漁業協同組合青年部が創立二〇周年記念式挙行（二月一四日）

* ツボ石団地公営住宅外構整備工事完成（三月）

事業費 二、四一五千元 インターブロック歩道二六、四m 駐車場六八m²・排水工照明他一式

卒キナウシトンネル（延長一、〇〇八m）開通する（三月二五日）

* 阿部巨太さん（神恵内中学校二年生）が二〇〇三年道新杯全道ジュニアクロスカントリースキー大会（夕

ラシカル走法）で三年連続優勝する

* 佐藤友美さん（神恵内小学校二年生）が第二九回北海道教育美術展で奨励賞一〇〇点に選定される

* 村立神恵内診療所安友 弘医師退任（三月三一日）

* 村立神恵内診療所に吉田正志医師着任し委託診療開始する（四月一日）

* 神恵内村子育て支援センター運営開始される（四月一日）

* 村議会議員選挙が行われ一〇人の新議員誕生する（四月）

* 神恵内村収入役桑原 進氏任期満了（二期八年間）により退任（六月三〇日）

* 行政機構の一部見直しを実施（収入役を廃止し助役が兼ねる）

出納課を設置し総務課・財政課・住民課・産業建設課の五課体制とする（七月一日付）

* 岩宇四町村合併問題首長会議発足（七月）

*浜に活気戻る「ウニ漁」例年になく豊漁となる

*赤石生活改善センター解体工事完成（七月）

事業費 二、六二五千元 鉄骨造三九六㎡他一式

*原子力広報ベンチ購入（八月）

事業費 一、四四九千元 リサイクルベンチ背付一八台

卒住民基本台帳全国ネットワークシステム八月五日スタートする

*役場庁舎にL G W A N機器（A・B装置）導入・光ケーブル配管設備完成（九月）

事業費 七、八八一千元 サービス提供設備・アクセス回線設備他一式

*学校給食共同調理場が組織的な栄養管理、衛生管理等の努力が認められ厚生労働大臣表彰受賞する（九月）

*高齢者共同生活支援施設改修工事完成（二〇月）

事業費 一〇、二九〇千元 暖房用ボイラー取替え・トイレ・廊下他一式

*西ヶ丘団地公営住宅他解体工事完成（二〇月）

事業費 四、〇九〇千元 西ヶ丘団地二棟八戸 きのこ工場（プレハブ）一棟 川白教員住宅一棟

*村立診療所暖房設備等改修工事完成（二一月）

事業費 一八、六九〇千元 給水・給湯・排水・暖房他一式

*学校給食共同調理場改修工事完成（二一月）

事業費 二六、七七五千元 屋上防水・外壁・給排水・食器洗浄機・食器消毒保管庫他一式

*日本郷土玩具館改修工事完成（二一月）

事業費 一九、一一〇千元 屋上防水・外壁他一式

卒泊原子力発電所三号機が着工する（二一月）加圧水型軽水炉（PWR） 定格出力九一万二千KW

*村道東雲町線融雪施設設置工事完成（二月）

事業費 九、四五〇千円 ロードヒーティング（電熱線方式）延長三四、七四m

舗装工一三四、五㎡他一式

*NPO法人「福祉村創成会」に高齢者共同生活支援施設「友遊館」の運営を委託（二月）

*防災情報システム非常用電源設備工事完成（二月）

事業費 一九、五三〇千円 機械室一一、九八㎡・発電機二七KVA一台

*小規模治山事業（田中地先）完成（二月）

事業費 二〇、〇三七千円 切土工・法枠工・土留工他一式

*ツボ石団地公営住宅新築工事完成（二月）

事業費 八三、〇五五千円 一棟四戸 建築工事・電気設備工事・機械設備工事一式

「ツボ石地区公営住宅整備事業四年計画で全棟（四棟・一六戸）完成」

*じん芥収集車一台更新（二月一〇日納車）

購入費 一一、三四〇千円

○平成一六年（二〇〇四）

*ツボ石団地公営住宅解体工事完成（二月）

事業費 一、五七〇千円 コンクリートブロック造二棟四戸一五六、九七㎡他一式

*神恵内村漁村センター大規模改修工事完成（二月）

事業費 三〇、二四〇千円 大集会室・婦人研修室・ロビー・トイレ他一式

*交通事故死ゼロパーフェクト達成北海道知事から感謝状贈呈される（二月二六日）

*地域の拠点赤石集会所完成（三月四日）落成式挙行（三月一八日）

事業費一九八、六三九千円 鉄筋コンクリート造二階建・床面積五四一、四㎡・大会議室・研修室
調理実習室・エレベーター他一式

*ツボ石団地公営住宅外構整備工事完成（三月）

事業費 二、二〇五千元 駐車場アスファルト舗装六八㎡・排水工他一式

*温泉九九八の自噴が停止（四月五日から五月一六日まで休館）

*道道九九八号古平・神恵内線が地すべりによる土砂崩壊の恐れのため通行止め（四月二二日～六月一四日）

*神恵内村漁業協同組合製氷施設で火災発生、無火災記録一、四九八日でストップ（五月一日）

*交通事故死ゼロ一、五〇〇日達成（五月二日）北海道知事から感謝状贈呈される

*後志卓球選手権カデットの部で健闘し全道大会に神小児童二名出場（五月）

*MRI検診六年振りに実施される（平成二〇年までの五年間）

*第二三回後志地区老人クラブゲートボール大会で悲願の優勝果たす（六月）

*「北海道むらこん二四」第一八回音威子府村開催で終止符となる（七月）

*村立神恵内診療所備品購入事業（七月）

事業費 二、一八四千元 自動血球計数装置・自動CRP測定装置各一台

*後志中学校体育大会（卓球男子団体）で優勝し、全道大会に出場（八月）

*台風一八号により国道二二九号の大森大橋が落橋し村を分断するなど、赤石・川白地区を中心に未曾有の大被害発生する（九月八日）

住家・非住家・漁港・水産施設・漁船・漁具魚網・公共施設等、被害総額四三五件・一九億六、八三七万二千元に上る

*道の駅オスコイかもえない「ダイビングパーク大森」台風被害により休業となる（九月）

*第五四回北海道へき地複式教育研究大会後志ブレ大会開催（二〇月一日神恵内小学校）

*シロサケ漁獲量近年にない豊漁となる

*（元）村議会議長（故）斉藤敬作氏が正六位・勲五等双光旭日章受章（二〇月五日伝達）

*原子力広報屋外掲示板購入（二〇月二十九日）

購入費 一、〇九二千元 掲示板四台（各地域設置）

*レストハウス積丹半島西の河原休業（二〇月）

*村道茶屋町線法面落石防護網設置工事完成（二〇月）

事業費 二三、二〇五千元 落石防護網五、三九二m²一式

卒二〇年ぶりに新札【二万円・五千元・千円】発行される（二一月一日）

*ピアニストの西村由紀江さん来村し児童生徒に演奏プレゼント（二一月）

*神恵内小学校改修工事完成（二一月）

事業費 六五、八三五千円 外壁・屋根塗装・床張替え・照明器具改修・暖房設備他一式

*低気圧による高波で川白漁港や漁船をはじめ民家が被害を受ける（二一月二六日～二七日）

卒大森大橋応急復旧橋（二六一m）完成し供用開始となる（二二月一〇日午前八時）

ウエンチクナイトンネル（二、二六八m）も完成し供用開始する（二二月一〇日）

*川白公営住宅修繕（災害復旧）完成（二二月）

事業費 六、五一〇千元 一階天井・塗装・床張替え他一式（六戸）

*村立歯科診療所改修工事完成（二二月）

事業費 四、四九四千元 外壁・屋根補修他一式

*神恵内養殖作業所補修工事完成（二二月）

事業費 二六、八八〇千円 鉄骨・屋根・建具・塗装他一式

*村道河原町地区道路改良工事完成 (二月)

事業費 一四、七〇〇千円 河原町線二二五、八m・舗装工四一三m他一式

文明町線七六、六m・舗装工一九一m他一式

*赤石地区さわやかトイレ(夕日の落し処)解体工事完成 (二月)

事業費 一、二六〇千円 鉄筋コンクリート造二二、一m

* (元) 村議会議長(故) 斉藤敬作氏が紺綬褒章受章 (二月二五日発令)

○平成一七年 (二〇〇五)

* 村議会議長(自治功労者) 若林 彰氏逝去 (二月二五日) 村議会・自治会・若林家合同葬で行われる (二

月二八日告別式)

* 温泉九九八露天風呂災害復旧工事完成 (二月)

事業費 六、一九五千円 塀(鉄筋コンクリート造) 四二m他一式

* 交通事故死ゼロで北海道警察本部長・岩内警察署長から讃辞贈呈される (二月二七日付)

* 交通事故死ゼロパーク市町村・知事感謝状贈呈される (二月)

* (前) 村議会議長(故) 若林 彰氏が旭日単光章受賞 (三月八日伝達)

* 公共用バス二台購入 (三月一〇日納車)

購入金額 (二台) 二三、五二〇千円 マイクロバス二九人乗り

* 岩宇医師会から村立診療所にAED一台(自動体外式除細動器)貸与される (三月一八日)

阜新大森トンネル着工される (三月一八日)

* 防災行政無線屋外子局修繕完成 (三月)

事業費 四、四六二千元（冊内・川白災害復旧）屋外制御装置設備他一式

*新火葬場（神恵内村葬苑）完成及び火入れ式実施、供用開始（三月一六日）

事業費二〇九、五八〇千元 鉄筋コンクリート造平屋建て 床面積三四九、八五㎡

外構整備工事・火葬場二号線道路改良工事他一式

*温泉九九八揚湯管内スケール浚渫業務完成（三月三〇日）

業務委託料 一二、六〇〇千元浚渫深度一、一〇〇m

*温泉九九八揚湯管内の物理検層及びカメラ検層による障害泉源調査（四月一日～四月七日）

*トヨタハイエース一台購入（二〇人乗り）（四月二二日納車）

購入金額 二、八五九千円

*北海道漁港漁場協会から漁港愛護優良団体として冊内漁港期成会受賞（四月二六日）

*台風一八号による災害見舞金 北海道含め一一一件 三六、八八四、八五八円となる

*ほそめコンブ近年にない繁茂となる

*後志地区老人クラブゲートボール大会で連覇達成（七月）

*神恵内村冷蔵センター操業停止する（七月七日）（委託先の神恵内村海産物加工協同組合の撤退による）

*局地的に一〇〇mmを超える大雨で赤石地区住民が漁村センターに自主避難（八月三日）

*神恵内中学校卓球部が中体連全道大会出場（八月）

*防災マップ制作各戸配布・説明会開催（九月～一〇月）

委託料 二、六二五千元 防災マップ制作一、〇〇〇部

*ナマコ潜水器漁業による資源状況調査で資源量等良好な結果を得られる

*後志管内スポーツフェスタで卓球・パークゴルフともに準優勝となる（九月）

*大型台風一四号が上陸、警戒本部九月七日設置 自主避難三九世帯・六〇名も災害皆無

*前浜でウニの食害調査、実証試験が水産庁の委託事業で実施（九月）

*北海道へき地複式教育研究大会後志大会が神恵内小学校で開催される（九月二二日）

*交通事故致死ゼロ二、〇〇〇日達成（九月二四日）北海道知事から感謝状贈呈される

*秋の産直キャンペーン「まつこう勝負オスコイ市場」開催される（九月二五日）

*神恵内村体育協会創立三十周年記念式典挙行（一〇月一〇日）

*平成一七年国勢調査実施される（一〇月一日）人口一、三一九人・世帯数六一二

*赤石集会所駐車場整備工事完成（一〇月）

事業費 一、七八五千円 アスファルト舗装・三二七㎡他一式

*村立神恵内診療所の吉田医師退任（一〇月三一日）

*神恵内中学校改修工事完成（一〇月）

事業費 一三、八六〇千円 天井・配管ピット・受変電設備・給排水管他一式

*村立神恵内診療所の業務について医療法人溪仁会手稻溪仁会病院に委託する

委託期間一一月一日～一八年一月一五日まで一週二日診療

*アスベスト対策工事完成

・漁村センター、ステーション天井建材貼付他一式（一〇月）

事業費 七八七千円

・神恵内保育所、事務室・保育室・廊下吹付け塗装他一式（一二月）

事業費 四九三千円

*台風並みの低気圧により川白・赤石地区住民自主避難する（一二月二九日）

災害警戒本部設置 大森く珊内間通行止めとなる

卒ほくでん文化講演会が假屋崎省吾氏を迎えて開催される（二月二十九日）

*村道仲町線道路改良工事完成（二月）

事業費 一三、八六〇千円 延長一二五、六五m・幅員四m 舗装工五〇三m他一式

*第二五回全国中学生人権作文コンテスト札幌地方大会で横岡梨穂さんが奨励賞受賞する（二月）

*神恵内保育所内部補修工事完成（二月）

事業費 二、三二〇千円 壁塗装・クロス張替え他一式

*神恵内保育所遊具等購入（二月）

事業費 一、一五五千円 ソフトエッジ箱積み木・巧技台・うす、きねセット他

*珊内公営住宅他解体工事完成（二月）

事業費 三、六二二千円 一棟四戸・二棟三戸

*（旧）火葬場解体工事完成（二月）

事業費 五、四六〇千円 神恵内火葬場CR造四九、一四m² 珊内火葬場木造四九、六八m²

*岩内町（株）北興生コンからリゾートタウンアリスの里（岩内町字野束）土地寄付受ける

一〇区画 五、〇四二・九一m²（二、五二五坪）（二月二八日）

*神恵内診療所外壁屋根等改修工事完成（二月）

事業費 二五、五一五千円 外壁・屋根補修他一式

*珊内集会所床・照明・風除室修繕完成（二月）

事業費 一、八五八千円 ホール・床カーペット取替・照明器具取替・ポーチ・階段

アルミ風除室設置他一式

* (前) 選挙管理委員会委員長森芳勝氏が明るい選挙の推進に尽くされた功績が認められ内閣総理大臣表彰受賞 (二月一、二日伝達)

* 村議会議員補欠選挙執行される (二月一、八日) 上田道博・田中正浩両氏が当選

* 神恵内村集中改革プラン (平成一七年度～平成二二年度まで) 策定する

○平成一八年 (二〇〇六)

* 例年になく大雪により豪雪対策本部設置する (一月一日～三月二三日)

* 村立神恵内診療所に廣瀬裕二医師着任し委託診療開始 (二月一六日)

* 村道元町線道路改良工事完成 (二月)

事業費 二四、二五五千元 延長三三二、二一m 幅員四、五九～五、三四m

舗装工一、〇五二m他一式

* 小規模治山事業 (川向 能登地先) 完成 (二月)

事業費 二三、一〇〇千元 切土工・法枠工管理階段他一式

* 後志広域連合設立準備委員会設立総会 (二月二四日)

* アスベスト対策工事 (神恵内小学校) 完成 (二月)

事業費 二、六二五千元 普通教室、特別教室天井塗装他一式

* 神恵内村原子力Q&Aシステム購入 (二月)

事業費 一、八九〇千元 Q&Aシステム一式

* 神恵内村長選挙が告示され高橋昌幸氏が無投票で再選 (二月一四日)

卒新大森トンネル貫通式挙行 (二月二〇日)

* 冬季原子力防災訓練行われる (二月二一日)

* 神恵内村交通安全運動推進委員会に岩内警察署長から讃辞贈呈される (二月二十八日伝達)

* 神恵内村観光パンフレットに携帯電話カメラで読取れるQRコードを掲載完成 (三月)

委託事業費 四、九八七千円 観光パンフレット三万部・ポスター一千部

* 神恵内村助役に松屋有信氏再任 (三月六日)

* 「広報かもえない三月号」記念すべき五〇〇号迎える (第一号・昭和三〇年五月創刊)

* 神恵内村長高橋昌幸氏二期目就任 (三月一七日)

* 昨年九月に第一回を開催した神恵内村漁業協同組合主催の産直キャンペーン「まつこう勝負オスコイ市場」が内山賞奨励賞に輝く (四月)

* 北海道より社会教育主事派遣される (金内聰侍先生・四月一日から三年間)

* 後志グラウンドデザインが了承され、後志広域連合準備委員会発足する (一月)

各町村助役で構成する幹事会 (二月) 及び課長等で構成する九専門部会を設置し検討開始 (五月)

* 北海道漁港漁場協会から漁港愛護優良団体として神恵内漁港期成会が表彰される (四月)

* 温泉九九八ボイラー取替改修完成 (四月)

事業費 二、五二〇千円 温水ボイラー一基 (三〇〇万Cal/h)

* 前浜で実証試験中のウニの食害対策で大量の海藻が繁茂する (他区域に比べm当り五〇倍)

* 第二回「まつこう勝負オスコイ市場」開催 (六月四日)

* 第五四回後志女性大会が漁村センターで開催される (六月四日)

* 電源立地地域対策交付金事業で最後となる第二八回神恵内沖揚げまつり開催される (七月一日～二日)

* 中体連卓球男子団体戦で四連覇を達成し全道大会に出場、決勝トーナメント進出も一回戦で敗退 (八月四日～六日旭川市)

* 珊内川護岸補修工事完成（八月）

事業費 二、五二〇千円 擁壁工延長四九、四m他一式

* パークゴルフ場調整池埋立て工事完成（八月）

事業費 一、七八〇千円 敷地造成工・排水工・芝張工他一式

* 神恵内地区量水器取替え工事完成（八月）三年計画の一年目

事業費 五、九四三千円 量水器取替え一八〇個

*（元）村議会議員（故）金田一清作氏が特旨叙位正六位受章（九月二六日伝達）

* 台風一三号により避難所開設漁村センター、珊内集会所、川白ふれあいセンターに二九名自主避難する（九月一九日）

* 神恵内村村議会議員の定数条例が可決され平成一九年四月の一般選挙より議員定数一〇名から八名に改正される（九月）

* 国道二二九号線道路保全消波工事に伴い赤石二号船揚場（小林の澗）赤石三号船揚場（横岡の澗）廃止する（九月）

* 温泉九九八でレジオネラ菌が検出され九月二〇日から一〇月五日まで営業自粛する

* 津波防災講演会が開催され道内自治体初の「動く津波ハザードマップ」公開（九月二九日）

* 役場庁舎・消防シャッター取替工事完成（九月）

事業費 三、三六〇千円 オーバーライダーニケ所他一式

* 神恵内村教育委員に米田眞一氏が任命され教育長として二期目のスタート（二〇月一日）

* 温泉九九八に電光掲示板板付自動販売機「おしらせ道ねつと」設置される（二〇月）

*（元）村議会議長の羽山守也氏が旭日双光章（自治功労）・保護司の畠中孝三氏が瑞宝双光章（更生保護

功勞)・(前)商工会長岩澤克明氏が黄綬褒章(業務精励)受章(二月)

*日本赤十字社から災害救援車「博愛号」寄贈される(二月七日納車)

*ミドリ安全工業(株)神恵内製甲所が閉鎖(二月二〇日)

*除雪トラック一台購入(二月二二日納車)

購入費 二三、四一五千円 除雪ダンプロック(七トン)一台

*第二六回全国中学生人権作文コンテスト札幌地方大会で神恵内中学校一年生鷹島優樹君が優秀賞(北海道新聞社賞)受賞する(二月二八日伝達)

*小規模治山工事(珊内村能戸地先)完成(二月)

事業費 一五、七五〇千円 土留工・簡易吹付法枠工二七五、四m他一式

*森林管理道珊内線環境改良工事完成(二月)

事業費 一、一五五千円 土羽工八九m・路盤工四〇m・法面保護工他一式

*レストハウス九九八屋根、外壁修繕完成(二月)

事業費 二、五二〇千円 屋根吹替え二二五m・壁張替え一三五m他一式

*村道仲町線道路改良工事完成(二月)

事業費 一九、一一〇千円 延長二五m・幅員四・六m・舗装工七四九m・排水工二七四m他一式

*村道弁天町線道路改良工事完成(二月)

事業費 二〇、七九〇千円 延長一四〇m・幅員七、一・八m・舗装工二、〇五六m・排水工二九九m
他一式

○村内では初の公民パートナーシップ的民間主導アパート(シーサイド浜中)一棟六戸完成(二月)

建築面積二三八、一四m²・延床面積四三二、五四m²他一式(二階二三五、一八m²・二階二〇七、三六m²)

*西ヶ丘団地公営住宅(百六一) 屋根・外壁補修工事完成(二月)

事業費 五、四六〇千円 屋根葺替二二八²m・外壁塗装三一、一²m他 一式

*西ヶ丘団地公営住宅(百六一) 屋根・外壁補修工事完成(二月)

事業費 五、一四五千円 屋根葺替二二四²m・外壁塗装二七八²m他一式

*経営林道川白線改良工事完成(二月二十五日)

事業費 三〇、四五〇千円 法面保護工二、三九三²m・ノンフレーム工二九二²m

簡易吹付け法枠工一、一〇一²m他一式

○平成一九年(二〇〇七)

*異常気象か、昨年の豪雪から一転し一月七日まで積雪ゼロを記録

*村道神恵内中学校線融雪施設設置工事完成(二月一日)

事業費一〇九、六二〇千円 ロードヒーティング(電熱線方式)延長三〇四、五m・幅員六m

アスファルト舗装一、八二九²m・ヒーティング面積一、五〇一²m他一式

*サクラマス漁好調で浜に賑わい戻る(二月)

*交通事故死ゼロ一月二七日で二、五〇〇日達成、北海道知事から感謝状贈呈される(二月三〇日)

*神恵内村地域情報化調査・研究委託事業完成(二月)

業務委託料 五、〇四〇千円 防災行政無線再構築・地上デジタルテレビ放送対応

高速インターネット網構築他一式

*青少年旅行村管理棟新築工事完成(二月二十六日)

事業費 四三、三六五千円 建築工事(木造平屋建)一五四、六三²m・電気設備工事一式

機械設備工事一式

卒一般国道二二九号茂岩、神恵内村間の魚谷大橋（二二四m）・弁財澗大橋（二三〇m）・折石大橋（二八九m）が完成し供用開始となる（三月二日午後二時）

*大森トンネル開通記念イベント「ミツズ・アート・かもえない」開催される（三月四日）

*代表監査委員の米田可知昭氏の辞任（二月二八日付）に伴い、後任に岡田雅之氏が選任される（三月九日）

*大森地区配水管移設工事完成（三月一五日）

事業費 三、四六五千円 硬質塩ビ管八一、四六m他一式

*活魚蓄養センター補修工事完成（三月一五日）

事業費 七九、五九〇千円 屋根工事二三五㎡・壁張替一六五㎡・電灯設備一式・機械設備工事

水槽設備工事（取水・ろ過・冷却・自家発電・滅菌他）他一式

*神恵内村原子力情報メール配信システム完成（三月一九日）

委託料 二、九四〇千円

*大森トンネル開通を祝う集い開催（三月二一日午前一一時）

卒大森トンネル完成（総延長二、五〇九m、内新トンネル一、四八二m）し供用開始となる（三月二一日午後一時）

*赤石第二納税貯蓄組合が設立五〇周年を祝う（三月二五日）

*神恵内村衛生組合連合会解散、明治三九年に組織、永年の活動に終止符となる（三月二八日解散総会）

*地方自治法の一部改正に伴い助役が副村長に、収入役の廃止に伴い会計管理者が設置される（四月一日）

*神恵内村放課後児童クラブ（学童保育）運営開始する（四月九日）

*旭川市（株）北日本開発機構（旭川ロイヤルホテル）社長本間圈二氏から名誉村民（故）本間誠一氏の胸像寄贈される（四月一九日）

* 村議会議員選挙定員八名(二名減)となつて初の選挙執行される(四月二二日投票)

* 後志広域連合一六町村(岩内町・余市町・寿都町除く)で設立される(四月二四日)

* 温泉九九八機械室・給湯管改修工事完成(四月二七日)

事業費 五、〇四〇千円 給湯管改修他一式

* 大森トンネル開通イベント神恵内村観光協会主催の「オスコイ市場」開催(四月二九日)

* 資源物の拡大収集始まる(六月一日)

* フレッツADSL(高速インターネット回線)サービス開始される(六月一八日)

* 中体連男子卓球団体戦で神恵内中学校が五連覇達成(七月一四日)し八月に開催された全道大会で決勝トーナメント進出も敗退する(全道ベスト一二)

* (前)助役(故)米田可知昭氏が特別叙勲瑞宝双光章受章(七月二七日伝達)

* 神恵内松前神楽保存会が東京で開催された「第九回こども民族芸能大会」に出演する(七月二九日)

○二棟目の民間主導アパート(リバーサイド川向)一棟六戸完成(七月)

建築面積二三八、一四㎡・延床面積四三三、五四㎡(二階二二五、一八㎡・二階二〇七、三六㎡)

* (前)村議会議員(故)阿部一氏が特別叙勲旭日单光章受章(八月二日伝達)

卒二〇〇七第二一回ツール・ド・北海道国際大会第一ステージ(小樽市・岩内町)トーマル峠・市街地を疾走する(九月一二日)

* 神恵内地区量水器取替え工事完成(八月)三年計画の二年目

事業費 五、五六五千円 量水器取替え一五七個他一式

* 神恵内水産共同作業所改修工事完成(九月七日)

事業費 三、五七〇千円 外壁全面塗装面積七一四㎡・オーバースライダ取替他一式

*茶屋町橋フード塗装工事完成（九月一〇日）

事業費 一、七八五千円 フード塗装工事他一式

*神恵内中学校耐震改修工事完成（九月一四日）

*神恵内村敬老会の開催を四箇所から一箇所に統合して開催する（九月一四日）

*第四八回後志地区母子寡婦福祉研修大会が漁村センターで開催される（九月二〇日）

*ゴミの有料化実施される（一〇月一日）

・指定ゴミ袋（燃やせるゴミ用・燃やせないゴミ用）

ゴミ処理券（二枚）一〇〇円

五リットル（二〇枚入）一五〇円

一〇リットル（二〇枚入）三〇〇円

二〇リットル（二〇枚入）六〇〇円

四〇リットル（五枚入）五〇〇円

○日本郵政公社が一〇月から民営化され日本郵政株式会社に、現在の郵便局は窓口業務と貯金保険の募集・

集金業務を担当する「神恵内郵便局」と、郵便物の配達・取集・集荷などのみを担当する「神恵内配達セ

ンター」に分社となる

*無火災ゼロ九五二日（平成一七年三月二九日）で途切れる（一一月六日車両火災発生）

*川白出身の書家若山象風氏が「書のライブ」を故郷で初めて開催する（一一月九日）

*小規模治山工事（鷹島地先他）完成（一一月一五日）

事業費 一八、六九〇千円 土留工延長一一m・暗渠工延長一一五m・法枠工四六二、四m他一式

*ロータリ除雪車一台購入（二一トン）（一二月二九日納車）

購入金額 一六、〇八九千円

*村道弁天町線道路改良工事完成(二月二五日)

事業費 二三、六二五千円 延長一八〇、五m・幅員五m²七m²・舗装工一、一二四m²他一式

*村道恵比寿町線道路改良工事完成(二月二五日)

事業費 一四、九一〇千円 延長一一四、三m・幅員六、一²七、八m²・舗装工七四八m²他一式

○三棟目の民間主導アパート(ヒルサイド横瀬)二棟六戸完成(二月)

建築面積二三八、一四m²・延床面積四三三、五四m²(二階二三五、一八m²・二階二〇七、三六m²)

○平成二〇年(二〇〇八)

*冊内集会所増築工事完成(一月一八日)

事業費 二九、三五八千円 鉄筋コンクリート造 増築面積八〇、四一六m²

○岩内警察署の新しい神恵内駐在所が完成し、開始式行われる(二月一七日)

*冊内地区浄水場改築工事完成(三月六日)

事業費 二三七、三〇〇千円 鉄筋コンクリート造(地下一階・地上二階) 面積一九三、〇二m²

急速ろ過処理施設・計装機器他一式

*資源物等収集用トラック一台(平ボデートラック二トン車)購入(三月一四日納車)

購入金額 三、七五四千円

*冊内浄水場通水式挙行(三月三一日)

卒後期高齢者医療制度スタートする(四月一日)

*昭和二七年以来となるニシン七〇〇キロ漁獲される(四月九日)

*ニシン約二トン漁獲される(四月一日)

*中国大連市長海県小長山郷一行、一一名が来村し、村内の水産施設、温泉九九八他施設視察（四月一七日）
*北海道電力から泊発電所における原子炉施設の一部変更・プルサーマル計画の事前協議申入れ（四月一八日）

*ニシン漁獲量四月二五日現在で三、六トン・金額一、七〇〇千円となる

*トヨタハイエース一台購入（二〇人乗り）（四月三〇日納車）

購入金額 二、九九〇千円

*第三町内会納税貯蓄組合が設立五〇周年を祝う（六月一日）

*待望のニシン稚魚三〇万尾放流される（六月二日）三日堀株海岸）

*交通事故致死ゼロ三、〇〇〇日達成、交通安全住民総決起大会開催（六月一〇日）

*統計調査員干場賢太郎氏が藍綬褒章（漁業センサス調査員）受章（六月一二日伝達）

*旭川市（株）北日本開発機構代表取締役社長本間圈二氏（名誉村民故本間誠一氏孫）から神恵内中学校二年生が旭川ロイヤルホテルの宿泊研修招待を受ける（六月一八日）二〇日）

*第三〇回沖揚げまつり開催される（七月六日）

*北海道洞爺湖サミット開催される（七月七日）九日）

*AED（自動体外式除細動器）八台・分離式担架八台小中学校・各集会所他に配備される（七月二九日納入）

購入金額 一、六五九千円

*神恵内地区量水器取替え工事完成（七月二五日）三年計画の最終年

事業費 二、七三〇千円 量水器取替え 五三個

*岩内地方暴力追放運動協議会から青色回転灯二個寄贈される（七月三〇日）

*西ヶ丘団地公営住宅（百六の二）浄化槽改修工事完成（七月三一日）

工事費 六、〇四八千円 合併処理方式浄化槽（二人槽）他一式

*交通事故死ゼロ三、〇〇〇日達成記念事業「村民ふれあいの集い」開催され、北海道警察音楽隊・カラーガード隊のパレード他実施される（八月二十四日）

*道の駅「オスコイーかもえない」（夕イビングパーク大森）解体工事完成（八月二十九日）

工事費 四九、五六〇千円 本体、プール他解体一式

*青少年旅行村コテージ屋根外壁塗装工事完成（八月二十九日）

工事費 七、一四〇千円 コテージ二棟 屋根、外壁塗装一式

*青少年旅行村イルミネーション解体工事完成（九月）

工事費 一〇五千円

*神恵内村津波避難訓練・防災講演会開催（九月二二日）

*交通事故死ゼロ三、〇九五日でストップする（九月一四日）トーマル峠熊追シエルター内でオートバイの単

独死亡事故発生）

*第四八回後志特別支援学級児童生徒の集いが神恵内中学校で開催される（九月一七日）

*平成一九年度決算の財政健全化判断比率において良好な状態と認められ村議会に報告される（九月一八日）

*神恵内村遺族会解散する（二〇月二八日）昭和二一年七月設立以来、六二年間の活動に終止符

*神恵内村長期総合振興計画（平成二二年度～三一年度）策定に係る住民意識調査始まる

*巻刈橋主桁塗装工事完成（二〇月二四日）

工事費 二、〇七九千円

*西ヶ丘団地公営住宅（百八）屋根・外壁改修工事完成（二一月二五日）

工事費 七、六六五千円 屋根改修二二八²m・外壁塗装三一²m他一式

*神恵内村役場庁舎内部改修工事完成（二一月二五日）

工事費 二、三七〇千円 壁張替え他一式

*小規模治山工事（鷹島地先他）完成（二月二八日）

工事費 一八、三〇九千円 法枠工二〇二㎡・伏工・土留工・タラップ他一式

*神恵内村役場庁舎屋根・外壁補修工事完成（二月二八日）

工事費 一九、六三五千円 外壁改修・屋根板金・防水・電気機械（Fストープ含む）他一式

*古宇三漁協（神恵内村・盃・泊村）合併契約仮調印式（二月一日）新組合名 古宇郡漁業協同組合

*村道浜町線道路改良工事完成（二月二六日）

工事費 三一、〇八〇千円 延長三〇〇m・幅員三m〓七m・舗装工一、五六〇㎡他一式

*村道恵比須町線道路改良工事完成（二月九日）

工事費 七、四五五千円 延長六六m・幅員六、一m〓七、八m・舗装工四一三㎡他一式

*国の地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金を活用し、全村民に温泉入浴券一人当り一〇枚配布する（二月二四日）

*国の地域活性化・緊急安心実現総合対策交付金を活用し、燃油高騰に伴う生活支援対策として、老人・寡婦・身障者等に福祉灯油扶助費（特例加算）一万円追加支給する（二月）

○平成二十二年（二〇〇九）

*全国学生書道展覧会で神恵内中学校の長谷川匠君、佐藤友美さんが第四〇回記念賞受賞する（二月十七日）

*第一〇納税貯蓄組合が設立五〇周年を祝う（二月二二日）

*村議会原子力発電所対策特別委員会が開催され泊発電所三号機に係るプルサーマル計画が全会一致で承認される（二月二九日）

*じん芥収集車一台更新（二月三〇日納車）

購入費 一三、一一八千円 四トン車四輪駆動トラック

*神恵内村オリジナルカップ麺（カップうどん）完成（二月二三日納品）

業務委託料 一三、九八六千円 五万個 村内各戸配布【二人当り六個】

*泊発電所三号機における原子炉施設の一部変更・プルサーマル計画について、議員協議会の席上で事前了解表明する（二月二六日）

*泊発電所三号機におけるプルサーマル計画の事前了解について、岩宇四町村長が北海道知事に対し報告する（二月二八日）

*国の地域活性化・生活対策事業を活用し、村が全村民に一人当たり地域商品券一万二千円配布する（三月二日）

※北海道知事が北電泊三号機のプルサーマル計画について受け入れ表明する（三月三日）

*北海道電力（株）に対し、泊発電所における原子炉施設の一部変更について五者で各々回答する（三月五日）

*低炭素社会普及啓発車両トヨタプリウス一台購入（三月一三日納車）

購入価格 三、三六〇千円

※国が生活支援と地域の経済対策を目的とした「定額給付金」事業で、六五歳以上と一八歳未満は一人二万円・それ以外は一人一万二千元支給される（三月一九日）

*シヨベルローダー二台購入（三月二四日納車）

購入価格 五、三五五千円

*神恵内村歯科診療所にデジタルレントゲン装置、心電計、歯科用実体顕微鏡、往診用ユニット他医療機器購入（三月一九日納入）

購入価格 八、七〇四千円

* 役場の執務時間午前八時四五分から午後五時三〇分に変更となる（四月一日）

* 神恵内村ふるさと応援基金条例制定される（四月一日）

* 古宇郡漁業協同組合発足する（四月一日）

本所 古宇郡泊村大字泊村四九番地三六地先（代表理事組合長 池森 力氏）

* 今年も春ニシン約二トン水揚げされる（四月四日）

* 村立神恵内診療所に電子内視鏡システム、汎用型超音波診断装置、デジタルX線画像診断システム、心電計購入（四月二四日納入）

購入価格 一八、七二一千元

* 神恵内村商工会創立（昭和五四年創立）三〇周年記念式典開催する（五月一日）

* 昨年に引き続きニシン稚魚三〇万尾放流される（五月一日）～一五日堀株海岸

卒「積丹半島」の作詞家 石本美由起先生逝去する（五月二八日）

* 神恵内村防災行政告知放送設備・テレビ地上デジタル放送設備工事着工する（六月二六日）

工事費 二六一、四五〇千円 鉄塔六箇所、IP電話五〇七台、光ケーブル布設一式

工期 平成二二年一〇月二九日までの二年間

* 冊内サクラマス幼魚飼育場飼育池改修工事完成（六月三〇日）

工事費 四、三〇五千元 飼育池改修他一式

* 冊内サクラマス幼魚飼育場に飼育池掃除機一台納入（六月三〇日）

購入費 一〇、四八九千円

* 公共駐車場（冊内地区）整備工事完成（六月二〇日）

工事費 七、七七〇千円 路盤工六一三㎡・舗装工六〇九㎡・排水工四二m他

*診療所前及び漁村センター前融雪施設設置工事完成（六月三〇日）

工事費 一〇、一八五千円 路盤工一七四㎡・舗装工一六七㎡・ヒーティング布設工他一式

*公共駐車場（仲町線沿い外）整備工事完成（六月三〇日）

工事費 五、六七〇千円 路盤工六三二㎡・舗装工六二五㎡他一式

*公共駐車場（役場前）・ちびっこ公園整備工事完成（六月三〇日）七月一日オープンする

工事費 一七、八五〇千円 路盤工三八九㎡・舗装工三八一㎡・擁壁工・公園工他一式

*ピアニストの西村由紀江さん五度目の来村、神恵内小学校でミニコンサート開催する（七月一七日）

*後志卓球選手権（カデットの部一四歳以下男子シングルス）で大井雄貴君が優勝し全道大会出場する（七月二〇日）

*川白地区水量水器取替工事完成（七月二一日）

工事費 一、六八〇千円 水量水器取替 四三個

※北海道開発局による前浜の磯焼け対策等事業「北海道に豊富なバイオマスから生成した生分解性素材の地域内利用に関する調査」開始される（七月～二年間）

*神恵内第二水産共同作業所改修工事完成（八月五日）

工事費 一、三四四千円 外壁塗装一六七、八㎡他一式

※北海道市町村振興協会設立三〇周年記念特別支援事業で地上デジタル放送対応テレビ寄贈される（八月一

九日納品） 四六V型 二台 ・ 三二V型 六台

*平成二〇年度財政健全化四指標【実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率】についてすべて良好と評価される（九月一五日）

※第四五回衆議院議員総選挙で民主党が圧勝し政権交代となる（九月）

* 村立神恵内診療所廣瀬裕二医師退任する（九月三〇日）

* 珊内村有住宅改修工事完成（九月三〇日）

工事費 二、一〇〇千円 外壁工二二㎡・駐車場一四六㎡他一式

* 村立神恵内診療所に特別医療法人恵和会西岡病院・特定医療法人欄友会里塚病院・医療法人禎心会新札幌敬愛会病院から医師派遣される（一〇月一日）

* 北海道電力（株）より泊発電所一号機の営業運転開始から二〇年を記念しトヨタ新型プリウス一台寄贈される（一〇月二〇日）

* 地震・津波に対する住民避難訓練実施（一〇月二〇日）

卒ほくでん文化講演会が松永俊之さん・あき竹城さんを迎え開催される（一〇月二二日）

* 神恵内村と北海道コカ・コーラボトリング株式会社による「災害対応型自動販売機の協働事業に関する協定書」の手交式実施（十一月三日）

* 神恵内村納税貯蓄組合連合会が創立五〇周年を祝う（十一月二七日）

* 森林管理道川白線環境改良工事完成（十一月三〇日）

工事費 一、八九〇千円 切土工二七九㎡・法面保護工二七九㎡他一式

* (旧)寄宿舎（神恵内小中学校寄宿舎・昭和四〇年竣工）解体工事完成（十一月三〇日）

工事費 五、二五〇千円 解体工一式

* 神恵内村観光センター（温泉竜神荘）解体工事完成（十一月三〇日）

工事費 一四、一七五千円 解体工一式

* 村道文明町線・川原町線道路改良工事完成（十一月三〇日）

工事費 一〇、七一〇千円 路盤工四〇二㎡・舗装工四〇二㎡・排水工一七五、三㎡他一式

*村道梅ヶ枝町線・堤町線道路改良工事（二月三〇日）

工事費 一五、七五〇千円 路盤工八七五[㎡]・舗装工八七五[㎡]・排水工二一四、四^m他一式

*村道長屋沢町線融雪施設設置工事完成（二月三〇日）

工事費 四三、八九〇千円 路盤工六三一[㎡]・舗装工六七六[㎡]・ヒーティング布設工（電熱方式）

他一式

*小規模治山工事完成【赤石集会所・蛇沼・綿谷・松館地先】（二月三〇日）

工事費（設計変更）二九、六八九千円 土留工六七、九^m・水路工三三^m・伏工（張芝）三〇[㎡]

他一式

*住民自ら災害時の避難路を考える「災害に強い村づくりワークショップ」が珊内自治会・第九町内会をモ

デルに開催される（二月一日・八日）

*西ヶ丘団地公営住宅（百九）屋根・外壁改修工事完成（二月七日）

工事費 七、四五五千円 屋根改修二二八[㎡]・外壁塗装三五二[㎡]・バルコニー防水二三、九[㎡]

*赤石地区駐車場整備工事完成（二月八日）

工事費 三、二八六千円 路盤工三〇五[㎡]・舗装工三〇五[㎡]・排水工（U型トラフ）他一式

浮泊原子力発電所三号機（PWR・九一万二千kW）営業運転開始される（二月二二日）

○平成二二年（二〇一〇）

*神恵内村地域防災計画・神恵内村水防計画（全面修正）策定（二月）

*漁村センター及び診療所駐車場整備工事完成（二月二二日）

工事費 一九、七四〇千円 路盤工一、四五六[㎡]・舗装工一、四五六[㎡]・排水工（U型トラフ）

一〇二m他一式

* 珊内川樋門改修工事完成（二月一九日）

工事費 六、一四二千円 樋門工他一式

* 交通事故致死ゼロ五〇〇日達成する（二月二七日）

* 神恵内村道の駅建設工事完成（二月二九日）

建築主体工事費 八二、四二五千円 鉄筋コンクリート造平屋建 床面積二四六、四二m²

（建築面積二六一、一四m²）トイレ他一式 機械設備工事費 二七、八二五千円

浄化槽設備、給水設備、衛生器具設備一式 電気設備工事費 一七、五三五千円

電灯設備、動力設備、警報機設備他一式

* 観測史上最低気温更新マイナス一三、一度C記録する（二月三日）二月二日から六日までの五日間連続マイナス一〇度C以下を記録

* 神恵内村長選挙が告示され村長高橋昌幸氏が無投票で三選果たす（二月一六日）

* 国の地方再生戦略及び経済危機対策として「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」事業で地域商店の活性化をはかるため商工会発行の商品券を全村民に一人当り一万二千円を配布する（二月一七日配布一、〇

八〇人 三月二三日完了）

* 神恵内小学校校情報通信技術環境整備工事（二月二三日）

工事費 九五五千円 校内LAN構築配線等一式

* 神恵内中学校校情報通信技術環境整備工事（二月二三日）

工事費 九四五千円 校内LAN構築配線等一式

* 神恵内小学校校情報通信技術環境整備事業（二月二五日）

事業費 六、一七四千元 情報機器・デジタルテレビ購入

*神恵内中学校学校情報通信技術環境整備事業（二月二五日）

事業費 五、五四四千元 情報機器・デジタルテレビ購入

*村立神恵内診療所医療機器購入（二月二六日）

購入費 六、九三〇千円 デジタル無散瞳眼底カメラ一式・超音波骨評価装置一式多機能心電計一式

酸素吸入救急医療セット・小型全自動高圧蒸気滅菌器一式・ストレッチャー他一式

*神恵内村副村長に松屋有信氏三期目再任（二月一日）

*神恵内村総合振興計画基本構想策定する（二月一日議決）平成二二年度（平成三二年度まで）（二〇年間）

○札幌神恵内会設立第六〇回を迎える（三月一三日）

*神恵内村長高橋昌幸氏三期目就任（三月一七日）

*トヨタエスティマハイブリッド一台購入（二月一九日納車）

購入費 四、〇六〇千円

*神恵内村防災行政告知放送設備・テレビ地上デジタル放送設備（平成二二年度分）工事完成（平成二二年

三月二三日）

工事費 二二九、〇七四千円 光ファイバー伝送設備・告知放送設備ネットワーク設備

地上デジタル放送無線共聴設備他一式

*神恵内村漁村センター改修工事完成（三月二五日）

建築工事費 三六、四三五千円 外壁七八七㎡・床八八・四㎡ 電気設備工事 一、八六九千円

電気設備一式 機械設備工事 一三、九六五千円 エレベーター設備他一式

*神恵内村総合振興計画策定支援委託業務完成（三月二五日）

委託金額 二、五二〇千円 A四判出力紙三部・電子データ一式

* 村立神恵内診療所に池田典康医師着任し委託診療開始する(四月一日)

※ 北海道の支庁制度改革に伴い後志支庁が後志総合振興局に変更となる(四月一日)

* 川白船主部会が漁港愛護運動優良団体特別表彰を受賞(四月二二日)

* 神恵内村観光情報センター【道の駅オスコイーかもえない】落成式挙行(四月二三日)

ニシン街道標柱除幕式(四月二三日)

・道の駅「オスコイーかもえない」オープンイベント四月二四日開催

* 今年で三年目ニシン稚魚三〇万尾放流される(五月一七日～一八日堀株海岸)

* J A 共済連北海道から交通安全指導車(スバルインプレッサ一台 四WD 一五〇〇CC)寄贈される(五月二七日納車)

* 神恵内村役場庁舎前駐車場整備工事完成(六月二二日)

工事費 二、一〇〇千円 コンクリート舗装工四二㎡・アスファルト舗装工一三六㎡他一式

* (元) 神恵内村議会議員稲葉光雄氏が旭日単光章受章(六月二五日伝達)

* 神恵内地区消火栓取替工事完成(六月二五日)

工事費 一、三六五千円 消火栓二基

* 温泉九九八源泉改修工事完成(六月三〇日)

工事費 七、八七五千円 源泉揚湯管交換、パッカー取付け、コイルチューピング交換他一式

* ウニ漁が磯焼け等餌不足で記録的な大不漁となる(六月～八月)

* 神恵内村防災行政IP告知放送運用開始する(七月一日)

* 七月二九日の低気圧による記録的な豪雨で災害発生 二四時間で神恵内雨量局一八九mm・赤石雨量局一

九五m・最大時間雨量三五m記録する

神恵内地区・赤石地区・珊内地区併せて一六三世帯・避難者二九三人

大森〱珊内間（キナウシ川氾濫）通行止（八月五日午前九時解除）

床上浸水一世帯・床下浸水二五世帯 卷淵橋被災、河川公園・ゲートボール場被災、大森川、オネナイ川

護岸決壊・エドヤ沢川他氾濫他

*珊内地区量水器取替工事完成（七月三〇日）

工事費 一、九九五千元 量水器取替五四個

*神恵内青少年スポーツセンター屋根・外壁補修工事完成（八月一〇日）

工事費 三六、二二二千元 屋根板金一、一七二㎡・壁塗装六四〇㎡・電気設備他一式

*村道神恵内中学校線歩道融雪施設設置工事完成（八月二〇日）

工事費 一八、九〇〇千円 路盤工四四五㎡・舗装工四四五㎡・ヒーティング設備工他一式

*役場庁舎ボイラー改修工事完成（八月二〇日）

工事費 五、〇四〇千円 暖房機一台・灯油タンク一基（九五〇ℓ） 他一式

*藻場LAND（海の森林づくり）プロジェクト協賛企業の募集スタートする（八月）

総面積一、〇〇〇㎡造成 一口五〇万円

*村内最高齢の小笠原なみさんへ百歳（満年齢）を祝い内閣総理大臣から賞状が贈られる（九月二四日）

*川白出身で書家の若山象風氏が三年ぶり二度目の「書のライブ」開催（九月二日）

*神恵内村教育長米田眞一氏任期満了となる（九月三〇日退任 二期八年間）

*神恵内村教育長に岩田好美氏選任される（二〇月一日）

*国勢調査の日（二〇月一日）

*神恵内村無線共聴施設（ギヤップファイラー）正式運用開始（二〇月一日）

*七月二九日発生した豪雨で災害復旧に貢献された九事業者へ感謝状贈呈（二〇月五日）

*神恵内村藻場 L A N D プロジェクト事業オープニングセレモニー開催（二〇月二五日）

*神恵内村防災行政告知放送設備・テレビ地上デジタル放送設備（平成二二年度分）工事完成（平成二二年一〇月二九日）

工事費 三二、三七五千元 受信アンテナ・送信アンテナ・引込開閉器・光送信機・電源ケーブル・光ケーブル他一式

*神恵内村地域防災訓練（土砂災害を想定した避難訓練）実施（二一月二日）

早泊発電所の原子炉設置変更許可（ブルサーマル等に関する）される（二一月二六日）

*「いい風呂の日」（二一月二六日）村内各温泉無料開放一年目 利用者数 温泉九九八〇二一八名
 珊内ぬくもり温泉〆五八名

*森林管理道川白線環境改良工事完成（二一月三〇日）

工事費 一、九三二千元 切土工・法面保護工面積二四八・四二㎡他一式

*小規模治山災害復旧工事（兵藤地先）完成（二二月一五日）

工事費 三、八三二千元 土留工延長一八、五m他一式

*神恵内中学校生徒会がペットボトルの蓋を集め途上国の子供たちに感染症予防のワクチンを送る運動として五万个（ワクチン約六〇人分相当）回収する（二二月二日）

*村道神恵内小学校線融雪施設設置工事完成（二二月二四日）

工事費 七〇、二四五千元 ロードヒーティング工（電熱方式）一九五m 幅員四、二m〆六、三八m
 舗装工九七七㎡・道路改良八四、九m・幅員四m〆四、五m・舗装工三九〇㎡他一式

卒一般国道二二九号茂岩・神恵内村間最後の尾根内大橋（二〇〇m）が完成し供用開始となる（二月二八日午前一時）

○平成二十三年（二〇一一年）

*例年のない大雪となる（二月～三月）

*国の「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」の「きめ細かな交付金」事業を活用し商工振興対策事業として商品券を村民一人当たり一万二千円配布する（二月九日）

*神恵内第八納税貯蓄組合が設立五〇周年を祝う（二月一三日）

*神恵内村藻場LANDプロジェクト事業でコンブなど海藻の繁茂状況が良好となる（三月）

*（元）神恵内村議会議員菅原勘太郎氏が旭日单光章受章（三月一日伝達）

*温泉九九八・珊内ぬくもり温泉でレジオネラ菌が検出され三月三日から三月一四日まで営業自粛する

早東北関東地方で三月一日午後二時四六分頃史上最大規模M九、〇の大地震・大津波発生、未曾有の大災害となり各地域を飲み込み一八、〇〇〇人超の死者・行方不明者がでる

神恵内村でも津波警報発令で赤石地区を中心に神恵内中学校体育館へ避難する

福島第一原子力発電所一号機～四号機も大津波を受け甚大な被害、冷却機能が損傷し大量の放射性物質が放出され半径二〇km圏内の避難、半径二〇km～三〇km圏内は屋内避難指示が出される

*神恵内村から東日本大震災被災地にマスク七二〇枚・アルコール消毒液五〇リットル贈る（三月一八日）

*全国瞬時警報システム整備工事完成（三月二五日）

工事費 八、一六九千円 瞬時警報システム他一式

*高齢者・障害者等移動訪問車両購入（三月二五日納入）

購入費 二、二七八千円 トヨタプリウス一台

*サクラマス幼魚飼育場取水施設災害復旧工事完成 (三月二十五日)

工事費 五、一九七千円 護岸工延長三一、〇六m他一式

*村道長屋沢町線道路災害復旧工事完成 (三月二十五日)

工事費 七、二四千円 ブロック舗装工延長三六m 面積一、二二m²

*神恵内村から東日本大震災被災地へ義援金三〇〇万円を贈る (四月八日)

*今年もニシン約一四トン水揚げされる (四月～五月)

*神恵内村在住小笠原なみさん満一〇〇歳になり村から祝い金二〇万円贈呈する

*神恵内小・中学校で虫歯予防の「フッ化物洗口」始まる (四月)

*後志中学校卓球大会の男子団体で準優勝、個人戦で林太陽君、高橋峻人君の二名が優勝する (五月八日)

*北海道が今年から三年間で計一二〇万尾のニシン稚魚放流することに決定

初年度四〇万尾のニシン稚魚放流される (五月一六日～一七日・六月一日～二日堀株海岸)

*神恵内小学校・神恵内中学校の合同運動会が四十五年振りで盛会に開催される (六月五日)

*神恵内村のマスコットキャラクター「どらごん太」の携帯ストラップ販売始まる (六月)

*交通事故致死ゼロ一、〇〇〇日達成 (二〇年九月一日～二三年六月一二日) 北海道交通安全推進委員会から表彰状伝達される (六月一三日)

*公有地広場四阿設置工事完成 (六月二四日)

工事費 三、二五五千円 四阿設置工他一式

*軽トラック一台購入 (六月二八日納車)

購入価格 一、二六〇千円 ダイハツハイゼット一台

*神恵内村藻場LANDプロジェクト事業コンプ等繁茂良好で完了 (六月三〇日)

委託事業費 一二、四九二千元 藻場造成一、〇〇〇㎡（二五m×四〇m）一区画五m×八m（二五区画）

*村道茶屋町線道路災害復旧工事完成（六月三〇日）

工事費 一四、八〇五千元 コンクリート根継工延長五三m・根固工（二トン）八二個他一式

*大森川河川災害復旧工事完成（六月三〇日）

工事費 二〇、五五九千元 コンクリート擁壁工延長二九m・盛土他一式

*オネナイ川河川災害復旧工事完成（六月三〇日）

工事費 三、四六五千元 コンクリートブロック積工面積五五㎡他一式

*古宇川河川公園災害復旧工事完成（六月三〇日）

工事費 一二、九七八千元 ゲートポール場工二面一式・園路広場整備工他一式

*第三三回沖揚げまつりが開催され二年ぶりに歌謡ショーが復活し大勢の来場者で賑わう

神恵内村出身の書家若山象風氏による「書道ライブ」で震災復興を願う「夢」「絆」の文字を揮毫する（七月三日）

*神恵内第七納税貯蓄組合が設立五〇周年を祝う（七月六日）

*集中豪雨で赤石地区住民に避難勧告発令 一六世帯二一名神恵内中学校体育館へ避難する（七月二四日）

一時間当り三九、五m観測史上最大を記録 床下浸水三件 卷淵橋（仮橋）流失他

*神恵内村立診療所・医師住宅等改修工事完成（七月二〇日）

工事費 一二、二八五千元 建具改修一式・ポーチ改修一式・車庫改修一式・屋外階段改修他一式

*後志卓球選手権大会（カデットの部）一四歳以下男子シングルスで神中二年高橋峻人君が優勝する（七月二三日）

*（元）神恵内消防団長三浦信男氏が瑞宝双光章受章・平井うめ氏が統計功勞で藍綬褒章受章（七月二六日伝達）

*赤石地区量水器取替工事完成（七月二十九日）

工事費 二、二八九千円 量水器取替五四個他一式

*神恵内地区消火栓取替工事完成（七月二十九日）

工事費 一、五三三千円 消火栓二基他一式（村田裕宅横・ツボ石）

*珊内ぬくもり温泉屋根防水改修工事完成（七月二十九日）

工事費 二、四六七千円 屋上防水シート改修工他一式

*神恵内中学校体育館トイレ改修工事完成（八月三〇日）

工事費 一、〇三九千円 トイレ改修一式

*卷淵橋橋梁災害復旧（工場製作）工事完成（八月三〇日）

工事費 一、四四五千円 橋梁部工場製作工延長二七、六m

*神恵内村役場庁舎LED照明取替工事完成（八月三一日）

工事費 一〇、二九〇千円 庁舎内LED照明取替工他一式

*古宇郡漁業協同組合神恵内支所が潜水器漁業でナマコ三一、八トン水揚げする（六月二三日着手）八月終了）

*九月二日台風一二号接近により大雨警報が発令され災害警戒本部設置

九月四日に総雨量二一三mmの観測史上最大を記録する

九月六日には台風一二号の記録的大雨により赤石地区他住民一四世帯二一人が神恵内中学校体育館に避難する 降り始めの一日午後三時から六日午後三時まで三〇四、五mmを記録する

*神恵内浄水場浄水濁度計取替工事完成（九月一五日）

工事費 三、〇六六千円 濁度計一台他一式

*神恵内浄水場水位計取替工事完成（九月一五日）

工事費 一、九九五千元 水位計二台取替他一式

*神恵内村総合グラウンド改修工事完成(九月二〇日)

工事費 二一、〇〇〇千円 整備面積九、七六三㎡・掘削工・路床整正工・表層工他一式

*総合グラウンドリニューアル記念ソフトボール大会が小中学生など村民八〇名参加して開催される(九月二三日)

*小樽・後志社会福祉大会が漁村センターで二七〇名出席して開催される(九月二七日)

*高齢者安心見守りシステム緊急通報装置機器購入事業完成(九月三〇日)

購入費 一、九四二千円 首掛け用発信器四〇台 受信器三〇台他一式

*神恵内小学校屋上防水シート改修工事完成(九月三〇日)

工事費 九、八七〇千円 屋上防水設備工他一式

*ふるさとの森づくり事業でパークゴルフ場横にヤエザクラ一〇本植樹する(二〇月五日)

*七月一四日の豪雨災害における復旧支援(海上流木処理支援)で岩内町(株)吉本組へ村から感謝状贈呈する

(二〇月一日)

*村有住宅解体工事完成(二〇月一四日)

工事費 一、二〇七千円 二棟(九班・川白旧教員住宅)

*神恵内小学校体育館音響設備購入(二〇月一三日納入)

購入費 一、四六七千円 可搬式音響設備一式(ランプ・スピーカー他)

*神恵内村藻場LANDプロジェクト事業 第二期造成オープニングセレモニー及び藻場観察会「開催する(二〇月二〇日)

*役場庁舎改修工事完成(二〇月二五日)

工事費 二、九四〇千円 窓ブラインド工・床カーペット・トイレ改修他一式

*西ヶ丘（ビルサイド横溝）公有地駐車場整備工事完成（二〇月二八日）

工事費 二、一五二千円 舗装工面積二二九㎡・排水構造物工他一

*国勢調査人口等基本集計結果が公表され人口一、一二二人【男五〇三人・女六一九人】（▲二四、九％）
四七三世帯（▲二二、七％）と確定する（二〇月二六日公表）

*災害対策用エンジン付ポンプ二台購入（二〇月三一日）

購入費 七九八千円 ツルミTED二の一〇〇R（泥水用）サクシオンホース・サニーホース
他一式

*珊内集会所屋上防水改修工事完成（二〇月三一日）

工事費 三、六七五千円 屋上防水面積二〇〇㎡他一式

*高齢者安心見守りシステム構築委託業務完成（二〇月三一日）

委託料 九四五千円

*村道茶屋町線道路災害復旧工事完成（二〇月三一日）

工事費 四、三五七千円 路盤工延長六〇m・面積四〇六㎡他一式

*卷淵橋橋梁災害復旧（床版打換）工事完成（二〇月三一日）

工事費 一〇、五七三千円 床版工延長二〇、二m 幅員二、五m他一式

*卷淵橋橋梁災害復旧工事完成（二〇月三一日）

工事費 二五、六九三千円 復旧延長二七、七m・下部工（逆T式橋台）一基
コンクリートブロック積工（練積）面積二二一㎡・根固工（二トン）二四個他一式

*後志少年少女卓球大会の男子個人で神中卓球部の林太陽君が優勝する（二一月三日）

* 漁村センター暖房用配管設備改修工事完成（二月一五日）

工事費 七、八三三千元 暖房用設備改修他一式

* 漁村センター風除室等改修工事完成（二月一五日）

工事費 六、八七七千元 外壁改修・自動ドア取替・ガラス張替え他一式

購入価格 三、三〇七・五千元

* 村道茶屋町線光ケーブル地中化工事完成（二月二二日）

工事費 一、四一七千元 管路工五〇m 光ケーブル埋設延長五八m他一式

* ショベルローダー一台購入（二月二五日納車）

* 小規模治山工事（小林地先）完成（二月二五日）

工事費 一四、九一〇千元 土留工延長三九・七m・落石防止網布設工面積一三〇・八m²

赤石村佐藤宅裏面積一七七・二m²

* 後志小中学生卓球大会中学一年個人の部で大井一輝君が優勝する（二月四日）

* (旧)開発除雪センター（ツボ石）購入する（二月二二日）

・ 土地 古宇郡神恵内村大字神恵内村字ツボ石四五番二 面積二、〇三八・一一m²

・ 建物 車庫二九八・〇八m² 機材庫五〇m²

購入費 二、一六五千元

* 西ヶ丘団地公営住宅屋根・外壁改修工事完成（二月二〇日）

工事費 七、一四〇千元 H一一年棟屋根・外壁改修工他一式

* 村道赤石山の上線道路改良工事完成（二月二二日）

工事費 五五、六五〇千元 舗装工延長五七〇m・幅員六・五m・歩道延長三〇八m歩道幅二m

防護柵工・排水工他一式

○平成二四年(二〇二二)開村一四〇年

*学校給食共同調理場ボイラー改修工事完成(二月一六日)

工事費 七、〇三五千円 貫流式ボイラー一基取替他一式

*森林整備加速化・林業再生事業完成(二月三一日)

委託事業費 八、〇二二千円 九林班(大川林道沿線)村有林間伐三三、六ha一式

*川白納税貯蓄組合・珊内納税貯蓄組合が設立五〇周年を祝う(三月五日)

*小樽後志管内中学校団体戦(男子)卓球選手権大会で優勝する(三月一八日)

*神恵内村総合行政システム更新委託業務完成(三月二一日)

委託事業費 二一、〇〇〇千円

*非常用持ち出しセット購入(三月二一日納入)

購入費 二、二〇五千円 非常用持ち出しセット五五〇セット・非常食一、〇〇〇食

給水タンク(折り畳み式)一〇L、一六L各五〇個

*非常用飲料水購入(三月二一日納入)

購入費 一一一十千円 非常用飲料水五〇〇ミリリットル一、〇〇八本・二リットル一〇二本

*神恵内村歯科診療所新築工事完成(三月二二日)

建築工事費 四五、二五五千円 壁式鉄筋コンクリート造二階建 建築面積一二九、三四㎡

延床面積二五一、六㎡他一式

機械設備工事費 一〇、一八五千円 機械設備工一式

電気設備工事費 九、一七七千円 電気設備工一式

*防災用衛星携帯電話・アナログ電話機接続機器他二セツト購入 (三月二三日納入)

購入費 七九八千円

*神恵内村オリジナルカップ麺開発製造委託完成 (三月二八日納品)

委託料(委託先) 九七七千円 (株・とかち麺工房) カップ麺 (ホタテ入りうどん) 三、二八〇食

*神恵内第一納税貯蓄組合・神恵内第五納税貯蓄組・神恵内第二納税貯蓄組合が設立五〇周年を祝う (三月

二九日)

*歯科診療所医療機器購入 (三月二九日納入)

購入費 三、四一二千円 吸引装置ポンプ一台・口腔外吸引装置ポンプ一台・吸引装置一台

コンプレッサー二台・超音波洗浄機一台・診療用キャビネット一台他

* (元) 神恵内村教育委員長 松原政美氏が旭日双光章 (地方教育行政功労) 受章 (三月三〇日伝達)

*神恵内村と岩内建設業協会が神恵内村所管公共施設における災害時の協力体制に関する協定締結する (四

月一日)

*村立診療所に三谷深泰医師が着任し委託診療開始する (四月二日)

*新築となった歯科診療所で診療開始する (四月三日)

*神恵内オリジナルカップ麺 (ホタテ入りうどん) 一個三〇〇円で販売開始する (四月七日)

*開村一四〇年・消防組織一三〇年記念商品券 (一人当たり一万二千円分) 配布開始する (四月一六日)

*非常用持ち出しセット各世帯へ配布開始する(四月一六日)

*今年もニシン約一〇トン水揚げされる(四月二〇日)

*神恵内村ブックスタート事業開始する(五月二四日)

*一四〇年記念NHKラジオ「上方演芸会」の公開録音開催される(六月九日)

一部 海原はるか・かなた アメリカザリガニ

二部 ザ・ぼんち シンクタンク

*海の森林づくりシンポジウム in 神恵内開催(六月一五日)

一部 基調講演・藻場 LAND 報告会 二部 さかなクントークショー他

*神恵内小学校体育館ステージ幕購入(六月一五日)

購入金額 一、七五四千円 体育館ステージ幕一式

*神恵内中学校体育館暗幕購入(六月一五日)

購入金額 一、四四九千円 体育館暗幕一式

*開村一四〇年・消防組織一三〇年記念植樹実施(六月一六日)

場所 青少年旅行村 ナナカマド・アズキナシ・キタコブシ一五本植樹

○ニシン稚魚放流(事業主体北海道)

・六月五日～六日二〇〇千尾、一九日～二〇日二〇〇千尾(堀株海岸から放流)

*冊内駐車場照明灯設置工事完成(六月二二日)

工事費 一、四七〇千円 照明灯二基設置

*キャラクター着ぐるみ製作等備品購入(六月二八日納品)

事業費 一、四七八千円

事業内容 キャラクター(どらごん太女性版)着ぐるみ一式

*第三四回神恵内沖揚げまつり開催(七月一日)

開村一四〇年・消防組織一三〇年記念事業としてSTVラジオ公開録音歌謡ショー開催

(水森かおり・みのや雅彦・はやぶさ出演)

キャラクター「どらごん太」の相方に公募で女性版新キャラクター「たつ姫」として初登場

*〔前〕神恵内消防団長 三浦正勝氏が瑞宝双光章受章(七月四日伝達)

*北海道卓球選手権大会(カブの部)で六位入賞した林 優大君が全国大会で健闘するも予選で敗退する(七月二七日～二九日)

*戸籍電算化システムが七月二七日完成し同月二八日から運用開始する

委託事業費 二九、四〇〇千円 改製戸籍数八〇四戸籍・人口数一、六三三人

*〔旧〕除雪車庫解体工事(七月三一日完成)

工事費 一、五二二千円 解体工一式

*神恵内村火葬場排気設備修繕工事完成(七月三一日)

工事費 二、五七三千元 誘引排風機・排気筒屋外部修繕一式

*神恵内村活魚蓄養センター修繕工事完成(七月三一日)

工事費 一、九九五千元 ろ過装置・紫外線殺菌装置・熱交換器修繕他一式

*神恵内地区消火栓取替工事完成（七月三十一日）

工事費 一、五二三千円 消火栓設置二箇所他一式

*後志中体連で男子卓球部が団体優勝し五年ぶりに全道大会出場するも健闘むなしく準々決勝で敗退する（八月四日）

*オリジナルQ.U.Oカード制作購入（八月八日納入）

購入費 二、二〇八千円 開村一四〇年・消防組織一三〇年記念Q.U.Oカード

二千枚購入（千円券）

*（旧）開発車庫洗浄機・コンプレッサー等設置工事完成（八月一日）

工事費 二、一〇〇千円 洗浄機等器具設備工、給水設備工、電気設備工一式

*神恵内小学校体育館ピアノ購入（八月二〇日納入）

購入費 八九二千円 アップライト型ピアノ一台他一式

*災害時における公共電気設備の安全確保をはかるため神恵内村と北海道電気保安協会が災害時協力協定書

締結（八月二二日）

*青少年旅行村コテージ等改修修繕（八月三十一日完成）

工事費 二、五七二千円 各施設修繕一式

*神恵内中学校視聴覚室改修工事完成（八月三十一日）

工事費 六三〇千円 機器撤去他一式

*神恵内中学校生徒用トイレ改修、講堂・青雲館暖房機器設置工事完成（八月三十一日）

工事費 三、六七五千円 簡易水洗便器九台設置・FF式暖房機器各一台

*神恵内小学校受電設備改修工事完成（八月三十一日）

工事費 一、七八五千円 受電設備改修他一式

*村道神恵内中学校線道路側溝改修工事完成（八月三十一日）

工事費 一、八三八千円 排水工・舗装工・ロードヒーティング補修工他一式

*第二〇回岩内・寿都地方消防組合連合演習が神恵内村総合グラウンドにおいて行われる

構成七ヶ町村の消防職員・団員総勢二〇〇名参加（九月二日）

*神恵内中学校校体育館屋上防水シート改修工事完成（九月三日）

工事費 八、八七三千円 塩ビシート防水工八二二㎡他一式

*北海道健康づくり財団から神恵内村ゆなぎコースが「すこやかロード」として認定される

距離 三、九km・運動量 三、三 エクササイズ（九月七日）

*スクールバス一台購入（九月一八日納車）

購入費 九、七八九千円 二九人乗り

*リフレックスユプラザ温泉九九八屋上防水シート改修工事完成（九月一八日）

工事費 六、一九五千円 塩ビシート防水工四八七㎡他一式

*残暑厳しく昭和五三年以降九月としては観測史上最高の三二、二度記録する（九月一八日）

*村道神恵内墓地線排水工事完成（九月二〇日）

工事費 二、一〇〇千円 構造物取壊し工・復旧工・舗装工他一式

*開村一四〇年・消防組織一三〇年記念ソフトボール大会が一〇〇人を超える参加者で盛大に開催される(九月二二日)

*神恵内村と札幌方面岩内警察署で暴力団の排除に関する合意書締結する(九月二六日)

○新たな「日本郵政グループ」が誕生「郵便局株式会社」と「郵便事業株式会社」は会社統合によって「日本郵便株式会社」となる(二〇月一日)

◎開村一四〇年・消防組織一三〇年記念式典挙行(二一月一日)

【記念行事】

○記念商品券四月一六日から配布(二人当たり一万二千円)

○神恵内村ブックスタート事業開始(五月二四日)

赤ちゃんと保護者を対象に「絵本」などが入ったブックスタートパック進呈

○一四〇年NHKラジオ「上方演芸会」公開録音番組開催(六月九日)

一部 海原はるか・かなた アメリカザリガニ

二部 ザ・ぼんち シンクタンク

○海の森林づくりシンポジウムin神恵内開催(六月一五日)

一部 基調講演・藻場LAND報告会 二部 さかなクントークショー他

○記念植樹 ナナカマド・アズキナシ・キタコブシ一五本を青少年旅行村に植樹(六月一六日)

○第三四回沖揚げまつり歌謡ショー招致(七月一日)

出演 水森かおり・みのや雅彦・はやぶさ

○マラソンパークゴルフ大会（九月一五日）

○村民ソフトボール大会（九月二二日）

○各種スポーツ大会

○Q.U.Oカード制作発行

○記念誌「懐郷」発行

【今後予定の記念事業】

○松前神楽小樽ブロック保存会合同公演開催（二月三日予定）

○札幌交響楽団演奏会開催（二月二六日予定）

消防組織一三〇年の歴史



年	代	こ	と	が	ら
明治一五年	五月	私設消防組設立			
二八年	八月 一日	公設消防組認可			
三三年	四月	フランス式腕用ポンプ一台購入			
三八年	九月	消防機械置場を新築 四坪五合			
四二年	五月	ドイツ式腕用ポンプ一台購入			
大正 元年一〇月		消防機械置場を四坪増築 八坪五合となる			
五年一月		旧機械置場をとりこわし新築			
昭和 四年 八月		手引きガソリンポンプ一台購入			
六年 五月		消防機械置場を役場庁舎横に移築			
八年 五月		北井 長作氏よりエスエム式二五馬力ガソリンポンプ一台の寄贈を受ける			
一四年 四月 一日		神恵内村消防組を神恵内村警防団に改編			
二三年 四月 一日		消防組織法公布により神恵内村警防団を神恵内村消防団に改編、二分団体制を施行 (団員一一〇名)			
二六年 四月 一日		条例改正 (団員九〇名)			
二八年 二月		消防ポンプ自動車一台購入			
二九年一〇月二〇日		神恵内村第二消防格納庫木造平屋建九坪新築			
三三年 二月		小型動力ポンプ一台購入 (芝浦一五馬力) 第二分団			川白
三四年 五月		小型動力ポンプ一台購入 (芝浦一五馬力) 第一分団			赤石
三五年 三月		小型動力ポンプ一台購入 (芝浦一五馬力) 第二分団			珊内
三五年 七月		小型動力ポンプ一台購入 (芝浦一五馬力) 第一分団			

昭和四〇年	九月一〇日	消防ポンプ自動車一台更新（日産一三〇馬力）第一分団
四三年		消防車庫を解体し同敷地内に役場庁舎と消防庁舎を建設
四四年	五月三〇日	同竣工
四五年	五月二二日	北海道消防協会長より竿頭授受賞
	一〇月三二日	防火貯水槽二基設置（四〇㎡）第二分団
四九年	四月一日	岩内・寿都地方七ヶ町村で、消防一部事務組合を設立し、常備化を図る 神恵内村消防団を岩内・寿都地方消防組合神恵内消防団と改称（団員九〇名） 岩内・寿都地方消防組合消防署神恵内分遣所設置（職員三名）
	五月五日	川白子供会少年消防クラブが発足
	七月二二日	北海道消防協会長より珊内小中学校児童生徒会が優良子供会表彰受賞
五〇年	六月二六日	北海道消防協会長より川白子供会少年消防クラブが優良子供会表彰受賞
	九月一日	小型動力ポンプ付積載車一台購入（トヨタハイエース、芝浦三八馬力）
	一〇月二九日	北海道知事より竿頭授受賞
	十一月二九日	消防施設整備により新消防庁舎鉄骨二階建 延二六四・四七四㎡新築
五一年	一月二二日	小型動力ポンプ一台廃棄 第二分団 川白
	八月一九日	小型動力ポンプ一台購入（芝浦B2級四五馬力）第二分団 川白
	一月三〇日	第二分団川白消防格納庫鉄骨造二階建 延五一・八四㎡新築
五二年	二月四日	小型動力ポンプ一台廃棄 第二分団 珊内
	三月三日	日本消防協会長より竿頭授受賞
	八月二〇日	小型動力ポンプ一台購入（芝浦B2級四五馬力）第二分団 珊内
	三〇日	第二分団珊内消防格納庫鉄骨造二階建 延六四・八㎡新築

昭和五二年一月一六日	小型動力ポンプ一台廃棄 第一分団 赤石
五三年五月八日	神恵内村第二消防格納庫木造平屋建九坪廃止
七月七日	小型動力ポンプ一台購入（芝浦B2級四五馬力）第一分団
八月一〇日	防火貯水槽一基設置（四〇m）第一分団
一〇月一日	条例改正（団員八〇名）
一一月三〇日	第一分団消防格納庫鉄骨造平屋建 延九六・八九㎡新築
五四年九月二〇日	神恵内分遣所普通ポンプ自動車（CDⅡ型）一台購入（A2級一四五馬力）
一〇月二二日	消防専用超短波無線電話装置設置 基地局一基、固定局一基、移動局三台、携帯二台
五五年一月五日	神恵内村長より表彰状受賞
一〇月二八日	北海道知事表彰旗受賞
五六年四月二六日	常備職員一名増員（四名）
一〇月一日	条例改正（団員七七名）
五八年四月一日	条例改正 岩内・寿都地方消防組合消防署神恵内分遣所を岩内・寿都地方消防組合消防署神恵内支署に改称
五月三〇日	小型動力ポンプB3級一台廃棄
五九年一〇月一日	条例改正（団員七〇名）
六一年六月三〇日	小型動力ポンプB3級一台廃棄
九月三日	神恵内支署に水槽付消防ポンプ自動車一台購入（日野A2級二、〇〇〇ℓ）
九月一日	普通消防ポンプ自動車一台廃棄（日産六八〇型A2級）
一七日	普通ポンプ自動車（CDⅡ型）配置変（支署より団へ）
六二年九月二一日	小型動力ポンプ付積載車（デイズル三〇〇〇cc）第二分団 珊内

昭和六二年一〇月二日	条例改正 (団員六〇名)
平成元年一月二三日	小型動力ポンプ付積載車一台廃棄 (トヨタハイエース)
九月二七日	小型動力ポンプ付積載車 (デイズル三五六七cc、一一〇馬力) 第一分団配置
四年四月一日	神恵内村婦人防火クラブ設立 (会員一二八名)
七月二日	神恵内支署に消防用無線 (携帯) 五W二台増設
一月三日	私設消防組が組織されてから一一〇年記念式典
五年六月二日	北海道消防協会長より表彰旗受賞
六年四月一日	常備職員一名増員 (五名)
八年九月三〇日	神恵内支署に消防用無線 (携帯) 五W二台増設
一〇月一日	消防用無線 (携帯) 一〇W二台増設廃棄
八年一月一日	積丹半島開通 (国道二二九号) に伴い神恵内支署に救助器具一式購入
九年五月二四日	
一〇年三月二五日	川白小中学校閉校に伴い川白子供会少年消防クラブ解散
一年五月二〇日	消防専用超短波無線機、基地局 (第一装置) 一台更新
七月二三日	消防専用超短波無線機、基地局 (第二装置) 一台更新
八月一日	消防専用超短波無線機、基地局 (第三装置) 一台更新
一〇月一日	条例改正 (団員五五名)
一四年一〇月一日	条例改正 (団員五〇名)
一月一日	私設消防組が組織されてから一二〇年記念式典
平成一六年二月二七日	小型動力ポンプ付積載車一台廃棄 (第一分団)

平成一七年	三月二五日	小型動力ポンプ付積載車一台購入(第一分団配置) 消防普通ポンプ自動車一台廃棄(第一分団) 水槽付(三下シ)消防ポンプ自動車一台購入(第一分団配置)
平成一八年	二月二三日	小型動力ポンプ付積載車一台廃棄(第二分団内) 小型動力ポンプ一台廃棄(第二分団内) 小型動力ポンプ付積載車一台購入(第二分団内配置) 小型動力ポンプ一台廃棄(第二分団内) 小型動力ポンプ一台購入(第二分団川白配置) 消防用携帯無線機(五W)一台更新
平成一九年	四月二六日	第一分団消防格納庫屋根・外壁改修
平成二一年	九月一日	第二分団(川白)消防格納庫屋根・外壁改修
平成二二年	八月二一日	第二分団(冊内)消防格納庫屋根・外壁改修
平成二三年	六月二二日	常備職員一名採用(二四年三月三一日定年退職・補充)
	九月一日	消防用携帯無線機(五W)一台増設
	十一月二五日	私設消防組が組織されてから一三〇年記念式典
平成二四年	一月一日	

【今後予定の事業】

- ・ 消防指揮広報車(アルファードワゴン)一台購入
- ・ 消防用ホース六五mm×二〇m六〇本・五〇mm×二〇m二〇本・業務用温水高圧洗浄機一台他

編集後記

明治五年（一八七二年）神恵内村に戸長役場が置かれてから一四〇年、私設消防組が組織されてから一三〇年の記念すべき節目の年を迎えました。

前回の記念誌担当から早一〇年、もう二度と記念誌作成はしなくても良いと思っていたので、村長から指示されたときは、正直「参った」と言う感じに……。

しかし、前回は十年前からの記録を一つひとつ調べていた苦労から、今回は将来記念誌を作成する職員が苦労しないようにと毎月パソコンに打ち込んでいたので、大体の記録は収まったかなと思っています。前回の記念誌は時間的余裕の無いままに誤字脱字が多かった記念誌「愛郷かもえない」で恥ずかしい思いもしていたので、名誉挽回でもあるかと思いつながら……。

今回の記念誌は開村一三〇年（平成一四年）に発行以降の一〇年間を追加した編集としました。まだまだ不足しているものがあるとは思いますが、神恵内村が生きて来た歴史の軌跡を「今は昔・一〇年一昔」として心に刻み、これからも皆で助け合いながら先人が築き上げてきた神恵の恵みが内にある村」で今を大事にたくましく暮らしてほしいと祈念しております。

最後に、大変お忙しい中、昔話を熱く語っていただいた皆さんに心より感謝申し上げます。
大変ありがとうございました。

平成二四年一月

神恵内村役場 松屋有信

戸長設置一四〇年
消防組織一三〇年 記念

懐郷ガモエない

■発行 平成二四年一月

■発行所 神 恵 内 村

■編集者 高 昌 幸
神恵内村長

■印刷 奈 良 印 刷
岩内町



この事業は公益財団法人北海道市町村振興協会（サマージャンボ宝くじの収益金）の助成を受けて実施しています。